

混浴温泉世界実行委員会

令和元年度 事業報告書

混浴温泉世界実行委員会

■ 目次

■ 主催者あいさつ	p2
第1章 はじめに	
1-1. 事業概要	p3
1-2. 運営組織	p4
第2章 開催記録1 『ベップ・アート・マンズ 2019』	
2-1. 企画概要	p5
2-2. 実施団体・プログラム	p5
2-3. 運営について	p39
2-4. 『ベップ・アート・マンズをつくろう会』や『プログラム登録相談会』、『報告会 & 交流会』の開催	p41
2-5. サポートへの評価	p42
2-6. 来場者について	p46
第3章 開催記録2 『関口 光太郎 in BEPPU』	
3-1. 企画概要	p53
3-2. 作品について	p54
3-3. 関連イベント	p57
3-4. 運営について	p60
3-5. 来場者について	p62
第4章 開催記録3 アニッシュ・カプーア 『Sky Mirror』再公開	
4-1. 企画概要	p69
4-2. 作品について	p69
4-3. 運営について	p70
4-4. 来場者について	p71
第5章 ガイドツアー事業	
5-1. 企画概要	p78
5-2. ツアー内容などについて	p78
5-3. 運営について	p79
第6章 情報発信事業	p80
第7章 共通の取組	
7-1. 広報活動と開催効果	p81
7-2. 観光消費額	p86
第8章 収支状況	p87
第9章 まとめと課題	
9-1. 『ベップ・アート・マンズ 2019』	p88
9-2. 『関口 光太郎 in BEPPU』	p89
9-3. アニッシュ・カプーア 『Sky Mirror』再公開	p90
9-4. 広報活動	p91
第10章 事業評価	
10-1. 評価結果のポイント	p93
10-2. 評価のフレームワーク	p94
10-3. 評価システムの概要	p95
10-4. バランス・スコアカードの改訂	p98
10-5. バランス・スコアカードに基づく2019年度実績の評価	p99

添付資料1 混浴温泉世界実行委員会事業ビジョン & 戦略マップ

添付資料2 バランス・スコアカード

2008年に当実行委員会が発足し、翌2009年の国際芸術祭『混浴温泉世界』の開催以降おこなってきたさまざまな取組を通じて、別府はアートの町としても知られるようになりました。その結果、アーティストなどの移住が相次ぎ、今では別府の人口のおよそ0.1%、120名を超えるクリエイターがこの町に住んでいます。また、近年では国東半島や大分市でも当委員会と連携した芸術祭が開催され、2018年に開催された『第33回国民文化祭・おおいた2018』『第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会』（以下、『国民文化祭』）によって、大分県内の全18市町村に文化活動の波が大きく広がりました。多くの人々が創作に携わった『国民文化祭』は、県民にアートへの関心の深まりや創作意欲の向上をもたらしました。

この動きを継続すべく、今年度の『in BEPPU』は参加型アートプロジェクトとして『関口 光太郎 in BEPPU』を開催しました。身近な素材である新聞紙とガムテープを使って、ダイナミックな彫刻作品を生み出すアーティスト・関口 光太郎を招聘し、県内各地の学校や企業、公共施設などでワークショップを実施しました。ワークショップの創作物は関口 光太郎の手によって融合され、幅約15メートル、奥行き約25メートルの巨大な作品『混浴に参加するよう世界を導く自由な薬師如来』として展示し、11,840名の方々にご来場いただきました。さらに会期中も会場にワークショップブースを設け、子どもから大人、シニア世代まで創作活動を楽しんでいただきました。また、大分県でも試合が開催された『ラグビーワールドカップ 2019 日本大会』の効果もあり、オーストラリアや英国ウェールズからの観戦客の来場もありました。ワークショップ参加者は最終的にのべ2,829名となり、本プロジェクトが能動的な芸術体験を創出する機会になったことを実感しました。

また、『in BEPPU』と両輪で文化芸術の振興を推し進めているのが市民文化祭『ベップ・アート・マンス』です。2010年より継続開催し、10回目を迎えた今年度は98組による123プログラムが別府市内各所で開催されました。10周年を記念したパーティーでは、新旧の企画者や地域の協力者が集まり、お互いの活動や思いを共有する機会となりました。会期後に事務局が開催した『ベップ・アート・マンス 2019 報告会 & 交流会』では、運営に対するさまざまな意見を企画者からいただきました。これらの意見を踏まえて改善を加えながら、今後も継続開催することによって、芸術文化における地域のプレイヤーを増やしていきたいと考えています。

末尾となりましたが、『関口 光太郎 in BEPPU』および『ベップ・アート・マンス 2019』の開催に向けご尽力、ご指導をいただいた皆さま、関口 光太郎氏、そして当事業にご参加いただいた大勢の皆さまに感謝を申しあげ、結びとさせていただきます。

混浴温泉世界実行委員会
実行委員長 西田陽一

第1章 はじめに

1-1. 事業概要

事業概要

当実行委員会は、別府市における文化振興事業などを通じて優れた芸術活動を別府市民に紹介し文化芸術振興を図るとともに、地域活性化を担う人材育成に寄与し、別府市の魅力を全国へ発信させることを目的に活動している。今年度は〈芸術振興事業〉として2つの芸術祭『ベップ・アート・マンス』『in BEPPU』と、昨年度開催した『アニッシュ・カプーア IN 別府』で日本初公開したアニッシュ・カプーアの作品『Sky Mirror』の再公開をおこなった。

『ベップ・アート・マンス』は、文化や地域活動に対する市民の主体的な参画を促進し、別府市における芸術文化の振興、活力あふれる地域の実現を目的にする“水平型”の取組として、企画立案から実現に向けてサポートし、クリエイティブティの高い人材を育成・支援することを目指す市民文化祭である。2010年に27団体／43企画（30日間）から始まったこの事業は、10年目となる今年度は98団体／123企画（51日間）が実現した。

その目玉事業として位置づける個展形式の『in BEPPU』は、“垂直型”の事業として、国際的に活躍する1組のアーティストによる、地域性を活かしたアートプロジェクトとして、2016年度より始動した。今年度は、新聞紙とガムテープを使って作品を制作するアーティスト・関口 光太郎を招聘し、会期前から県内の教育機関や児童館、公民館、美術館などでワークショップを開催した。このワークショップで生みだされた無数の創作物をアーティストが融合させ、会期中も成長し続ける作品、『混浴へ参加するよう世界を導く自由な業師如来』としてトキハ別府店で発表した。また、『Sky Mirror』再公開は春と秋に実施し、連日多くの方が訪れた。

地域の魅力を全国に発信するための〈情報発信事業〉では、Webサイト『旅手帖 beppu』および『豆知識 beppu』の継続運営をおこなった。また、アーティストやクリエイターの移住・定住モデルの造成を目的とする〈定住促進事業〉では、これまで、別府市内の空き家・空き店舗物件所有者へのヒアリング調査や全国の事例を紹介する活動報告会などを開催してきたが、今年度は活動を休止した。

芸術祭 開催クレジット

名称	ベップ・アート・マンス 2019	関口 光太郎 in BEPPU	アニッシュ・カプーア『Sky Mirror』再公開
日時	2019年9月21日(土)～11月10日(日) (51日間)		2019年4月27日(土)～5月6日(月・祝)、 9月21日(土)～11月10日(日) (計61日間)
会場	別府市内各所	トキハ別府店 5階 (大分県別府市北浜2-9-1)	別府公園 (大分県別府市野口原3018-1)
主催	混浴温泉世界実行委員会		
助成	文化庁(平成31年度 日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業)、損保ジャパン日本興亜「SOMPO アート・ファンド」(企業メセナ協議会 2021 Arts Fund)、一般財団法人 大分放送文化振興財団		
協賛	株式会社 別大興産、全日本空輸 株式会社、株式会社 後藤工務店、株式会社 トキハ 別府店、株式会社 大分銀行、鬼塚電気工事 株式会社、株式会社 マリーナパレス、JR九州ビルマネジメント 株式会社、大分県立芸術文化短期大学、観光施設連絡協議会、九州旅客鉄道 株式会社、大心産業 株式会社、大分合同新聞社、ANA インターコンチネンタル別府リゾート&スパ、大分ガス 株式会社、社会福祉法人 大分県福祉会、大分みらい信用金庫、株式会社 JTB九州、株式会社 関屋リゾート、公益社団法人 ツーリズムおおいた、フンドーキン醤油株式会社、ホテルアーサー、べっぶの宿 ホテル白菊、株式会社 幸建設、日東電工 株式会社、二和カラー 株式会社、ニッペホームプロダクツ 株式会社、べっぶ 野上本館、株式会社 平和マネキン、別府観光開発 株式会社、一般社団法人 別府市観光協会、別府地獄組合、別府商工会議所、別府市旅館ホテル組合連合会、一般社団法人 別府市緑化協会、南光物産 株式会社、株式会社 太田旗店、すえつぐ動物病院、竹と椿のお宿 花べっぶ、ひょうたん温泉、別府温泉 ホテルなぎさ、一般社団法人 別府市薬剤師会、別府大学 学長 飯沼賢司・同教授 安松みゆき、別府明礬温泉 岡本屋		
後援	別府市、大分県教育委員会、別府市教育委員会、公益社団法人 ツーリズムおおいた、別府商工会議所、一般社団法人 別府市観光協会、別府市旅館ホテル組合連合会、大分県民芸術文化祭実行委員会、NPO法人 大分県芸振、別府市商店街連合会、別府料飲協同組合、大分合同新聞社、朝日新聞大分総局、毎日新聞社、読売新聞西部本社、西日本新聞社、共同通信社、今日新聞社、*NHK 大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、エフエム大分、CTBメディア、ゆふいんラヂオ局、月刊・シティ情報おおいた、ネキスト、**ブリティッシュ・カウンスル		

*は『ベップ・アート・マンス 2019』のみ **はアニッシュ・カプーア『Sky Mirror』再公開のみ

大分県令和元年度芸術文化による地域おこし事業

実行委員会

2019年9月2日時点

顧問	広瀬勝貞		大分県 知事
	長野恭紘		別府市 市長
	梅野雅子		一般社団法人 別府市観光協会 会長
	西 謙二		別府商工会議所 会頭
委員	西田陽一	実行委員長	別府市旅館ホテル組合連合会 会長
	菅 健一	副実行委員長	NPO法人 別府八湯トラスト 理事長
	秋月久美		大分県 企画振興部 参事監、芸術文化スポーツ振興課 課長
	大塚 浩		大分県 東部振興局 局長
	三浦宏樹		公益財団法人 大分県芸術文化スポーツ振興財団 参与
	田北浩司		別府市 観光戦略部 部長
	土谷晴美		公益社団法人 ツーリズムおおいた 専務理事
	倉原浩志		別府商工会議所 専務理事
	浅山和也		別府商工会議所青年部 会長
	河野勉也		公益社団法人 別府青年会議所 委員長
	佐藤隆司		一般社団法人 別府市観光協会 事務局長
	尾野文俊		大分経済同友会 常任幹事
	林 道弘		別府市商店街連合会 会長
	安松みゆき		別府大学 教授
	大蔵開平		別府溝部学園短期大学 ライフデザイン総合学科 学科長 兼 教授
	田中修二		大分大学 教授
	於保政昭		大分県立芸術文化短期大学 准教授
	甲斐裕明		九州旅客鉄道 株式会社 別府駅長
	渦古 隆		株式会社 JTB 大分支店長
	小野 司		大分合同新聞社 別府支社 支社長
	野上泰生		NPO法人 ハットウ・オンパク 事務局長
	安波秀男		NPO法人 鉄輪湯けむり倶楽部 代表理事
	安波治子		鉄輪ツーリズム 代表
	山出淳也	総合プロデューサー	NPO法人 BEPPU PROJECT 代表理事
監事	堀 精治		別府市旅館ホテル組合 専務理事
	鶴田 浩一郎		ホテルニューツルタ 代表取締役
調整委員会	宮添春彦		大分県 企画振興部 芸術文化スポーツ振興課
	大橋卓典		大分県 東部振興局 地域振興部
	松岡 愛		別府市 観光戦略部 文化国際課
	野口一郎		別府商工会議所 観光・事業部

事務局 NPO法人 BEPPU PROJECT

2-1. 企画概要

『ベップ・アート・マンス』とは、混浴温泉世界実行委員会が主催となり、別府市内で開催されるさまざまな文化事業を紹介し支援する、登録型のプラットフォーム事業である。2010年から毎年市民芸術祭を開催し、今年度で10回目の開催であった。小規模文化団体の育成・支援を目的に、広報協力、事務局業務代行、企画立案から実現に向けたサポートをおこなうことで、市民の主体的な参画を促進し、別府市における芸術文化の振興と活力あふれる地域の実現を目指す取組である。

事業の目的は、下記の4つである。

1. 別府市における文化芸術の振興
2. 別府市における文化芸術の鑑賞機会の充実
3. さまざまな芸術表現の発表機会の提供
4. 別府市における集客交流人口の多様化

2-2. 実施団体・プログラム

98団体／個人が123プログラムを登録し、別府市内各所の66会場でプログラムが開催された（うち提供会場6ヶ所）。ただし、開催場所を「別府市内各所」と告知したうえで不特定・複数回開催されたプログラムについては「1ヶ所」とした。

企画者	絵本と珈琲。おにぎりかふえ	
プログラム 001	絵本の読み聞かせ & 珈琲、絵に緑。	
会期	9/21・28、10/5・19・26、11/2・9の土曜 ※展示期間は9/21(土)～11/10(日) ※毎週月・火曜定休	
会場	おにぎりかふえ	
料金	1オーダー	
来場人数 ／目標来場人数(達成率)	38名／20名(190%)	
実施内容	各読み手が選書した絵本の読み聞かせをおこなった。各回バラエティに富んだ内容で、大人も子どもも絵本の世界を楽しんでいた。	

企画者	将棋処と(ときん)&おにぎりかふえ	
プログラム 002	将棋は純日本文化(カルチャー)!	
会期	9/21(土)～11/10(日) ※毎週月・火曜定休	
会場	将棋処と(ときん)&おにぎりかふえ	
料金	2,500円(教室、席料、ランチ付き)	
来場人数 ／目標来場人数(達成率)	10名／20名(50%)	
実施内容	参加者の棋力に合わせた将棋体験教室を実施。女性の参加者が多く、初心者の方にも楽しく参加していただけた。	

企画者	ココまる (円山 菜穂子)	
プログラム 003	ミニ曼荼羅パステルアート体験	
会期	ワークショップ：9/21(土)・22(日)・10/25(金)～27(日)、作品展示：9/21(土)～10/27(日) ※毎週月・火曜定休	
会場	おにぎりかふえ	
料金	ワークショップ：1,000円+1 オーダー 鑑賞のみ：1 オーダー	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	12名／30名 (40%)	
実施内容	パステルを使って自分だけのオリジナルミニ曼荼羅を描くワークショップと作品の展示。個性的な作品を描く方が多く、オリジナルの曼荼羅づくりを楽しんでいた。	

企画者	現実	
プログラム 004	現実 11,12,13	
会期	9/21(土)～23(月・祝)・10/19(土)～21(月)	
会場	べっふ駅市場 グレイルーム	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	30名／100名 (30%)	
実施内容	商店街の空き店舗を会場とし、「現実」をテーマにした写真や絵画を展示した。	

企画者	さかいまなぶ	
プログラム 005	千の眼の仮面屋	
会期	9/21(土)～11/10(日) ※毎週月・第3日曜定休	
会場	酒井理容店	
料金	100円	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	150名／100名 (150%)	
実施内容	昭和レトロな理容店店内に、流木など浜辺の漂着物で制作した約500点の仮面や仏像を展示。市外からの来場も多く、企画者と来場者とのコミュニケーションも図られた。	

企画者	ギャラリー嶋屋	
プログラム 006	店主の身近な作家たち展	
会期	9/21(土)～11/10(日)	
会場	ギャラリー嶋屋	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	300名／200名 (150%)	
実施内容	『井 愛子 布花展とワークショップ』、『杉本 真理子 創作人形展』、『菅 麻早弥・豆塚エリ 2人展』、『吉森睦子 作品展』の4企画を実施。ファンの方の来場も多く、とても熱心に見ていただけた。	

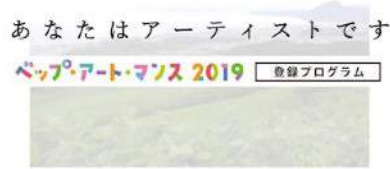
企画者	清水貴之	
プログラム 007	Not only Traditional But also Art	
会期	【焼き鳥凡母屋】9/21(土)～11/10(日) ※不定休 【焼き鳥凡本店】10/13(日)～11/10(日) ※不定休 【丸神屋】10/1(火)・8(火)	
会場	焼き鳥凡母屋／焼き鳥凡本店／丸神屋	
料金	【焼き鳥凡】飲食代 【丸神屋】1,500円 (立ち寄り湯代)	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	203名／290名 (70%)	
実施内容	焼き鳥凡母屋に2作品、丸神屋に2作品 (家族湯内)、それぞれのテーマに基づいた竹のオブジェを設置。新しくオープンした焼き鳥凡本店にも竹のオブジェを設置した。	

企画者	まみえこ	
プログラム 008	母と娘のキルト & ニット vol.2	
会期	9/21(土)～10/21(月) ※火曜定休	
会場	喫茶ムムム	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	228名／100名 (228%)	
実施内容	動物のフェルト人形、パッチワークのおもちゃ、毛糸のセーターなど、主に赤ちゃんや子ども向けに作った手芸作品の展示と、作品の一部を販売。特に今年はラグビーワールドカップ開催期間と重なったため、欧米豪と海外の方にも見ていただく機会になった。	

企画者	小さな喫茶店むに	
プログラム 009	ハーバリウム作り (ボトル or ボールペン)	
会期	9/21(土)～11/8(金) ※日・月・祝日定休 (ほか不定休)	
会場	小さな喫茶店むに	
料金	1,000～3,000円+ 1 ドリンクオーダー	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	11名／30名 (37%)	
実施内容	自身で選んだ花材で、ハーバリウムボトルやボールペンを作るワークショップを開催。 昨年に引き続き参加してくれた方もいた。	

企画者	開世通商 株式会社	
プログラム 010	別府アートミュージアム	
会期	9/21(土)～11/10(日) ※火曜定休	
会場	別府アートミュージアム	
料金	一般：1,000円、大学・高校生：800円、 小・中学生：600円、未就学児無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	18名／200名 (9%)	
実施内容	芸能人の絵画作品や古美術品など、昨年より出点数を約100点増加し、300点以上の作品を展示。受付にて『ベップ・アート・マンス 2019』のパンフレットを提示していた方には、ポストカードをプレゼントした。	

企画者	じゅんゆう	
プログラム 011	べっぶ駅市場の活性化をもう一度!	
会期	【通路展示】9/21(土)～11/10(日) 【空き店舗の展示】毎週月・火、木～土曜	
会場	べっぶ駅市場内・高田青果前の空き店舗	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	500名／500名 (100%)	
実施内容	別府にゆかりのある人物などを描いた、90点の絵をべっぶ駅市場の天井に吊り下げて展示した。また、市場内の空き店舗にも絵画、レーザークラフト作品などを展示した。	

企画者	幻視者の集い	
プログラム 012	別府に暮らす	
会期	9/21(土)～11/10(日)	
会場	別府市内全域	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	500名／1,000名 (50%)	
実施内容	別府に暮らすことで、人と人が交流し、経済活動がおこり、別府市全体が作品になるという、「別府に暮らす」ことをアートと捉えた作品。JR別府駅の総合インフォメーションセンターに作品についてのDMを設置した。	

企画者	牧野浩二	
プログラム 013	別府の四季と、大分の風景の散策	
会期	9/21(土)・22(日)	
会場	えきマチ1丁目別府 コミュニティルーム	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	30名／40名 (75%)	
実施内容	別府の魅力ある四季や、大分の風景写真を展示。来場者から「綺麗ですね」「いい写真ですね」といった感想があがり、じっくり見ていただくことができた。	

企画者	チエミサラ	
プログラム 014	別府のどこかに灯りプロジェクト	
会期	9/21(土)～11/10(日)	
会場	竹瓦小路内	
料金	鑑賞：無料、灯りづくり体験：1,500円～ ※イベント内容により変動あり	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	1,720名／1,000名 (172%)	
実施内容	別府のさまざまな場所に灯りを届けるキャンドルナイトプロジェクト。日本最古の木造アーケード街「竹瓦小路」に期間限定で灯りのギャラリー & 酒場をOPENした。	

企画者	きものかふえ ゑり章	
プログラム 015	令和元年も楽しいイベント盛りだくさん!	
会期	9/21(土)～11/10(日)	
会場	きものかふえ ゑり章	
料金	イベントによって異なる	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	33名／50名 (66%)	
実施内容	『セパレートきもの“ひとゑ”レンタル』『溝口伸一 ギターミニコンサート』『美人色お茶会』『マヤ暦セッション』『カード de プチ心理カウンセリング』『レジンのワークショップ』を実施。参加者は各イベントとも満足している様子だった。	

企画者	Sharing a table COTTONWOOD	
プログラム 016	レトロ別府おんせんポスター展	
会期	9/21(土)～10/6(日) ※月曜定休	
会場	Sharing a table COTTONWOOD	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	5名／300名 (2%)	
実施内容	平野資料館が所蔵するレトロ別府おんせんポスターの展示。展示期間中『ベップ・アート・マンス 2019』のパンフレットを提示いただいた方には、レトロポスターやポストカードをプレゼントした。	

企画者	にわか隊 有志メンバー	
プログラム 017	にわか隊 ～秋の陣～	
会期	9/23(月・祝)	
会場	トキハ別府店 大屋根の下	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	80名／100名 (80%)	
実施内容	『別府八湯温泉まつり』で結成された『にわか隊』による踊りと音楽のパフォーマンスを実施。足を止めて観てくれる方や飛び入り参加の方もいて盛りあがった。	

企画者	北村成美	
プログラム 018	ダンス地獄めぐり編	
会期	10/25(金)～31(木)	
会場	別府市中心市街地とその周辺	
料金	投げ銭制	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	300名／150名 (200%)	
実施内容	別府の町なかで踊りまくる7日間。24ヶ所で全27のステージ公演を敢行。観客は別府の町なかでおこるダンスを楽しんでいた。	

企画者	北村成美	
プログラム 019	踊る山田別荘編	
会期	10/27(日)	
会場	くつろぎの宿 山田別荘	
料金	2,000円 (足湯・お茶付き)	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	11名／20名 (55%)	
実施内容	旅館・山田別荘を会場に、ダンサー・振付家の「しげやん」こと北村成美と旅館の「るみ女将」がお湯とお茶とダンスで参加者を癒すパフォーマンスをおこなった。	

企画者	久保更生園	
プログラム 020	+アートな活動	
会期	9/24(火)～10/1(火)	
会場	べっぶ駅市場	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	80名／160名 (50%)	
実施内容	施設利用者の作品展示や出張アート活動を実施。商店街の一角でおこなったため、買い物の途中に立ち止まって作品を見てくれる方も多かった。	

企画者	Solarium 立川里奈	
プログラム 021	心身共に心地良く、人生楽しみましょっ♪	
会期	(1) 9/25(水)～11/6(水) 毎週水曜開催 (2) 9/30(月)・10/29(火)	
会場	(1) 小さな喫茶店むに (2) こちカフェむすびの	
料金	(1) 1,000円 + 1 ドリンクオーダー (2) 2,000円 + 1 ドリンクオーダー	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	11名／30名 (37%)	
実施内容	(1)ゴム掛け曼荼羅体験、(2)星のタロットカード占い + サポートアロマスプレー作りをおこなった。SNSでイベントを知った方や、知り合いなどの参加者が多かった。	

企画者	小野 愛	
プログラム 022	小野 愛 個展	
会期	9/28(土)～10/2(水)	
会場	BEP.lab	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	140名／70名 (200%)	
実施内容	布を使った立体作品を中心に、新作インスタレーションと過去作品を展示。初日のオープニングレセプションでは音楽家の西村周平をゲストに、映像と音楽のコラボレーションを実施した。	

企画者	イモコトタダン	
プログラム 023	こどものためのじゃずらいぶ	
会期	9/28(土)・10/5(土)	
会場	トキハ別府店 1階センターモール	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	80名／30名 (267%)	
実施内容	子どもたちが親しみやすい童謡を、ジャズ風にアレンジした歌とギターのライブ。年齢を問わず多くの方が参加した。	

企画者	おおかわあかり	
プログラム 024	あかいほっぺ展	
会期	(1) 10/1(火)～20(日) ※10/7(月)・13(日) 定休 (2) 11/2(土)・3(日)	
会場	(1) Sempervivum (センペルビウム) 2階 (2) 紙屋温泉 2階公民館	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	120名／100名 (120%)	
実施内容	イラストの展示、グッズ販売、ライブペインティングをおこなった。企画者の知人や学生が多く来場し、ゆったりとした空間のなかでくつろぎながら作品を見ていた。	

企画者	jouetm・kira kira KAROWA	
プログラム 025	木と木～タティングレースアクセサリーと陶小物の2人展	
会期	10/1(火)～6(日)	
会場	Sempervivum (センペルビウム) 2階	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	50名／60名 (83%)	
実施内容	タティングレースアクセサリーと陶小物の展示。『あかいほっぺ展』と同時期開催であったため、多くの来場者でにぎわった。	

企画者	原 千砂子	
プログラム 026	箏体験会～koto unit 四季音 (しきね) による～	
会期	10/1(火)・11(金)・15(火)・27(日)	
会場	別府風流人	
料金	体験：1,000円、見学・演奏会：無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	23名／25名 (92%)	
実施内容	箏 (こと) の生演奏会と参加者による演奏体験をおこなった。「普段体験できない箏に低価格で触れられて、演奏できて良かった」などの感想をいただき大変喜ばれた。	

企画者	温泉コンシェルジュ倶楽部	
プログラム 027	湯楽道のススメ シーズン2	
会期	10/1(火)～10(木)	
会場	ロッセリア別府駅店横	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	100名／200名 (50%)	
実施内容	別府八湯の紹介や『温泉アラカルト』として、5ヶ所の温泉を写真を使って具体的にわかりやすく紹介した。会場が別府駅バス停の横だったため、待ち時間を利用して温泉地の紹介文を見たり、クイズの答えを確かめに来る方がいた。	

企画者	APU Art Club (AAC)	
プログラム 028	AACギャラリー	
会期	10/16(水)・23(水)・30(水)	
会場	べっふ駅市場	
料金	鑑賞：無料、ワークショップ：1,000～1,500円	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	20名／150名 (13%)	
実施内容	3原色を基調とした絵画や写真を展示した。パンフレットを見て訪ねてきた方や、通りがかりに立ち寄った方が多かった。	

企画者	日本文理大学 美術部	
プログラム 029	日本文理大学 美術部 作品展	
会期	10/5(土)・6(日)	
会場	えきマチ1丁目別府 コミュニティルーム	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	500名／150名 (333%)	
実施内容	昨年度に引き続き、美術部の作品を展示した。会場の場所が良く、通りがかった方々に気軽に見ていただけた。	

企画者	吉川由佳	
プログラム 030	Flowers	
会期	10/10(木)～24(木) ※10/13(日)・21(月) 定休	
会場	Sempervivum (センペルビウム)	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	20名／10名 (200%)	
実施内容	優しいパステル画材を使い、少し強い感じで描いた花がメインモチーフのパステル画を展示。会場と作品の雰囲気がマッチしていた。	

企画者	さるよし	
プログラム 031	ベップ・カメラ・マンス 2019	
会期	10/10(木)・11/1(金)	
会場	喫茶ムムム	
料金	上映会無料 (1ドリンクオーダー)	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	24名／30名 (80%)	
実施内容	10/10(木) のムムム 3 周年記念日『ムムムービー』のほか、ゾロ目記念日『6分66秒』などを上映した。顔見知りや喫茶ムムム初来店の方もおり、アットホームな雰囲気の上映会となった。	

企画者	かわくぼみちこ	
プログラム 032	ベッパーガールM子展	
会期	10/11(金)～17(木)	
会場	蔵ギャラリーしばた	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	70名／100名 (70%)	
実施内容	『おおいた方言de書シリーズ』をコンセプトに、書とイラストを組み合わせ大分の方言を表現した作品を展示した。特に日常会話で用いられる方言をあらわした作品は好評だった。	

企画者	TEAM 變幻自在	
プログラム 033	ひょうげんってなんだ? 3	
会期	10/12(土)	
会場	新善光寺	
料金	親子向け：1組2名 1,500円・1組3名 2,000円、 大人向け：1名 2,500円	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	9名／15名 (60%)	
実施内容	親子向けの回は、大人と子どもが一緒に楽しみながら身体を動かし、絵を描いた。大人向けの回は、万葉集の朗読や読み聞かせを通して、姿勢や筋肉の使い方での声が変わることを実感するワークショップをおこなった。	

企画者	糖衣堂 佐藤	
プログラム 034	ワーク・ワーク・ワーク	
会期	10/12(土)	
会場	えきマチ1丁目別府 コミュニティルーム	
料金	500円～	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	11名／20名 (55%)	
実施内容	塩麴作り、絵手紙作り、ビーズアクセサリ作り、曼荼羅パステルアート作りなど、10人のハンドメイド作家によるワークショップを実施した。	

企画者	Mau oli oli 小野	
プログラム 035	Enjoy Hula in 別府 X	
会期	10/13(日)	
会場	トキハ別府店 大屋根の下	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	40名／70名 (57%)	
実施内容	10年連続で『ベップ・アート・マンス』に参加。今年も子どもから大人まで幅広い年齢のメンバーによるフラダンス公演で、会場を華やかに盛りあげた。多くの方に熱心に見ていただけた。	

企画者	白米炊けた。	
プログラム 036	プレイング×ペインティング『山月記』	
会期	10/13(日)	
会場	べっぶ駅市場	
料金	投げ銭 (お金以外も可)	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	11名／15名 (73%)	
実施内容	中島 敦『山月記』の物語を、芝居とライブペインティングで表現した。パフォーマンス以外の時間は、絵画を展示した。通りすがりにパフォーマンスや展示作品を観ていく方もいた。	

企画者	Henna & Art MAKEY	
プログラム 037	MAKEYのお絵描き教室	
会期	10/13(日)・14(月・祝)	
会場	Sharing a table COTTONWOOD	
料金	1,500円	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	8名／10名 (80%)	
実施内容	絵画の展示と大人向けのお絵描き教室を実施した。参加者は見本を見ながらさまざまな模様を描き、上手になるコツをつかんでいた。	

企画者	toyom.	
プログラム 038	つまみ細工体験	
会期	10/17(木)・18(金)	
会場	えきマチ1丁目別府 コミュニティルーム	
料金	1 作品につき500円～	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	15名／40名 (38%)	
実施内容	自分で選んだ布で、つまみ細工の髪飾りやストラップを作るワークショップを実施。パンフレットやWebサイトを見て市外から参加した方や、『ベップ・アート・マンス』の総合インフォメーションセンターで知り、会場に来てくれた方もいた。	

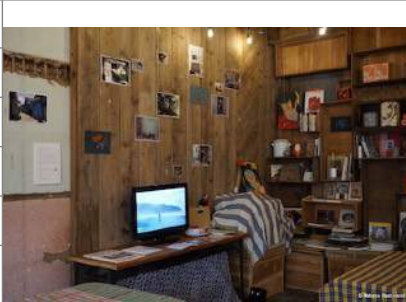
企画者	竹林子織	
プログラム 039	プレスとポップ	
会期	10/23(水)～11/10(日) ※月曜定休	
会場	Sharing a table COTTONWOOD	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	6名／30名 (20%)	
実施内容	飲食店の壁を中心に、オブジェや人形 (ひとがた) の作品を展示し、空間を演出した。	

企画者	七瀬みずき	
プログラム 040	木曜日に見た海は	
会期	10/24(木)～11/9(土) ※10/29(火)・11/5(火) 定休	
会場	喫茶ムムム	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	104名／100名 (104%)	
実施内容	写真と手芸の展示。地元の方や観光客など、展示目的ではない方の来店も多く、作品が自然と目に入る展示になった。日常に溶け込む形で作品を配置できた。	

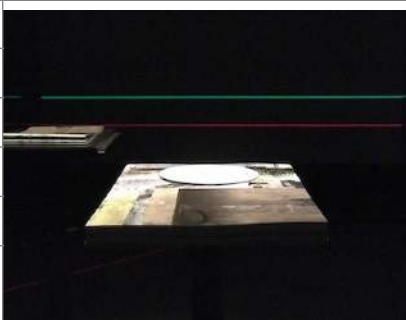
企画者	菅 麻早弥・豆塚エリ	
プログラム 041	Floral garden ～絵画と詩の作品展～	
会期	10/26(土)～11/3(日)	
会場	ギャラリー嶋屋	
料金	無料 (喫茶は有料)	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	180名／200名 (90%)	
実施内容	菅の制作した絵画を見た豆塚が詩を書き下ろし、絵と詩を並べて展示した。ギャラリー嶋屋のお客さまや、作家それぞれのお客さま、DMを設置していただいた店舗からのお客さまなど、多方面からの来場があった。	

企画者	大塚磊々堂 (おおつからいらいどう)	
プログラム 042	すずり屋さんの墨絵展ver.4 ミス・レインは雨が きらい in 別府	
会期	10/28(月)～11/10(日)	
会場	大塚磊々堂 (おおつからいらいどう)	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	77名／60名 (128%)	
実施内容	猫をモチーフにした絵本調の墨絵展。絵を番号順に追っていくと、1つの物語になるように構成した。来場者は猫好き、猫を飼っている方が多いように感じた。	

企画者	いるかひめ	
プログラム 043	いるかひめ小作品展 肩までつかって雲の中およいで	
会期	10/30(水)～11/10(日) ※月・火曜定休	
会場	おにぎりかふえ	
料金	無料 (おにぎりかふえは1 オーダー)	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	30名／50名 (60%)	
実施内容	店主と会話が弾む温かい会場で、イラストの展示やプチプレゼントの配布をおこなった。プチプレゼントのしおりとぬり絵が好評だった。	

企画者	VS ? COLLECTIVE	
プログラム 044	展示・トーク	
会期	11/2(土)～10(日)	
会場	バサラハウス ほか	
料金	イベントにより異なる	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	300名／100名 (300%)	
実施内容	インドネシアの古都、ジョグジャカルタのアールスペースに集うアーティストたちの作品を展示した。11/9(土) にはトークイベントも開催した。	

企画者	近藤雅代	
プログラム 045	竹がゆらゆら at べっふ駅市場	
会期	11/2(土)～4(月・祝)	
会場	べっふ駅市場	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	50名／50名 (100%)	
実施内容	竹職人による竹モビール作品の展示。べっふ駅市場を歩いている方たちがふらっと寄ってくださることが多く、地元の方とのおしゃべりが弾んだ。	

企画者	橋本次郎	
プログラム 046	beppu note	
会期	11/2(土)～4(月・祝)	
会場	元町・地下街跡 (井上電気センター地下)	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	92名／100名 (92%)	
実施内容	町の歴史を感じさせる地下空間を会場に、別府で出会ったさまざまな音をもとに制作したブックレット付きCD『beppu note』と、サウンドインスタレーションを発表した。	

企画者	大分県立芸術文化短期大学	
プログラム 047	Parfun	
会期	11/2(土)～9(土)	
会場	Sempervivum (センペルビウム) 2 階	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	90名／50名 (180%)	
実施内容	香りをテーマに、各自が研究してきた技法を用いて制作した作品の展示会を実施。作家が作品の解説をする際、しっかり聞いてくださるお客さまが多く、やりがいを感じた。	

企画者	ライスボール山本 山本杏奈	
プログラム 048	あんなコレクション and どんな父ちゃん (ライスボール山本)	
会期	11/2(土)・3(日)	
会場	紙屋温泉 2 階公民館	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	50名／100名 (50%)	
実施内容	ライスボール山本はアーティストたちとの関わりから制作・収集した数々の作品を展示。山本杏奈は趣味で集めた24時間TVのTシャツコレクションを展示した。また、希望者には、Tシャツやバッグにその場でイラストを描き販売した。昨年に引き続き大変好評だった。	

企画者	りきまる	
プログラム 049	紙屋の小物カオス	
会期	11/2(土)・3(日)	
会場	紙屋温泉 2 階公民館	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	50名／10名 (500%)	
実施内容	木で作ったオリジナルの鉛筆立てを10作品展示した。当日は来場者やほかの企画者と交流を図るとともに、作品の交換などもおこなった。	

企画者	湯本タマ	
プログラム 050	第7回湯本プライベートミュージアム所蔵品展	
会期	11/2(土)・3(日)	
会場	紙屋温泉 2 階公民館	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	50名／30名 (167%)	
実施内容	自作のジャンクアートを展示し、来場者の持ち物と物々交換をするプログラム。昨年から企画者が合同で開催する『紙屋カオス』の1つの企画として実施。	

企画者	piroco	
プログラム 051	別府の色、香り、そして命	
会期	11/2(土)・3(日)	
会場	紙屋温泉 2 階公民館	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	50名／30名 (167%)	
実施内容	温泉染め手織ストールと水引アクセサリーのライブパフォーマンス、ウクレレ演奏をおこなった。	

企画者	bebeeri	(中止：写真なし)
プログラム 052	別府TEE	
会期	11/2(土)・3(日)	
会場	紙屋温泉 2 階公民館	
料金	パーカー (シルクスクリーン込み)：4,000円、 Tシャツ (シルクスクリーン込み)：3,000円 その他小物への印刷650円から。持ち込みの場合、印刷費として 1 つ500円。	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	0名／0名 (0%)	
実施内容	企画者の都合により中止した。	

企画者	加藤えりこ	
プログラム 053	芽線 -めせん-	
会期	11/2(土)・3(日)	
会場	紙屋温泉 2 階公民館	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	50名／20名 (250%)	
実施内容	日常の風景や静物をモチーフに制作したイラストを会場のベランダに展示した。同会場の企画者たちともアートで繋がることができた。	

企画者	川窪花野	
プログラム 054	しんけん、ほめく	
会期	11/4(月・祝)～10(日)	
会場	蔵ギャラリーしばた	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	50名／100名 (50%)	
実施内容	観光地・別府ならではのコミュニケーションをテーマに、絵画作品を展示した。会場が喫茶店ということもあり、コーヒーを飲みながらゆっくり観賞する方もいた。	

企画者	小山秀輝	
プログラム 055	Beppu Origami Architecture	
会期	11/4(月・祝)～10(日)	
会場	大分県産しいたけ やまよし	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	50名／50名 (100%)	
実施内容	1 枚の紙を切り折りし、別府の建築物などを立体で表現し展示した。お客さまは興味深く鑑賞してくれた。	

企画者	HOME	
プログラム 056	SENSE	
会期	11/6(水)～10(日)	
会場	べっふ駅市場	
料金	鑑賞：無料、ドリンク：1杯500円、オリジナルグッズの缶バッジ：250円、ステッカー：無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	200名／400名 (50%)	
実施内容	立命館アジア太平洋大学 (APU) の生徒や海外のアーティストによる写真、絵画、彫刻などを展示。今回の企画を通じて、異なる文化、伝統、価値観を理解し合うことができた。	

企画者	吉森睦子	
プログラム 057	よしもりむつこの造形ワールド	
会期	11/6(水)～10(日)	
会場	ギャラリー嶋屋	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	100名／100名 (100%)	
実施内容	身の回りの素材を使った立体造形物や、陶器などを展示した。	

企画者	リ・エンプロ工房『そらいろ』九堂藍	
プログラム 058	リ・エンプロ工房『そらいろ』九堂藍 作品展	
会期	11/7(木)～10(日)	
会場	えきマチ1丁目別府 コミュニティルーム	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	219名／100名 (219%)	
実施内容	アルミサッシの端材などを再加工し、制作したアクセサリや時計を展示した。来場者は子どもからご年配の方まで幅広く、特に女性が多かった。作品の説明に男性客もかなり関心を持って聞いていた。	

企画者	首藤正之	
プログラム 059	BEPPU NEW STANDARD	
会期	11/8(金)	
会場	Beppu Copper Ravens	
料金	2,000円 (1ドリンク付き)	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	86名／100名 (86%)	
実施内容	別府にちなんだ土産物や飲食の提供、食育アイドルによるパフォーマンス、弾き語り、DJ、バンド演奏などを実施。来場者はさまざまなパフォーマンスを楽しんでいた。	

企画者	表現集団・万華鏡 × 語りと即興音楽・佐比助	
プログラム 060	語り 舞い 奏でる 芥川 龍之介 〜ある日のこと〜 ございます〜	
会期	10/13(日)	
会場	長覚寺	
料金	1,000円	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	17名／20名 (85%)	
実施内容	芥川 龍之介の作品『蛙』『蜘蛛の糸』『藪の中』の朗読のほか、即興音楽と舞踏を披露。芥川 龍之介の作品と長覚寺という会場の雰囲気マッチしていた。	

企画者	あかしももか	
プログラム 061	あかしももかの『大ぶろしきプロジェクト』	
会期	11/7(木)～9(土)	
会場	長覚寺	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	30名／50名 (60%)	
実施内容	お寺を会場に、大ぶろしき活動啓蒙動画の上映と作品展示を実施。年配の方から小学生まで、幅広い世代の方に楽しんでいただけた。	

企画者	魂詞～たまことば～	
プログラム 062	魂の彩遊び	
会期	9/22(日)～29(日)	
会場	茶房たかさき	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	20名／50名 (40%)	
実施内容	彩を表現した書の作品展示やワークショップを実施。色彩やかな筆ペンを使って描く書を楽しんでいただき、新しい価値観に触れてもらえた。	

企画者	詫間あき菜	
プログラム 063	水墨画家 詫間夢鳳 遺作展	
会期	(1) 10/3(水)～31(木) ※火・水曜定休 (2) 11/2(土)～6(水)	
会場	(1) 茶房たかさき (2) えきマチ 1 丁目別府 コミュニティルーム	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	317名／250名 (127%)	
実施内容	水墨画家であった祖父・詫間夢鳳の遺作 (主に色紙、絵葉書、額装など) を展示した。祖父と親交のあった方々が口コミでご来場することが多く、思い出話に花が咲いた。	

企画者	KASU美SO (橋本好恵)	
プログラム 064	自分オリジナルのお気に入りを作ろう	
会期	(1) 10/5(土)・6(日) (2) 9/25(水)・10/13(日)・11/10(日) (3) 10/12(土)	
会場	(1) 茶房たかさき (2) きものかふえ ゑり章 (3) えきマチ1丁目別府 コミュニティルーム	
料金	(1) 1,000～3,000円 + 1 ドリンクオーダー (2) 1,500円 + 1 ドリンクオーダー (3) 1,000円	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	11名／30名 (37%)	
実施内容	各会場でハーバリウム、レジン、デゴパージュ作りのワークショップをおこなった。参加者からは、楽しんでいる顔、真剣な顔、満足な笑顔などさまざまな表情がみられた。	

企画者	アイ ヒロコ	(中止：写真なし)
プログラム 065	植物からいただく香りと色であそぼう！	
会期	10/13(日)・11/10(日)	
会場	茶房たかさき	
料金	300～500円 (材料費)	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	0名／0名 (0%)	
実施内容	企画者の都合により中止した。	

企画者	薪窯ピッツァ & Gallery花民	
プログラム 066	いけみかなこの第5回『やっぱり旅はいいね』水彩画展	
会期	10/23(水)～27(日)	
会場	薪窯ピッツァ & Gallery花民	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	80名／100名 (80%)	
実施内容	カナダ、フランス、ドイツ、ベトナム、アメリカなど、旅先で描いた街角スケッチを展示した。ほっとする作風に、来場者はくつろいで鑑賞していた。	

企画者	薪窯ピッツァ & Gallery花民	
プログラム 067	芳賀健太 絵画展『KISEKI』	
会期	11/1(金)～10(日)	
会場	薪窯ピッツァ & Gallery花民	
料金	展覧会：無料、ギャラリートークとライブ：各1,000円(1ドリンク込み)	
来場人数 ／目標来場人数(達成率)	150名／300名(50%)	
実施内容	絵画作品の展示。11/3(日)にはルーブル美術館地下エリアで開催されたアートフェア出展の報告を兼ねた、ギャラリートークを実施。最終日にはオリジナル絵本『ゆめつくり虫』の読み聞かせ & ライブをおこなった。	

企画者	佐藤隆幸	
プログラム 068	NOSTALGHIA	
会期	9/21(土)～29(日)	
会場	富士屋Gallery一也百 ギャラリースペース	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数(達成率)	50名／20名(250%)	
実施内容	21点の鉛筆画を展示。会場となった明治時代の建物の雰囲気とともに鑑賞を楽しめるプログラムだった。	

企画者	前田 進一郎	
プログラム 069	(1) 宇宙と繋がる薬膳基本講座 (2) 詩と唄の蒸土茶楼	
会期	(1) 9/25(水)・10/20(日)・11/6(水) (2) 10/18(金)	
会場	蒸土茶楼	
料金	(1) 1,500円 (2) 500円	
来場人数 ／目標来場人数(達成率)	16名／20名(80%)	
実施内容	(1) 企画者が毎月開催している薬膳講座の入門バージョン。初めての参加者が多く、一汁三菜薬膳料理が好評だった。(2) 初企画となる詩と朗読の会。北九州からの参加者もあり、それぞれ自作の詩を朗読した。	

企画者	原野彰子	
プログラム 070	アキイロ 絵手紙展	
会期	10/11(金)～26(土)	
会場	エミナス鉄輪	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	80名／50名 (160%)	
実施内容	高齢者介護施設にて絵手紙を展示。10/19(土)には、絵手紙をその場で描くライブペイントをおこなった。	

企画者	温泉ハンドクリーム作り体験事務局	
プログラム 071	温泉ハンドクリーム作り体験	
会期	11/9(土)	
会場	a side -満寿屋-	
料金	550円	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	3名／10名 (30%)	
実施内容	温泉成分を入れたハンドクリームの手作り体験。いい雰囲気のなか、皆で談笑しながらハンドクリーム作りを楽しんでいた。	

企画者	炭谷宇紀子	
プログラム 072	フランシスコ教皇来日記念♡*+無垢なる風景。。 。久遠の祈りへ。。。♡*+	
会期	10/12(土)～18(金)	
会場	富士屋Gallery一也百 ギャラリースペース	
料金	1,000円 (ポストカード付き)	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	130名／300名 (43%)	
実施内容	写真作品を60点展示。パチカン大使館から借用した隠れキリシタンの写真も3点展示した。来場者の感想や思いを作品に添えていただくインスタレーションも実施した。	

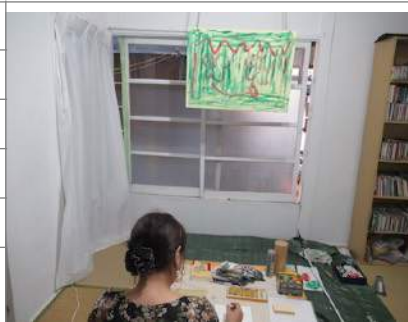
企画者	福井祐希	
プログラム 073	【戦後74年】日本一グローバルな町『別府』で戦争と平和について考えよう	
会期	10/26(土)・27(日)	
会場	富士屋Gallery一也百 ギャラリースペース	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	28名／40名 (70%)	
実施内容	9月に実施した、フィールドワークでの戦跡巡りの様子を写真で表現した展覧会と、戦争に関する映画の上映。遠方からわざわざ来場してくださった方が、展示内容にまつわる話をしてくれる場面もあった。	

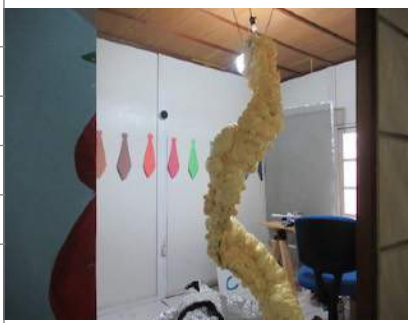
企画者	トビイ ルツ	
プログラム 074	『Happiness ハピネス』展	
会期	11/2(土)～10(日)	
会場	富士屋Gallery一也百 ギャラリースペース トビラボ	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	200名／200名 (100%)	
実施内容	絵本の原画展と、幸せをテーマに創作した絵画の展示を実施。別会場では、約200人の国内外の旅行客に尋ねた、幸せに関する質問への回答結果を日英両言語で展示した。	

企画者	清島アパート入居者	
プログラム 075	オープンアトリエ	
会期	9/21(土)～11/10(日) ※毎週土・日・祝日のみ	
会場	清島アパート	
料金	100円 (清島アパートの入場料)	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	200名／300名 (67%)	
実施内容	清島アパートのアーティストたちのアトリエを公開した。さまざまなジャンルの作品や制作現場を見てもらうことができた。	

企画者	清島アパート入居者	
プログラム 076	こんばんは、清島アパートです。	
会期	9/21(土)～11/10(日)の毎週土曜日 9/22(日)・11/3(日)	
会場	清島アパート	
料金	各イベントに準ずる	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	161名／150名 (107%)	
実施内容	会期中の毎週末、アーティスト持ち回りでトークイベントや美術講座など、さまざまなイベントを実施した。毎年訪れる方や近所の方などが来場してくれた。	

企画者	西松秀祐	
プログラム 077	AIR感	
会期	9/21(土)～11/10(日) ※毎週土・日・祝日のみ	
会場	清島アパート	
料金	100円 (清島アパートの入場料)	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	200名／300名 (67%)	
実施内容	場所を移動しながら、それぞれの土地で考えたことをベースに制作した映像作品を展示。また、個々の作品同士の関係性を探る試みもおこなった。	

企画者	イケベケンタロウ	
プログラム 078	お願いごと	
会期	9/21(土)～11/10(日) ※毎週土・日・祝日のみ	
会場	清島アパート	
料金	100円 (清島アパートの入場料)	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	200名／300名 (67%)	
実施内容	参加型の絵画作品を展示。見学ついでに楽しんで参加してくれた方が多かった。	

企画者	便弾萬 最強 (ベンダマン グレート)	
プログラム 079	劇団『オペらんちょ』	
会期	9/21(土)～11/10(日) ※毎週土・日・祝日のみ	
会場	清島アパート	
料金	100円 (清島アパートの入場料)	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	200名／300名 (67%)	
実施内容	9月に大分の劇団がおこなった定期公演『オペらんちょ』を鑑賞し、そのレポートを展示した。	

企画者	勝 正光	
プログラム 080	世間遺産下町展覧会 石工編	
会期	9/21(土)～11/10(日) ※毎週土・日・祝日のみ	
会場	清島アパート	
料金	100円 (清島アパートの入場料)	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	200名／300名 (67%)	
実施内容	別府に数多くある、土着の作り手たちが残してきた世界遺産ならぬ世間遺産を、まちを美術館に見立てて見せていく連続展覧会。今回はその続編にあたる『世間遺産下町展覧会 石工編』を開催した。	

企画者	安河内 彩香	
プログラム 081	つくろう世界にひとつだけの絵本	
会期	9/28(土)・10/26(土)	
会場	清島アパート	
料金	1,500円 (ドリンク付き)	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	4名／20名 (20%)	
実施内容	真っ白な本に絵を描き、言葉を添えて自分だけのオリジナルの絵本を作るワークショップ。作った後はほかの参加者の作品を鑑賞しながら、お互いの感想をシェアした。	

企画者	山下紘加	
プログラム 082	個展『番目が熱い』	
会期	10/19(土)～11/9(土) ※毎週月・水・木曜定休	
会場	べっふ駅市場	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	70名／100名 (70%)	
実施内容	べっふ駅市場の空き店舗で絵画作品を展示した。べっふ駅市場に来られた方が、通りすがりに立ち止まって作品を鑑賞してくれた。	

企画者	大平 由香理	
プログラム 083	末広温泉ギャラリー	
会期	9/21(土)～11/10(日)	
会場	末広温泉	
料金	200円 (入浴料として。別府市内居住者半額)	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	200名／200名 (100%)	
実施内容	企画者が2015年に壁画を描いた末広温泉内に、新しく作品を設置した。このプログラムがきっかけで、温泉を訪れてくれる人もいた。	

企画者	製造工程駄駄漏太郎	
プログラム 084	製造工程駄駄漏世界生中継	
会期	9/21(土)～11/10(日)	
会場	インターネット上での配信	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	238名／250名 (95%)	
実施内容	スタジオで衣服をつくる工程をネットで生配信した。twitter@ [dadamoretaro] で配信情報や作品販売情報を発信し、期間中の視聴者数は200件以上となった。	

企画者	江崎一子	
プログラム 085	香りの文化講座『クニ・トシロウの～香りとマンガ～』	
会期	9/21(土)	
会場	大分香りの博物館	
料金	聴講・入館：無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	9名／30名 (30%)	
実施内容	漫画家・別府大学客員教授の白石邦俊(クニ・トシロウ) による「香りとマンガ」の講演。香りを漫画でどう表現するかについて、その場で絵を描きながら説明する場面では、感嘆の声があがった。	

企画者	江崎一子	
プログラム 086	オリジナル香水作り体験	
会期	9/25(水)	
会場	大分香りの博物館	
料金	1,100円 (15ml瓶込、税込) ※入館無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	2名／30名 (7%)	
実施内容	15種類の香料から自分の好きな香りを選び、ブレンドしてオリジナル香水を作るワークショップ。参加者は楽しそうに調合し、できあがった香水に満足していた。	

企画者	江崎一子	
プログラム 087	オリジナル匂い袋作り体験	
会期	10/23 (水)	
会場	大分香りの博物館	
料金	2,000円 (税込) ※入館無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	2名／30名 (7%)	
実施内容	8種類の香料を混ぜ合わせたオリジナルの匂い袋作りと、余った香料を用いた文香作りワークショップを実施。和気あいあいとした雰囲気だった。	

企画者	二和カラー (株) の流木王子	
プログラム 088	映える壁と別府湾の流木アート	
会期	9/21(土)～11/10(日)	
会場	二和カラー (株) 本社別府店 社屋外壁 (北面)	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	100名／100名 (100%)	
実施内容	古い社屋の外壁をペイントし、インスタ映えする壁に変身させた。また、別府湾の砂浜でみつけた流木で作った作品を設置した。会社に来るお客さまやメーカーの方にも大変興味を持っていただいた。	

企画者	シェトミタカ	
プログラム 089	別府匙博～手づくりスプーン作品展	
会期	9/21(土)～11/10(日) ※10/26(土)・27(日)・毎週月曜定休	
会場	シェトミタカ	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	100名／300名 (33%)	
実施内容	企画者が営む洋菓子店にて、湯布院の匙屋が制作した身近な生活雑貨を展示。期間中限定で木の匙で味わうスイーツも販売した。	

企画者	後藤真美	
プログラム 090	私たちの作品展	
会期	9/21(土)～29(日)	
会場	別府市美術館	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	180名／300名 (60%)	
実施内容	大分県立芸術文化短期大学の学生をはじめ、大分県内外で活動している若手作家の作品を集めた展覧会。それぞれの個性を活かしたさまざまな作品たちが集まった。	

企画者	artists of rooted on beppu	
プログラム 091	BEPPUこどもアートフェス	
会期	10/27(日)	
会場	餅ヶ浜保育園	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	20名／100名 (20%)	
実施内容	さまざまな可能性を秘めた子どもたちがアーティストと繋がり、音楽やダンスを披露する参加型のイベントをおこなった。	

企画者	artists of rooted on beppu	
プログラム 092	餅ヶ浜保育園壁画プロジェクト	
会期	9/21(土)～11/10(日)	
会場	餅ヶ浜保育園	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	20名／100名 (20%)	
実施内容	別府市在住のアーティストが、保育園にて巨大壁画を制作するプロジェクト。どんどんできあがる壁画を通りがかりに鑑賞する方も多かった。	

企画者	糖衣堂Cafe	
プログラム 093	手しごと+	
会期	9/23(月・祝)～11/5(火) の月・火・水曜のみ ※10/8(火)・29(火) は定休	
会場	糖衣堂Cafe	
料金	1,000円～ (1ドリンク付き)	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	11名／10名 (110%)	
実施内容	ビーズアクセサリ作り、味噌作り、オリーブ石鹸作り、スワッグ作りなど、期間中に さまざまなワークショップを実施。参加された方々は、楽しそうに制作していた。	

企画者	別府大学	
プログラム 094	別府竹細工とセラミックアートのコラボ展	
会期	10/7(月)～19(土) ※10/13(日)・14(月・祝) 休館	
会場	別府大学 18号館 (佐藤義詮記念館) 2階ギャラリーホール	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	89名／100名 (89%)	
実施内容	別府大学講師で伝統工芸士でもある二代目岩尾豊南による竹細工作品と、アメリカ・バーモント市にあるラマー大学の講師グレッグ・ブシュメの陶芸作品を展示。また、講師の指導を受けた学生の作品展も同時開催した。	

企画者	梅本美術研究所 梅本弥生	
プログラム 095	梅本美術研究所作品展 VOL.9	
会期	10/12(土)～20(日)	
会場	別府市美術館	
料金	小・中学生50円、高校生以上100円、小学生未満・70歳以上無料、障がい者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	240名／100名 (240%)	
実施内容	梅本美術研究所の生徒たちの絵画や染め物作品などを展示。生徒1人ひとりの心の声まで聞こえてきそうな作品の数々に、来場者はじっくりと見入っていた。	

企画者	宮本博行	
プログラム 096	Hiroiyuki Miyamoto Exhibition BAM vol.1 - vol.7	
会期	10/23(水)～27(日)	
会場	別府市美術館内 ホワイエ	
料金	小・中学生50円、高校生以上100円、小学生未満・70歳以上無料、障がい者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	42名／200名 (21%)	
実施内容	2012年から2018年まで『ベップ・アート・マンス』の参加プログラムとして開催した展覧会をパネルで紹介した。当時発表した作品も一部展示した。	

企画者	ギャラリー別賓	
プログラム 097	ギャラリー別賓	
会期	11/3(日)～9(土)	
会場	ギャラリー別賓	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	50名／50名 (100%)	
実施内容	ギャラリー別賓オーナーと繋がりがああるアーティストの個展。過去の開催と比較して、パンフレットを見て来場する方が多かった。	

企画者	九州画材額縁商連合会	
プログラム 098	作ってみよう! 自分だけのオリジナル	
会期	10/12(土)	
会場	別府市公会堂 1 階 講座室	
料金	額縁作り：無料、缶バッジ制作：300円	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	60名／125名 (48%)	
実施内容	さまざまな種類の色や筆を使い、自分だけのオリジナルカラーの額縁を作った。また、好きな絵を描いて缶バッジを作るワークショップを開催した。	

企画者	九州画材額縁商連合会	
プログラム 099	おしゃれで簡単・ちいさなギフトBOX	
会期	10/12(土)	
会場	別府市公会堂 1 階 講座室	
料金	100円	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	60名／125名 (48%)	
実施内容	人気のおしゃれアイテムのマスキングテープをちぎって貼り、小さなギフトBOXを作るワークショップを開催した。	

企画者	九州画材額縁商連合会	
プログラム 100	トレンドアート体験コーナー	
会期	10/12(土)	
会場	別府市公会堂 1 階 講座室	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	60名／125名 (48%)	
実施内容	人気の水彩絵の具を使って、ひと味違った水彩画のテクニックを体験したり、自分の顔や腕に絵の具を塗ってボディペイントをするワークショップを開催した。	

企画者	九州画材額縁商連合会	
プログラム 101	日本画を描いてみませんか？	
会期	10/12(土)	
会場	別府市公会堂 1 階 講座室	
料金	500円	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	60名／125名 (48%)	
実施内容	普段なかなか触れることのない、日本画の画材である岩絵具を使ったぬり絵形式のワークショップを開催。また、さまざまな種類の筆の使い心地を体験できるコーナーを設置した。	

企画者	福田勇佑	
プログラム 102	キャンバスペインティング	
会期	10/12(土)	
会場	別府市公会堂 1 階 講座室	
料金	500円	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	10名／20名 (50%)	
実施内容	めずらしい色の絵の具を使って、キャンパスに思い思いの絵や模様などを描くワークショップを実施した。大人も子どもも楽しそうに参加していた。	

企画者	似顔絵株式会社 (さつ & ai)	
プログラム 103	プロが教える・描く似顔絵ワークショップ	
会期	10/12(土)	
会場	別府市公会堂 1 階 講座室	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	27名／38名 (71%)	
実施内容	作家『さつ』による、初心者でも似顔絵を描けるコツを教えるワークショップと、作家『ai』による似顔絵描きを実施した。	

企画者	甲元隆則	(写真なし)
プログラム 104	アニメーションのトレース体験	
会期	10/12(土)	
会場	別府市公会堂 1 階 講座室	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	27名／30名 (90%)	
実施内容	TVアニメーションの制作で、必ず最後におこなう作画作業。アニメーターの技術を実際に体験できるワークショップを実施した。	

企画者	九州画材額縁商連合会	
プログラム 105	映画『ゴッホ最期の手紙』上映	
会期	10/12(土)	
会場	別府市公会堂 2階 大ホール	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	55名／473名 (12%)	
実施内容	世界初、全編が動く油絵で構成される体感型アート・サスペンス映画『ゴッホ最期の手紙』を上映した。	

企画者	カメガリアン	
プログラム 106	亀の甲公園ライトアップ	
会期	10/1(火)～31(木)	
会場	亀の甲公園	
料金	無料 (亀幣は100円)	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	カウント不能	
実施内容	亀川商店街にある亀の甲公園の池をライトアップした。10/5(土)に開催した亀川商店街の秋まつり『ナイトバザール』では多くの人が訪れ賑わった。	

企画者	カメガリアン	
プログラム 107	亀川シャッターアート	
会期	10/1(火)～11/10(日)	
会場	亀川商店街内 堀文	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	カウント不能	
実施内容	店舗のシャッターをアート作品にすることで、亀川の町を明るくしようとするプロジェクト。地元の学生が、亀川の昔話『白亀伝説』をモチーフにした壁画を制作した。	

企画者	たしろさなえ	
プログラム 108	別府八湯イラスト女湯めぐり	
会期	10/21(月)～11/7(木) ※金・土・日曜定休	
会場	海に見える丘のアトリエ	
料金	鑑賞無料 (コーヒー代は別料金)	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	150名／30名 (500%)	
実施内容	別府八湯の女湯のイラスト20点を展示した。来場者は女湯のイラストは見たことがないと楽しんだり、自分の知っている温泉のイラストなどを鑑賞しながら喜んでいた。	

企画者	NPO法人 BEPPU PROJECT	
プログラム 109	アートに泊まる -浜脇の長屋-	
会期	9/21(土)～11/10(日)	
会場	別府市浜脇地区	
料金	一般 (中学生以上) 1名 5,720円～、2名 10,450円～	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	27名／30名 (90%)	
実施内容	別府現代芸術フェスティバル『混浴温泉世界』で生まれた作品のために作られた趣の異なる2部屋、『天空の庭』『白い箱』に宿泊できるアート作品として公開した。鑑賞は宿泊者のみ。	

企画者	NPO法人 BEPPU PROJECT	
プログラム 110	ラジオジャーニー 『音で旅する別府』	
会期	9/21(土)～11/10(日) ※火曜定休 (祝日は営業)	
会場	SELECT BEPPU出発	
料金	500円 (再生機・ヘッドホンのレンタル込)	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	0名／10名 (0%)	
実施内容	2013年度のアーティスト・イン・レジデンス事業『KASHIMA』の滞在作家である、アルテラジオによる音声作品の体験ができるプログラム。参加者は地図を片手に、音 (ラジオ) とともに町を散策するという企画。今回は残念ながら参加者がいなかった。	

企画者	NPO法人 BEPPU PROJECT	
プログラム 111	アートウォーク	
会期	10/12(土)・11/9(土)	
会場	JR別府駅前(熊八銅像前) 集合	
料金	一般(中学生以上) 1,000円、小学生 500円、幼児 無料(保険料・ドリンク込)	
来場人数 ／目標来場人数(達成率)	6名／10名(60%)	
実施内容	中心市街地に点在する絵画やふすま絵などのアート作品をBEPPU PROJECTスタッフの解説付きで巡るまちあるきツアーを実施した。	

企画者	NPO法人 BEPPU PROJECT	
プログラム 112	『BEAMS EYE on BEPPU』巡回展	
会期	10/9(水)～28(月) ※火曜定休 (祝日は営業)	
会場	SELECT BEPPU	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	725名／608名 (119%)	
実施内容	別府の事業者と『ビームス ジャパン』のバイヤーが商品やサービスを共同開発する『BEAMS EYE on BEPPU』の成果展。度重なる意見交換と試作を経て完成した商品やサービスを店頭に並べた。	

企画者	NPO法人 BEPPU PROJECT	
プログラム 113	町じゅう美術館事業『壁画プロジェクト』	
会期	9/21(土)～11/10(日)	
アーティスト／会場	HITOTZUKI／べっぶかんこうかい・立石ビル アイリ・ザング／アクテムビル妙見川通り側壁面 浅井裕介／トキハ別府店立体駐車場屋上 国本泰英／ホテルニューツルタ北浜横丁側壁面	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	カウント不能	
実施内容	2014年と2015年に、別府市の公共施設や商店、民家の壁画をキャンバスに見立て、アーティストと地域住民が協力し、壁画を制作。町に点在する作品を地図を片手に巡りながら鑑賞する方がみられた。	

企画者	NPO法人 BEPPU PROJECT	
プログラム 114	まちのお風呂を地域の宝に!	
会期	9/21(土)～11/10(日)	
アーティスト／会場	(1) 松尾常巳／紙屋温泉 (2) 大平 由香理／末広温泉 (3) 網中いづる／東町温泉	
料金	(1) 入浴料100円、洗髪料50円 (小学生以下無料) (2) 入浴料200円 (別府市在住の方100円) (3) 入浴料100円	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	カウント不能	
実施内容	2016年と2017年に、3組のアーティストが共同温泉に壁画を制作。入浴者は温泉に浸かりながらゆつくりと作品を鑑賞した。	

企画者	NPO法人 BEPPU PROJECT	
プログラム 115	Wales POP-UP SHOP	
会期	10/7(月)～20(日) ※火曜定休	
会場	yoiya (多機能拠点 ベっぶ未来わくわくセンター)	
料金	メニューにより異なる	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	406名／200名 (203%)	
実施内容	イギリス南西部に位置するウェールズのお酒や特産品を使った創作料理、大分県の食材を使った料理が食べられる『POBL PUB』を期間限定でオープンした。ウェールズのラグビーサポーターたちと日本人との交流が多くみられた。	

企画者	混浴温泉世界実行委員会	
プログラム 116	関口 光太郎 in BEPPU	
会期	9/21(土)～11/10(日)	
会場	トキハ別府店 5 階	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	11,840名／9,000名 (132%)	
実施内容	新聞紙とガムテープを用いて作品を制作するアーティスト・関口 光太郎の過去最大規模の作品を展示。会期前から開催したワークショップでは、県内外の2,829名の方々が参加し、それらの創作物も作品の一部として展示された。	

企画者	混浴温泉世界実行委員会	
プログラム 117	『関口 光太郎 in BEPPU』トークイベント	
会期	9/21(土)	
会場	トキハ別府店 7階レセプションホール	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	43名／50名 (86%)	
実施内容	『関口 光太郎 in BEPPU』の開幕を記念し、関口 光太郎の作品を日本彫刻史の視点で掘り下げ、その作品の魅力に迫るトークイベントを開催した。登壇：関口 光太郎、田中修二 (大分大学 教授) 進行：山出淳也 (混浴温泉世界実行委員会 総合プロデューサー) 10/13(日)に予定していたトークイベントは台風19号の影響により中止した。	

企画者	混浴温泉世界実行委員会	
プログラム 118	『関口 光太郎 in BEPPU』ワークショップ	
会期	(1) 9/21(土)～11/10(日) (2) 9/22(日)	
会場	(1)トキハ別府店 5階 (2)トキハ別府店 1階センターモール	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	1,806名／977名 (185%)	
実施内容	(1)『関口 光太郎 in BEPPU』の展覧会会場の一面に、どなたでも作品制作を体験できるブースを設置。(2) 関口 光太郎が講師となり、新聞紙とガムテープで作品を作るワークショップを開催。参加者が作った作品は『関口 光太郎 in BEPPU』の作品に加えた。	

企画者	混浴温泉世界実行委員会	
プログラム 119	『関口 光太郎 in BEPPU』鑑賞ツアー	
会期	10/6(日)・19(土)・20(日)・11/2(土)・9(土)	
会場	トキハ別府店 5階	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	73名／100名 (73%)	
実施内容	『関口 光太郎 in BEPPU』の作品を、総合プロデューサーの山出淳也や事務局スタッフによる解説付きで鑑賞するツアーを実施した。	

企画者	混浴温泉世界実行委員会	
プログラム 120	アニッシュ・カプーア『Sky Mirror』再公開	
会期	9/21(土)～11/10(日)	
会場	別府公園	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	43,842名／17,000名 (258%)	
実施内容	2018年秋に開催した『アニッシュ・カプーア IN 別府』にて、日本初公開した作品『Sky Mirror』を再公開した。	

企画者	混浴温泉世界実行委員会	
プログラム 121	つながるアート	
会期	9/21(土)～11/10(日)	
会場	JR別府駅構内	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	68名／100名 (68%)	
実施内容	これまでに『ベップ・アート・マンス』にさまざまな形で関わり、支えていただいた方々の手形を集め、人と人が繋がり、そしてこれからもその輪が広がっていくようお願いを込めた、10周年の記念となる手形作品を制作し展示した。	

企画者	混浴温泉世界実行委員会	
プログラム 122	10周年記念! プチプレゼント	
会期	9/21(土)～11/10(日)	
会場	別府市内各会場	
料金	無料	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	32名／60名 (53%)	
実施内容	10周年を記念して、一部の企画者 (32組) が心の込めったプチプレゼントを用意。別府市内の各会場で来場者に先着順でプレゼントした。	

企画者	混浴温泉世界実行委員会	
プログラム 123	『ベップ・アート・マンスをつくろう会』	
会期	10/13(日)	
会場	バサラハウス	
料金	2,500円	
来場人数 ／目標来場人数 (達成率)	30名／50名 (60%)	
実施内容	『ベップ・アート・マンス』10周年を記念し、誰でも参加できるパーティを開催した。過去の記録映像の上映をおこない、これまでの10年を振り返るなど、参加者同士で楽しく交流した。	

2-3. 運営について

1. ロゴのリニューアルと10周年記念イベントの開催

2010年より始め、今年で10周年を迎えるにあたり、ロゴを一新し、『ベップ・アート・マンス 10th Anniversary 3大企画』として3つの企画をおこなった。

ロゴのリニューアル

「これからもより多くの方々に親しまれ、もっと気軽に、楽しく参加してほしい」という思いを込めて、『ベップ・アート・マンス』のロゴをリニューアルした。新しいロゴはこれまで使用していたタイル柄は踏襲しつつ、誰もが親しみやすいよう、明るくポップなイメージのものとなった。



ベップ・アート・マンス 10th Anniversary 3大企画の開催

・つながるアート

過去の企画者や会場提供者など、これまでに『ベップ・アート・マンス』にさまざまな形で関わり支えていただいた方々の手形を集め、10周年の記念となる手形作品を制作し展示した。

・10周年記念! プチプレゼント

一部企画者(32組)が心の込めったプチプレゼントを、先着順で用意した。

・『ベップ・アート・マンスをつくろう会』10周年記念パーティー

これまでの10年を振り返り、参加者同士で楽しく交流する10周年記念パーティーを開催した。



つながるアート



10周年記念! プチプレゼント



『ベップ・アート・マンスをつくろう会』
10周年記念パーティー

2. サポート内容

『ベップ・アート・マンス 2019』に登録をしたプログラム企画者に対し、事務局より以下のサポートをおこなった。

プログラム実施に関わる相談およびサポート

プログラム登録申請書(申請期間:5月1日(水)~31日(金))の提出後、事務局によるヒアリング(面談)をおこない、企画者の意向を確認しながら未確定事項の決定や、実現性、安全性の確認をおこなった。また、登録決定からプログラム開催直前まで企画のブラッシュアップに協力した。

無料およびディスカウント料金で利用できる会場(提供会場)の紹介

実行委員会が企画者に紹介する会場として7ヶ所を用意した。

・無料で使用できる会場

長覚寺(浜脇地区)、トキハ別府店 大屋根の下(中心市街地)

・ディスカウント料金で利用できる会場

茶房たかさき(朝見地区)、別府ブルーバード会館3階 フレックスホール(中心市街地)、えきマチ1丁目別府 コミュニティルーム(中心市街地)、富士屋Gallery一也百 ギャラリースペース(鉄輪地区)、富士屋Gallery一也百 ホール(鉄輪地区)。また、提供会場以外にも使用できる会場を複数ヶ所紹介をした。

広報業務の一部代行

- 全プログラムが掲載されたパンフレット (10,000部) や事業全体を告知するポスター (400部) を作成し、別府市内や近郊を中心に全国へ配布した。
- Webサイトで、個別のプログラムの情報提供や予約受付をおこなった。
- SNS (Facebook、Instagram、Twitter) を通じた情報発信をおこなった。
- 記者発表会を開催し、1組の企画者が自らの企画をPRした。
- 会場目印ののぼり (50枚) を各会場に設置した。

総合インフォメーションセンター

9月14日(土)～11月10日(日)の期間、JR別府駅構内に総合インフォメーションセンターを設けPRや問い合わせ対応をした。

問合せ受付・連絡先窓口などの事務局業務

企画者が希望する場合、プログラムの予約受付や問合せ対応を事務局が代行した。
予約は電話、Fax、Webサイト、総合インフォメーションセンターにて受け付けた。



総合インフォメーションセンター



パンフレット 表紙



パンフレット プログラム紹介ページ



Webサイト



のぼり

3. 加盟店

プログラム実施会場に近い小売店・小規模飲食店を中心に、本事業に賛同してくださる店舗を『ベップ・アート・マンス 2019 加盟店』とし、パンフレットやWebサイトで紹介した。加盟店には、店頭用のポップを配布し掲示していただいた。加盟料は5,000円と10,000円で、2019年は40店舗の加盟があった。



加盟店ポップ



パンフレットに掲載した加盟店情報

2-4. 『ベップ・アート・マンスをつくろう会』や『プログラム登録相談会』、『報告会 & 交流会』の開催

市民による主体的な運営を目指し、プログラム企画者を中心に、地域の方などを交え、事業についての意見交換、企画者同士の交流を図る『ベップ・アート・マンスをつくろう会』を実施した。この取組は2013年より始まり、今年度は計13回実施され、のべ101名の参加があった。また、登録を検討している人を後押しするため、募集期間中にプログラム登録相談会を3度実施し、応募の呼びかけやプログラムの企画・立案についてのアドバイスをこなった。加えて、PRと企画者同士の連携促進を兼ねて『べっふ火の海まつり』の納涼音頭大会に踊り手として参加した。

『ベップ・アート・マンスをつくろう会』

回	日程	参加人数	会場
103	2019/5/9(木)	8	事務局 (BEPPU PROJECT事務所内)
104	2019/5/16(木)	2	事務局 (BEPPU PROJECT事務所内)
105	2019/6/6(木)	9	事務局 (BEPPU PROJECT事務所内)
106	2019/6/20(木)	7	事務局 (BEPPU PROJECT事務所内)
107	2019/7/4(木)	4	事務局 (BEPPU PROJECT事務所内)
108	2019/7/18(木)	3	事務局 (BEPPU PROJECT事務所内)
109	2019/8/1(木)	5	事務局 (BEPPU PROJECT事務所内)
110	2019/8/22(木)	6	事務局 (BEPPU PROJECT事務所内)
111	2019/9/5(木)	5	事務局 (BEPPU PROJECT事務所内)
112	2019/9/19(木)	13	事務局 (BEPPU PROJECT事務所内)
113	2019/10/3(木)	2	事務局 (BEPPU PROJECT事務所内)
114	2019/10/13(日)	33	バサラハウス (10周年記念パーティーとして開催)
115	2019/11/7(木)	4	JR別府駅周辺 『ベップ・アート・マンス 2019』 会場

『プログラム登録相談会』

内容	日程	参加人数	会場
相談会 1 回目	2019/5/8(水)	10	えきマチ 1 丁目別府 コミュニティルーム
相談会 2 回目	2019/5/18(土)	8	yoiya (多機能拠点 べっふ未来わくわくセンター)
相談会 3 回目	2019/5/26(日)	10	JR別府駅北高架商店街内

『べっふ火の海まつり』

内容	日程	参加人数	会場
べっふ火の海まつり	2019/7/28(日)	26	別府スパビーチ



左から『ベップ・アート・マンスをつくろう会』『プログラム登録相談会』『べっふ火の海まつり』の様子

『ベップ・アート・マンス 2019 報告会 & 交流会』を開催し、事務局から企画者アンケートと来場者アンケートの集計結果を報告した。また、意見交換の場ではパンフレットの改善など、広報面についてのアイデアや『ベップ・アート・マンスをつくろう会』の参加率を上げるための提案など、活発な意見が交わされた。今後も継続して『ベップ・アート・マンスをつくろう会』などの場で意見交換をおこない、企画者の意見を積極的に取り入れていきたい。

『報告会 & 交流会』

内容	日程	参加人数	会場
報告会 & 交流会	2020/1/26(日)	16	野口ふれあい交流センター 集会室



『ベップ・アート・マンス 2019 報告会 & 交流会』の様子

2-5. サポートへの評価

1. アンケート結果

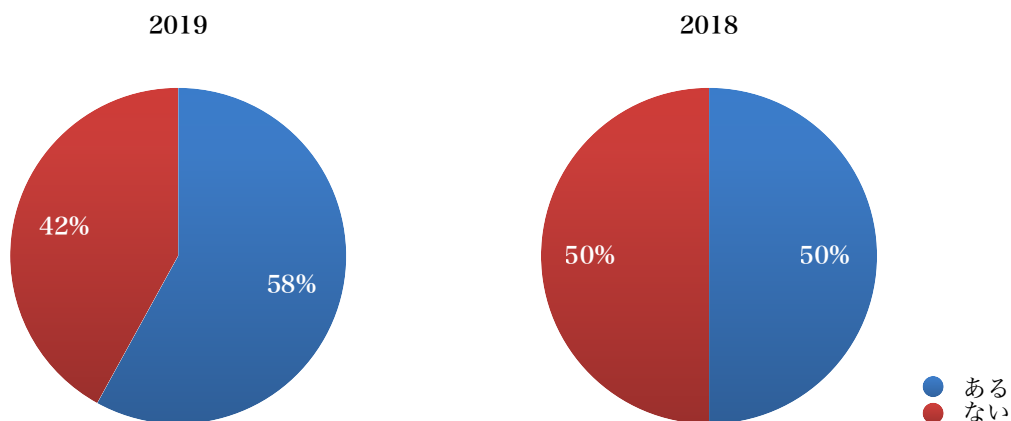
プログラム終了後、プログラム企画者へアンケートを実施した。回収枚数は105枚。

※小数点以下の記載がないものに関しては四捨五入している。

1. これまでにプログラムを登録したことがあるか
2. 『ベップ・アート・マンス』という取組への評価
3. 『ベップ・アート・マンス』に登録してよかったか
4. また『ベップ・アート・マンス』へ登録したいか
5. 事務局の対応に対する評価
6. 広報業務の一部代行による効果があったか
7. 提供会場の取組をどう思うか
8. 『ベップ・アート・マンスをつくろう会』には参加したか

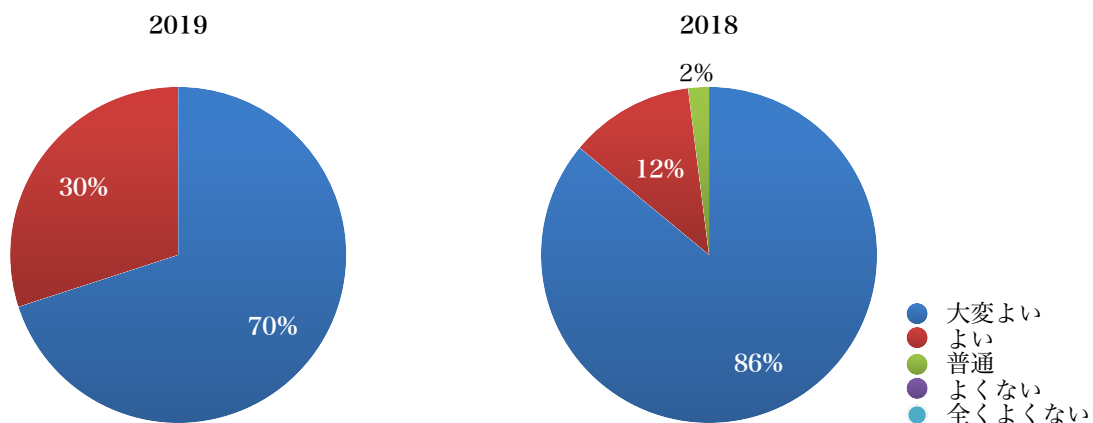
1. これまでにプログラムを登録したことがあるか

昨年と比較し、「ある」が8%増加した。



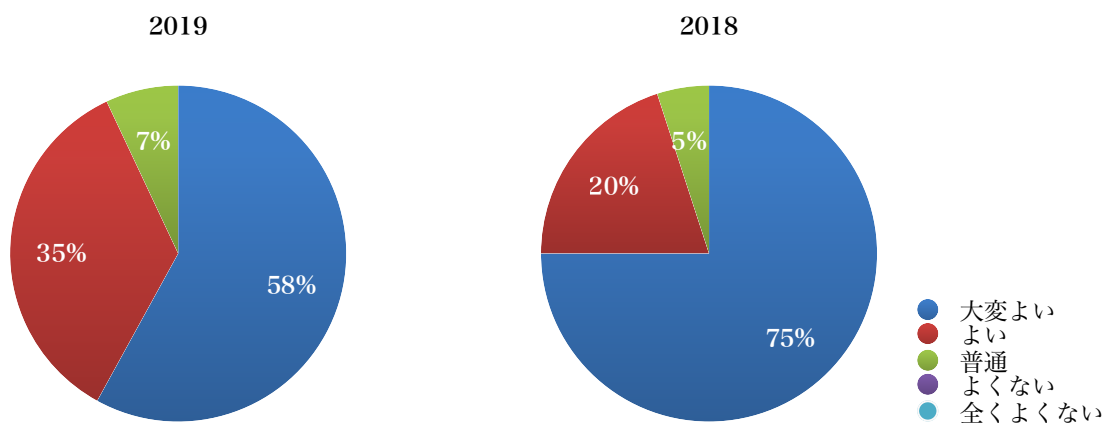
2. 『ベップ・アート・マンス』という取組への評価

昨年と比較し、「大変よい」が16%減少し、「よい」の評価が18%増加した。「普通」の評価は0%となった。



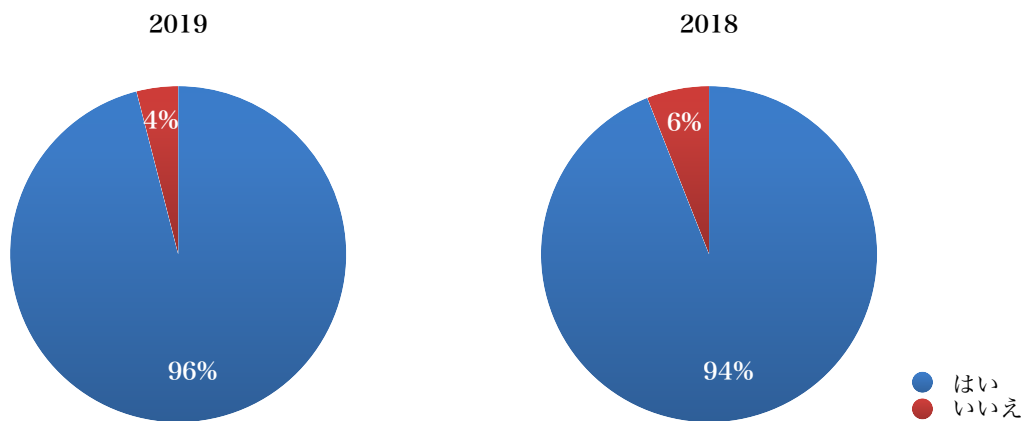
3. 『ベップ・アート・マンス』に登録してよかったか

昨年と比較し、「大変よい」が17%減少し、「よい」の評価が15%増加した。



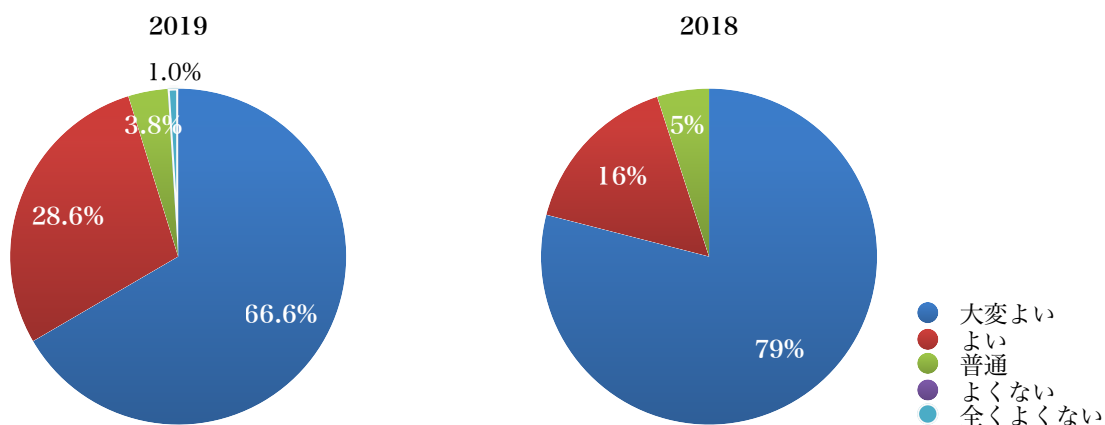
4. また『ベップ・アート・マンス』へ登録したいか

昨年と比較し、「はい」との回答が96%となり、例年とほぼ変化はない。



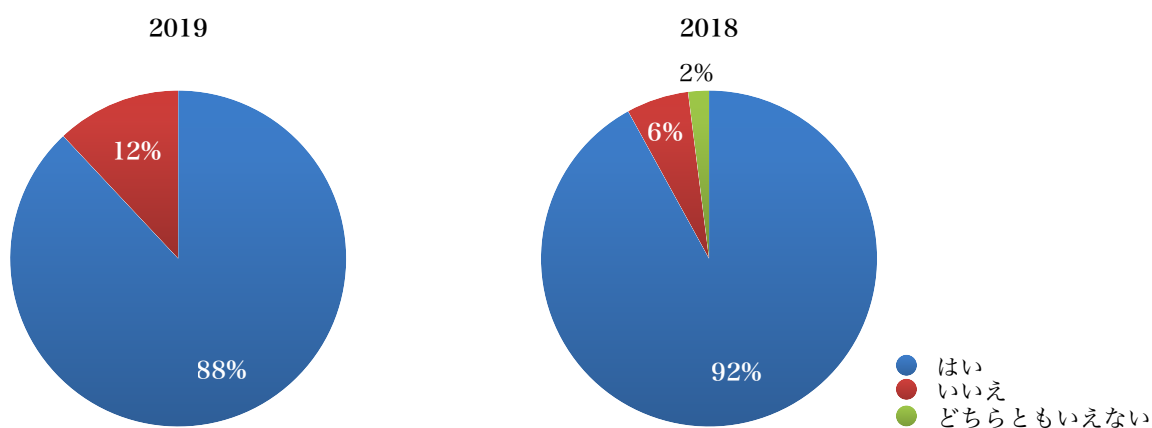
5. 事務局の対応に対する評価

昨年と比較し、「大変よい」が12.4%減少し、「よい」の評価が12.6%増加した。



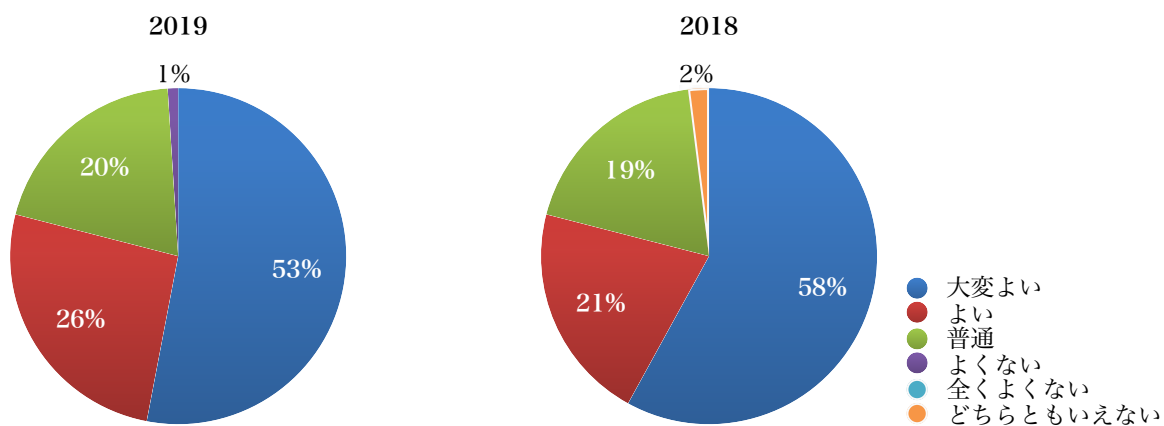
6. 広報業務の一部代行による効果があったか

昨年と比較し、「はい」が4%減少し、「いいえ」の評価が6%増加した。



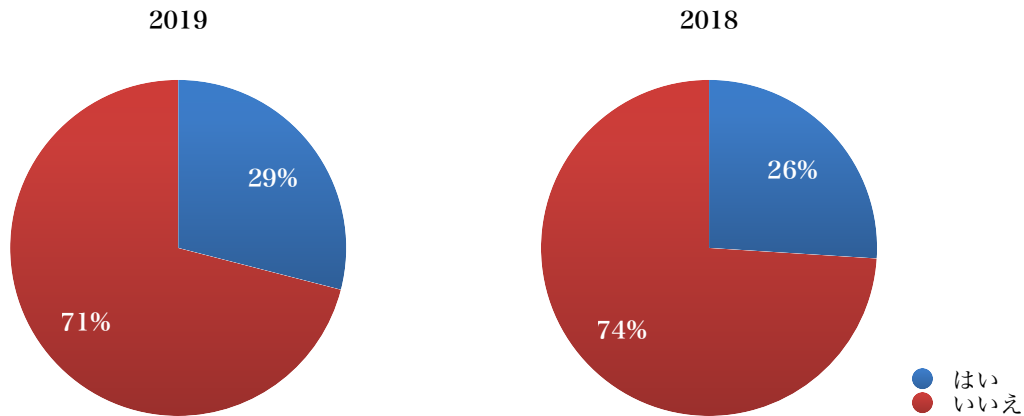
7. 提供会場の取組をどう思うか

6ヶ所の提供会場を使用した。「大変よい」「よい」が合わせて79%となった。



8. 『ベップ・アート・マンスをつくろう会』には参加したか

「参加した」との回答が30%以下という結果である。



『ベップ・アート・マンス』という取組への評価についての自由意見

- アートを自然に目にする機会が増えて多くの方に気軽に参加できるアートイベントであり、良いと思います。
- いろいろな人がそれぞれの表現を繰り広げていて、『アート』は美術館だけで見るものではないと思った。
- アートを軸にして、別府の一体感を感じることができ、今まで気付かなかった、あらたな町の魅力に目を向けることができる。
- 地元のアーティストやアートを趣味とする一般市民に表現活動の場を与えることができる。また観光や地域活性面でプラスになる。
- 皆さんに、別府の良さを知ってもらうのに、大変良い取り組みだと思います。作家さんたちにとっても発表の場所があることがありがたい。
- 別府市の新たなお店や人と出会えたこと、自分の活動を知ってもらう場所をいただけたこと、アートマンスが終わっても続くご縁は素敵だなあ、と思います。
- 何か起きてる感って町には重要な気がします。カラフルな旗がある風景はそういった印象を受けるし、通り過ぎる人にも徐々に気づいてもらってるような気がしました。
- 取り組みは素敵だけど実際の威力が見えない。
- まだ活動経験の少ない作家にとっては、参加しやすいイベントだと思います。ただ、プロを目指している作家や、現在プロで活動されている方にとっては、魅力に欠けるような気もしました。
- 展示方法など企画者ごとに希望があればアドバイスをするなど (例えば作品の見せ方など少し専門的なハード面でのサポートがあれば、展示の質なども上がっていいのかなと思います。
- 毎年、楽しみにして来ている人がいる一方で、全くアートマンスについてご存知でなかった人もいたため、まだまだ別府に浸透していないのかな? と思いました。

(アンケートより原文のまま抜粋)

2-6. 来場者について

1. 来場者数

来場者は14,590名(目標来場者数：9,000名)を数えた。事業開始以降の来場者数は以下のとおり。

開催年	会期	プログラム数	参加団体数	来場者数
2010年	11/1(月)～11/30(火) [30日間]	43	27	3,930名
2011年	11/1(火)～11/30(水) [30日間]	87	57	11,751名
2012年	10/6(土)～12/2(日) [58日間] ※1)	148	122	53,736名
2013年	11/1(金)～12/1(日) [31日間]	86	74	25,147名
2014年	11/1(土)～11/30(日) [30日間]	81	72	22,134名
2015年	7/18(土)～9/27(日) [72日間] ※1)	88	71	53,474名
2016年	10/29(土)～11/30(水) [33日間]	97	87	12,103名 『目 In Beppu』の来場者数1,122名を含まず
2017年	11/1(水)～12/3(日) [33日間]	107	93	10,005名 『西野 達 in 別府』の来場者数13,391名を含まず
2018年	10/6(土)～11/25(日) [51日間]	124	95	23,722名 『アニッシュ・カプーア IN 別府』の来場者数54,716名を含まず
2019年	9/21(土)～11/10(日) [51日間]	123	98	14,590名 『関口 光太郎 in BEPPU』の来場者数11,840名とアニッシュ・カプーア『Sky Mirror』再公開の来場者数43,842名を含まず

※1) 2012年、2015年は別府現代芸術フェスティバル『混浴温泉世界』の開催に合わせて、約2ヶ月間の会期

2. アンケート結果

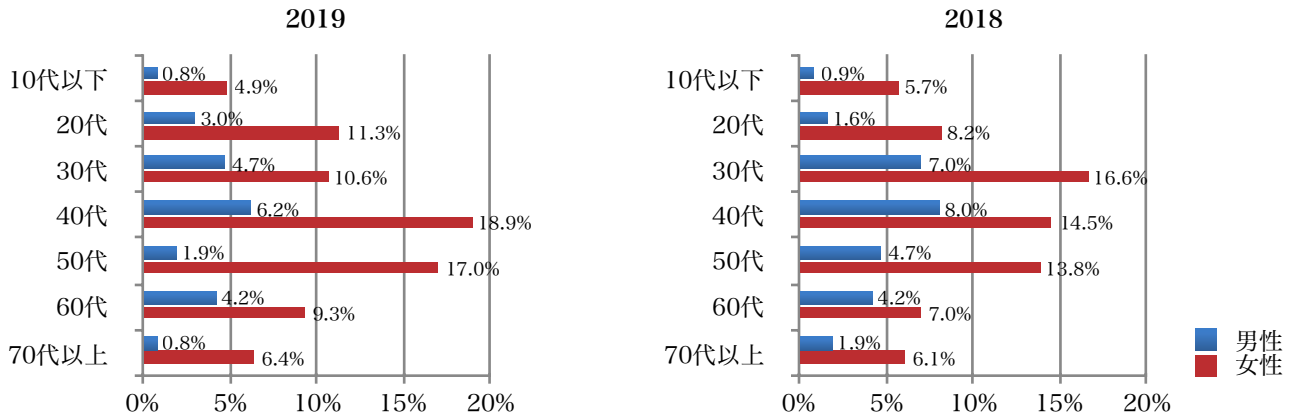
会期中、来場者に下記の質問を記したアンケートを実施した。回収枚数は557枚。

※小数点以下の記載がないものに関しては四捨五入している

1. 年齢、性別、居住地、滞在期間
2. 今回のプログラムのことをどこで知ったか (複数回答可)
3. 『ベップ・アート・マンス』のことをいつから知っていたか
4. 『ベップ・アート・マンス』にこれまで参加したことがあるか
5. 『ベップ・アート・マンス』のことを何で知ったか (複数回答可)
6. 他に参加した、または参加する予定のプログラムはあるか
7. 『ベップ・アート・マンス』という取組への評価
8. 7の理由
9. 次回はプログラムの企画者として参加したいと思うか
10. 『関口 光太郎 in BEPPU』には参加したか
11. 「別府は温泉観光地だけではなくアートの町でもある」というイメージはあるか

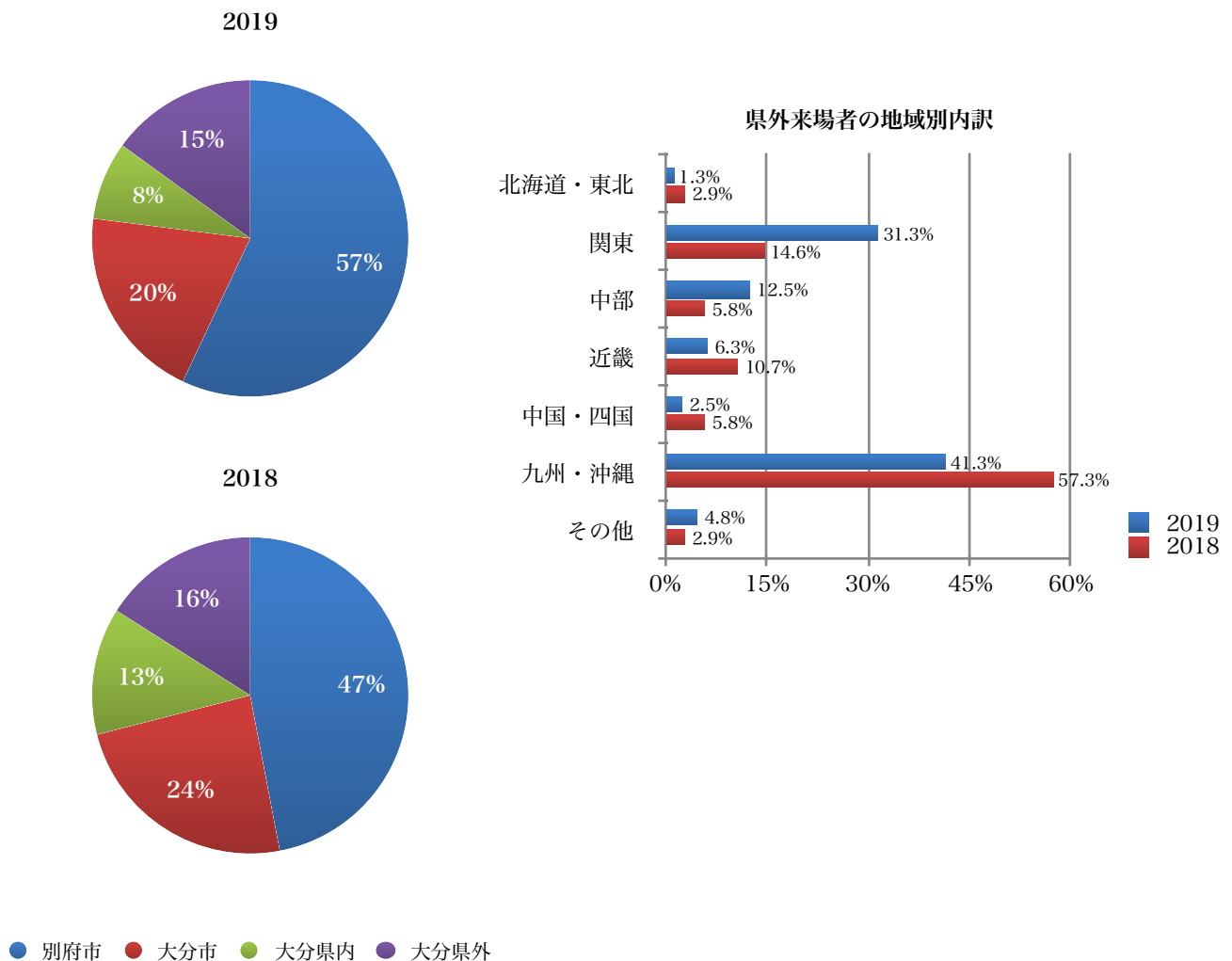
1-1. 年齢、性別

昨年と比較し、女性の20代、40代、50代の割合が伸びている。また、男性の30代、50代の割合が減少した。



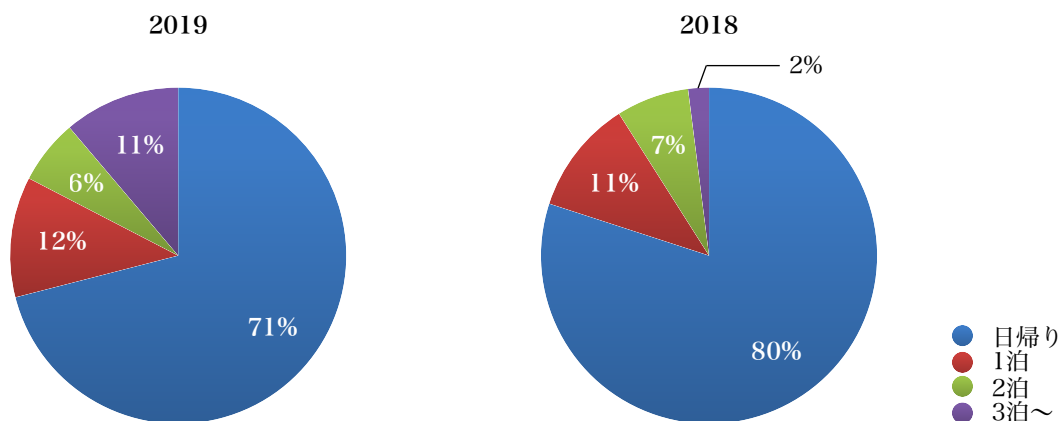
1-2. 居住地

昨年と比較し、「別府市」の割合が10%増加したが、県外来場者の割合はほぼ変化はない。県外来場者の地域別内訳をみると、「関東」「中部」の割合が増加し、「九州・沖縄」の割合が16%減少した。



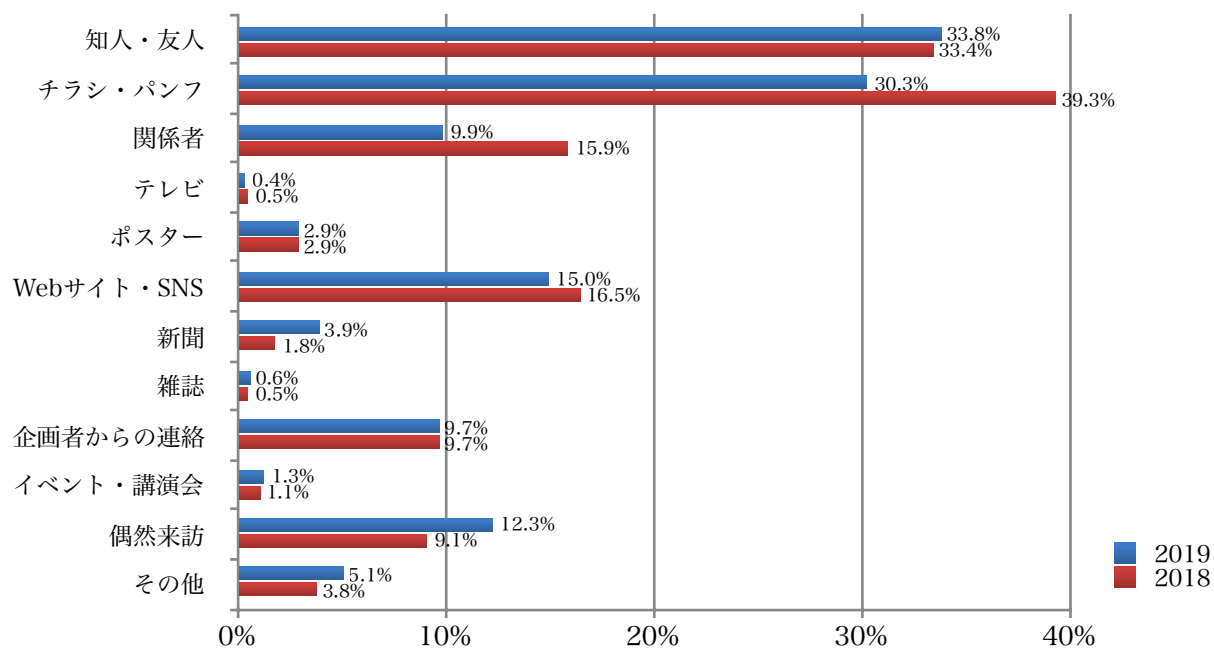
1-3. 滞在期間

昨年と比較し、「日帰り」の割合が9%減少し、「3泊～」の長期宿泊をとまなう来場者の割合が9%増加した。



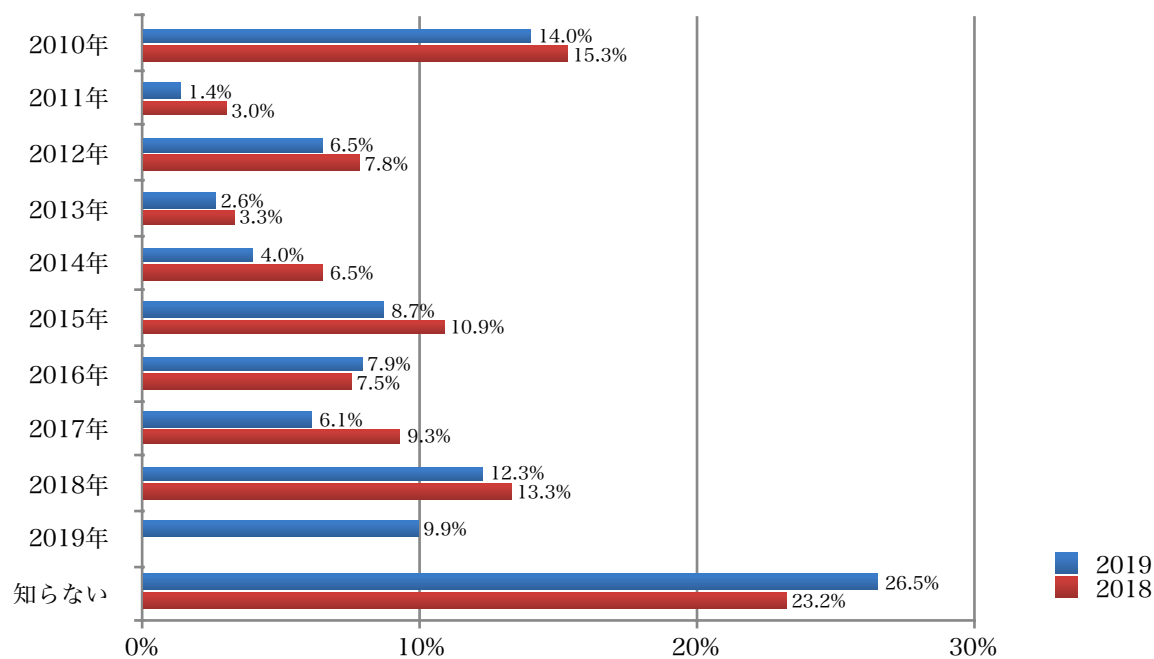
2. 今回のプログラムのことをどこで知ったか (複数回答可)

昨年と比較し、「チラシ・パンフ」、「関係者からのお知らせ」が減少した。「新聞」の割合が2.1%、「偶然来訪」が3.2%増加した。



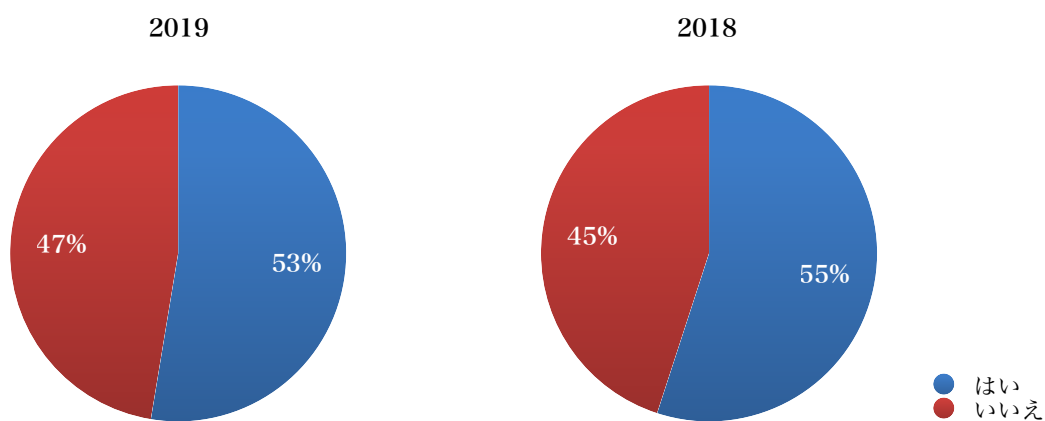
3. 『ベップ・アート・マンス』のことをいつから知っていたか

昨年同様、2010年度や2018年度に知った方が多い。「知らない」の回答が昨年に比べ3.3%増加した。



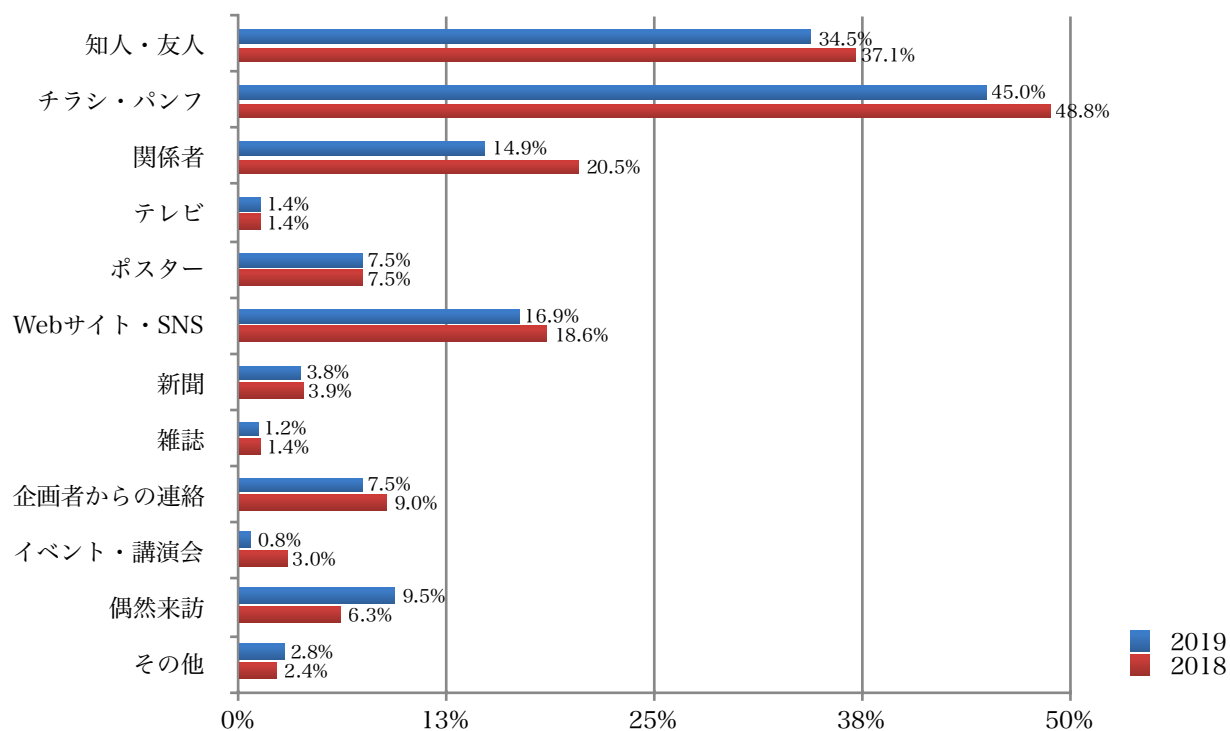
4. 『ベップ・アート・マンス』にこれまで参加したことがあるか

昨年と比較し、回答の割合はほぼ変化はない。



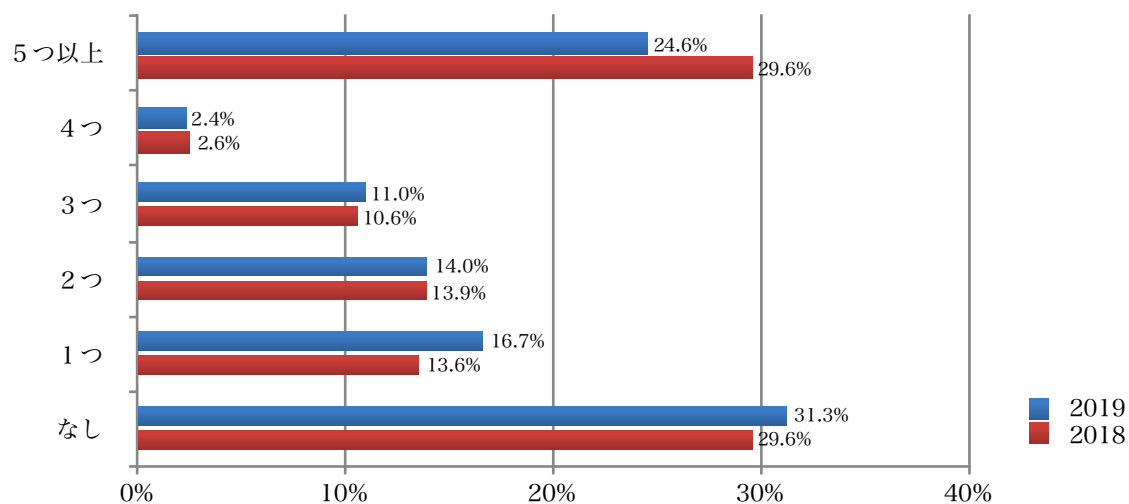
5. 『ベップ・アート・マンス』のことを何で知ったか (複数回答可)

昨年と比較し、「チラシ・パンフ」の割合が3.8%、「関係者からののお知らせ」が5.6%減少した。「偶然来訪」の割合は3.2%増加した。



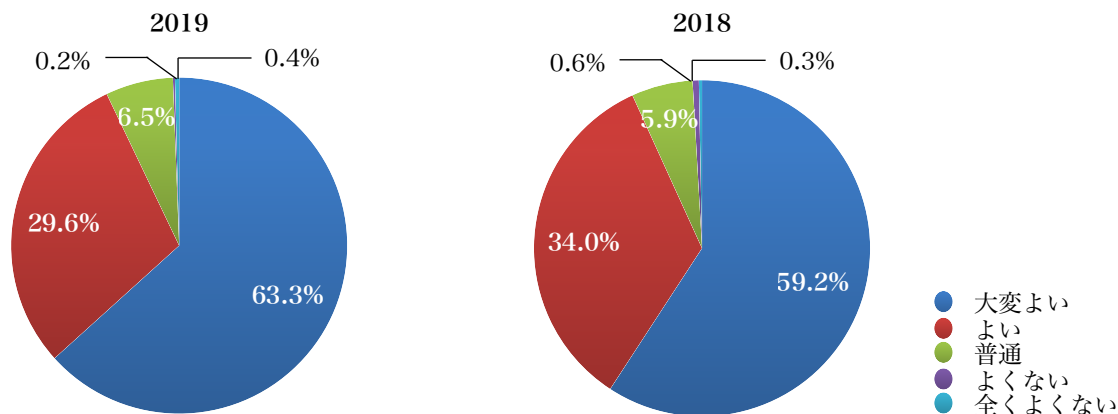
6. 他に参加した、または参加する予定のプログラムはあるか

昨年と比較して、「5つ以上」の割合が5%減少し、「1つ」と選択した方が3.1%増加した。



7. 『ベップ・アート・マンス』という取組への評価

昨年と比較し、「大変よい」がやや増えたが、「大変よい」と「よい」の合計はやや下がった。



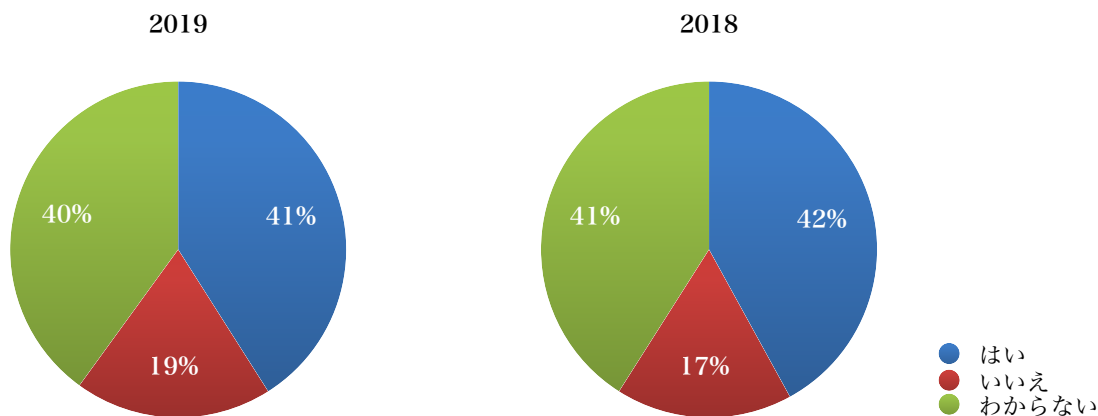
8. 7の理由

- ・プロアマ問わずの交流が新鮮。
- ・市民の楽しみと他県からのお友達をさそうチャンス。
- ・「町全体で、身近に」というコンセプトがいいと思った。
- ・毎年楽しいワークショップが実施されているので勉強になる。
- ・年ごとに充実していっているように思う。継続してほしい。
- ・別府のアートや会場となる場所も知ることができるのが楽しい。
- ・絵、造形、写真、音楽、ダンスと一つのジャンルにとらわれないイベントで良い。
- ・県外から来た者からすると内容によっては地域のことを知ることができる機会である。
- ・みんなが表現者になれるという、意欲をわきたたせてくれる。伸び伸びした気分になれる。
- ・パンフが見にくい、見る気が起きない。
- ・面白いものと、あまりおもしろくないものが交じっている。
- ・広報△。チラシが大きく、エリア毎でみづらい。パッと見てわかるように日付順にしてほしい。

(アンケートより原文のまま抜粋)

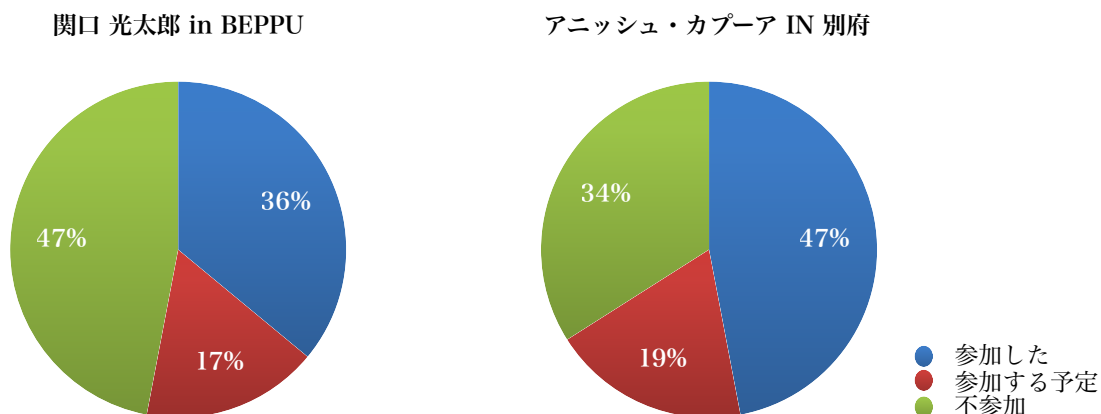
9. 次回はプログラムの企画者として参加したいと思うか

昨年と比較し、回答の割合にほぼ変化はない。



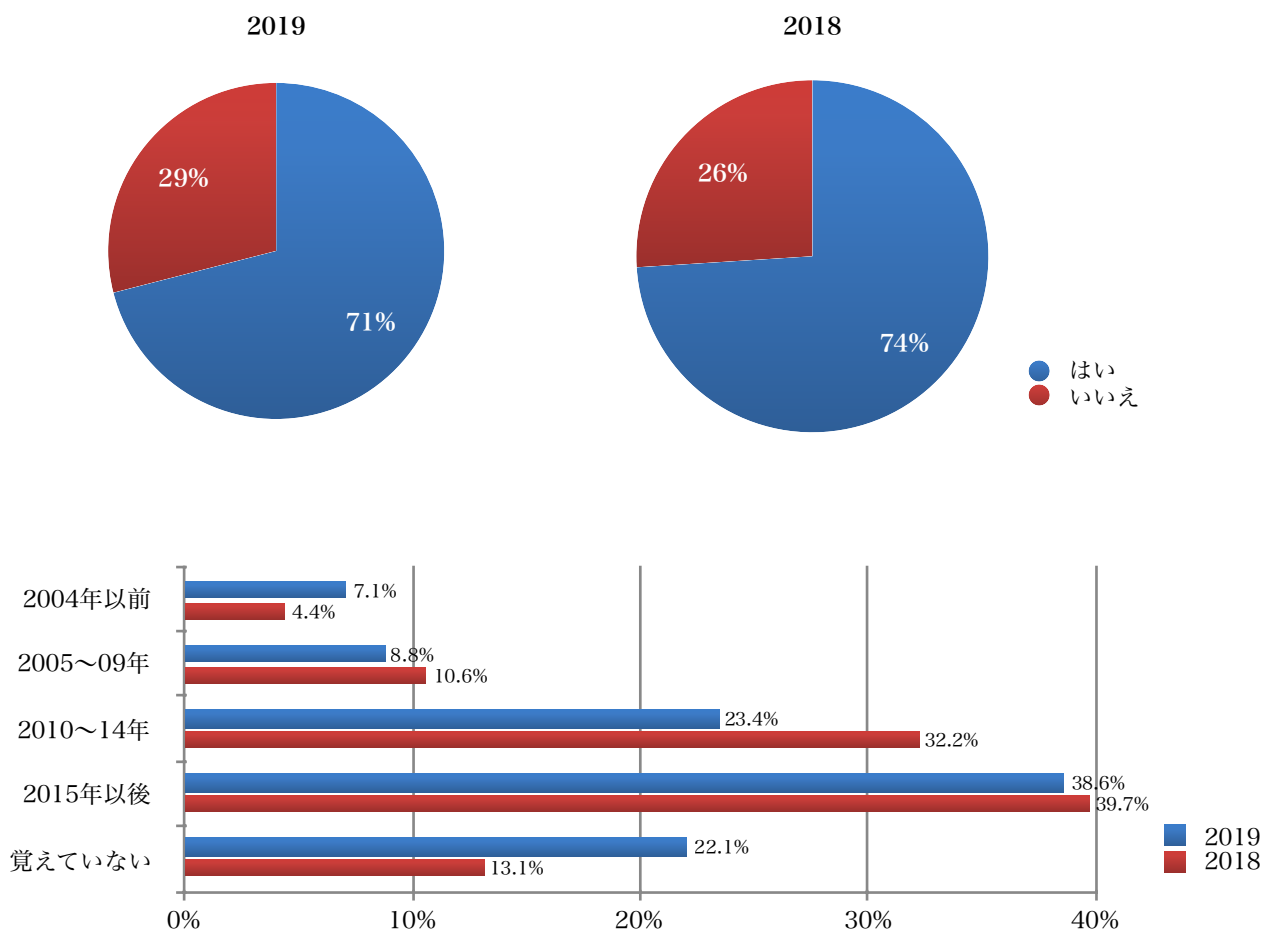
10. 『関口 光太郎 in BEPPU』には参加したか

昨年と比較し、「参加した」の割合が11%減少し、「不参加」の割合が13%増加した。



11. 「別府は温泉観光地だけではなくアートの町でもある」というイメージを持っているか

昨年と比較し、「はい」の回答が3%減少した。「はい」のうち、いつごろからそのイメージを持つようになったかを設問した内訳は以下の通りとなり、昨年同様、「2015年以後」が最も高い結果となった。



3-1. 企画概要

1. はじめに

『in BEPPU』は別府現代芸術フェスティバル『混浴温泉世界』の後継企画として2016年より始動したアートプロジェクトである。別府現代芸術フェスティバル『混浴温泉世界』は2009年から2015年まで3年に1度、計3回開催し、美術やダンス、音楽など、国際色豊かなアーティスト100名以上が別府に滞在して構想した新作を発表した。

これに対して『in BEPPU』では、国際的に活躍する1組のアーティストを別府に招聘し、地域性を活かしたアートプロジェクトを毎年秋に実現する。第1回目は現代芸術活動チーム【目】による『目 In Beppu』を別府市役所で、第2回目は西野 達による『西野 達 in 別府』をJR別府駅前を中心とした市街地で、第3回目はアニッシュ・カプーアによる『アニッシュ・カプーア IN 別府』を別府公園で開催した。第4回目となる今年度は、新聞紙とガムテープを使って作品を制作するアーティスト・関口 光太郎を招聘し、会期前から、ワークショップを県内の教育機関や児童館、公民館、美術館などで開催した。ワークショップで生みだされた無数の創作物をアーティストが融合させ、会期中も成長し続ける作品『混浴へ参加するよう世界を導く自由な薬師如来』としてトキハ別府店で発表した。

2. アーティストについて



撮影：森 英嗣

関口 光太郎 (せきぐちこうたろう)

1983年生まれ。多摩美術大学彫刻科卒業。現代芸術家。幼少期より新聞紙とガムテープを用いた制作を始める。大学の卒業制作『瞬間寺院』がデザイナー三宅一生氏の目に留まり、2008年、東京ミッドタウンにおける同氏の企画展『XXIc.-21世紀人』展に最年少作家として参加。2012年、『感性ネジ』で第15回岡本太郎賞を受賞。特別支援学校「旭出学園」で教員を務めるかたわら、作品制作をおこなう。美術館や公共施設の企画展への参加やワークショップなど、各地で活動を展開する。

3. ロゴマークについて



関口 光太郎が作品の主な素材として扱う新聞紙をモチーフに、見出しをイメージした公式ロゴマークを制作した。新聞風のデザインはチラシやポスター、Webサイトでも踏襲した。

3-2. 作品について

展覧会名	関口 光太郎 in BEPPU／KOTARO SEKIGUCHI in BEPPU
会期	2019年9月21日 (土) ～11月10日 (日) (51日間) 開場時間：10:00～18:00 (最終入場 17:30)
会場	トキハ別府店 5 階 (大分県別府市北浜2-9-1)
鑑賞料	無料
概要	トキハ別府店 5 階を会場に、関口 光太郎による作品『混浴へ参加するよう世界を導く自由な薬師如来』を展示した。作品は、会期前から開催した23回のワークショップで参加者が作った創作物に、自身の作品も加えながら作りあげたもの。また、会場の一角に、誰でも無料で作品制作を体験できるワークショップブースを設置した。子どものみならず大人やシニア層、インバウンド客も参加し、新聞紙とガムテープを使って創作に励む様子が見られた。ワークショップブースで作られた創作物も随時追加され、作品は会期中も成長し続けるものとなった。
来場者	11,840名



作品入口



作品内部



ワークショップブースの様子①



ワークショップブースの様子②

作品名	混浴へ参加するよう世界を導く自由な薬師如来
制作年／素材	2019年／新聞紙、ガムテープ、木、針金、ボンド
内容	多様な文化や価値観を受け入れてきた別府の魅力と、共同浴場などに多く祀られている薬師如来像から着想を得た作品。大きな薬師如来に導かれた世界の大陸が1つの湯に浸かり「混浴」する光景によって多文化共生を表現した。サイズはおおよそ幅15メートル、奥行き25メートル、高さ2.7メートルで、関口 光太郎にとって過去最大規模の作品となった。



作品制作にあたり、会期前からワークショップを複数回開催した。ワークショップ開催実績は下記の通りである。会期前、会期中合わせて、のべ2,829名が参加した。

『関口 光太郎 in BEPPU』会期前

No	日程	エリア	会場	対象	参加人数
1	5月20日(月)	別府市	別府大学	文学部 国際言語・文化学科 学生	34名
2	5月26日(日)		実相寺多目的グラウンド	『第2回JALラグビーフェスティバル』来場者	40名
3	5月26日(日)		別府公園	『リユースマーケット in 別府』来場者	51名
4	5月31日(金)		別府市立別府中央小学校	小学4年生	47名
5	6月7日(金)		明星小学校	小学3年生	54名
6	6月10日(月)		別府市立大平山小学校	小学6年生	45名
7	6月11日(火)		別府市立別府中央小学校	小学3年生	48名
8	6月17日(月)		明星小学校	小学1年生	53名
9	6月21日(金)		明星小学校	小学2年生	54名
10	6月24日(月)		明星小学校	小学5年生	55名
11	6月30日(日)	大分市	大分大学 王子キャンパス	小学生以上、大分大学 教育学部 学生	54名
12	7月6日(土)	別府市	やまなみ児童クラブ	幼稚園～小学5年生	48名
13	7月21日(日)	大分市	大分県立芸術文化短期大学	美術科 学生	24名
14	7月27日(土)	別府市	JR別府駅前 駅前通り	『べっぷ火の海まつり』来場者	60名
15	7月30日(火)		南子育て仲良しクラブ	小学1年生～小学6年生	59名
16	8月2日(金)		別府市南部児童館	小学生～中学生	40名
17	8月7日(水)		(株) 別大興産 別府本社	会社員およびその家族	40名
18	8月7日(水)	大分市	大分県立美術館	小学生以上	35名
19	8月8日(木)	別府市	別府市中央公民館	小学生以上	32名
20	8月9日(金)		別府市役所	不問	20名
21	8月20日(火)		別府市西部地区公民館	小学生以上	39名
22	8月28日(木)		別府市役所	不問	35名
23	8月28日(木)		別府市リサイクル情報センター	小学生以上	56名
計					1,023名

※ No.1、11、13、14、18、20の講師は関口 光太郎。以外の講師はBEPPU PROJECT。

ワークショップの様子



明星小学校



大分大学



大分県立美術館

『関口 光太郎 in BEPPU』会期中

No	日程	エリア	会場	対象	参加人数
1	会期中毎日	別府市	トキハ別府店5階 ワークショップコーナー	不問	1,536名
2	9月22日(日)	別府市	トキハ別府店1階	小学生以上	35名
3	10月12日(土)	臼杵市	臼杵市中央公民館	小学生～中学生	43名
4	10月14日(月・祝)	大分市	児童養護施設 森の木	小学生～中学生	52名
5	10月14日(月・祝)		大分市美術館	小学生～中学生	45名
6	11月3日(日)	中津市	中津市立小幡記念図書館	小学生～中学生	43名
7	11月4日(月・祝)	別府市	別府駅 B-Passage フードコート	小学生～中学生	52名
計					1,806名

※ No.1はボランティアスタッフの案内のもと、参加者が自発的に活動した。

※ No.2、4の講師は関口 光太郎。

※ No.3、5、6、7はNPO法人 BEPPU PROJECTの自主事業として、関口 光太郎を講師に迎え実施した。(主催：NPO 法人 BEPPU PROJECT、助成：子どもゆめ基金、後援：大分合同新聞社)

3-3. 関連イベント

イベント名	【トークイベント】オープニング記念トーク「日本彫刻史と関口 光太郎」
実施日	9月21日(土) 14:00～16:00
実施場所	トキハ別府店7階レセプションホール
参加費	無料
登壇者など	登壇：関口 光太郎、田中修二 (大分大学 教授) 進行：山出淳也 (混浴温泉世界実行委員会 総合プロデューサー)
参加者人数	48名
内容	
前半は、大分大学にて主に日本彫刻史の研究をしている田中修二より、近現代の日本の彫刻の変遷を紹介した。後半は総合プロデューサーの山出淳也が進行役となり、田中修二のプレゼンテーションを踏まえたうえで、関口 光太郎の作品を彫刻という視点から見た場合、どのように日本彫刻史の中に位置づけられるかを議論した。	
	

イベント名	【トークイベント】榎木野衣が語る「関口 光太郎」
実施日	10月13日(日) 14:00～16:00
実施場所	トキハ別府店7階レセプションホール
参加費	無料
登壇者など	登壇：関口 光太郎、榎木野衣 (美術批評家) 進行：山出淳也 (混浴温泉世界実行委員会 総合プロデューサー)
参加者人数	中止のため0名
内容	
台風の影響により、交通機関が乱れ、登壇者が来県できなかったことから中止とした。	

イベント名	【ワークショップ】関口 光太郎と一緒につくろう!!
実施日	9月22日(日) 14:00～15:30
実施場所	トキハ別府店 1 階センターモール
参加費	無料
講師	関口 光太郎
参加者人数	35名
内容 関口 光太郎が講師となりワークショップをおこなった。前半は参加者全員で1つの大きな作品を制作。後半は、それぞれ自身の好きなものを制作した。制作した作品は、同会場5階の展覧会会場に展示した。	
	

イベント名	【ワークショップ】新聞紙とガムテープで作品をつくろう!!
実施日	会期中毎日 10:00～18:00
実施場所	トキハ別府店 5 階
参加費	無料
参加者人数	1,536名
内容 展覧会会場の外にいつでも誰でも自由に新聞紙とガムテープで制作できる、ワークショップブースを設けた。子どもだけでなく、大人も夢中になって制作しており、何度も足を運んでくださる方も多かった。特に土日祝は親子連れで賑わった。なお、ワークショップの成果物は会場内で保管し、作家が来県時に作品の一部に加えていった。	
	

イベント名	【鑑賞ツアー】 作品解説ツアー、プロデューサーツアー
実施日	作品解説ツアー：10月6日(日)、19日(土)、20日(日) 11:00～各回45分程度 プロデューサーツアー：11月2日(土)、9日(土) 11:00～各回30分程度
実施場所	トキハ別府店 5 階
参加費	無料
参加者人数	69名
内容	
事務局スタッフや総合プロデューサーの山出淳也の解説付きで作品を鑑賞するツアーを実施。作品についてだけでなく、制作過程にも触れながら作品の魅力や楽しみ方を伝えた。	

イベント名	【鑑賞ツアー】 アートまちあるきガイドツアー
実施日	10月6日(日)、20日(日)、11月2日(土)、9日(土) 各回10:00～14:00
集合場所	別府公園東口正門
参加費	実費 (昼食代1,000円)
参加者人数	46名
内容	
『関口 光太郎 in BEPPU』やアニッシュ・カプーア『Sky Mirror』『ベップ・アート・マンス』などの同時期に開催しているアートイベントだけでなく、地域資源や郷土料理などもあわせて楽しめるまちあるきガイドツアーを実施した。	

3-4. 運営について

総合インフォメーションセンター	JR別府駅構内に『関口 光太郎 in BEPPU』『ベップ・アート・マンス 2019』総合インフォメーションセンターを設置し展示案内やイベント受付などをおこなった。 開設期間：9月14日(土)～11月10日(日) 10:00～18:00 場所：別府市駅前町12-13	
ボランティアスタッフ	当実行委員会ではボランティアスタッフを、温泉の管理をする番台さんにぞらい『ばんだいさん』と呼んでいる。今年度の実働ボランティア数は50名であった。作品会場にて受付・案内・監視・清掃をおこなった。	
	下記の通り、広報物の制作をおこなった。 ①Webサイト (http://inbeppu.com) ②チラシ (サイズ：ブランケット新聞型) 22,500部 ③ポスター (サイズ：B2) 200部 ④別府市内向けチラシ (サイズ：A4) 1,500部 ⑤ボランティア募集チラシ (サイズ：A4) 1,000部	
広報物の制作	①Webサイト  ②チラシ  ③ポスター  ④別府市内向けチラシ  ⑤ボランティア募集チラシ 	

関口 光太郎が本展のために描いたドローイングをもとに、オリジナルグッズを制作し、SELECT BEPPUにて販売した。

オリジナルグッズの一例



オリジナル
グッズ
の制作

制作数や売上額など ※1)

品目	制作数	販売額 (円)	売上数	売上額 (円)
Tシャツ (アフリカ)	29	2,970	23	68,310
Tシャツ (アメリカ)	30		24	71,280
Tシャツ (オーストラリア)	36		32	95,040
Tシャツ (ユーラシア)	28		33	98,010
Tシャツ (南アメリカ)	27		17	50,490
手ぬぐい	100	1,650	27	44,550
サコッシュ	50	1,980	26	51,480
クッキー (アフリカ)	14	648	9	5,832
クッキー (アメリカ)	14		10	6,222 ※ 2
クッキー (オーストラリア)	14		6	3,630 ※ 2
クッキー (ユーラシア)	45		28	16,266 ※ 2
クッキー (南アメリカ)	14		7	4,083 ※ 2
売上総額				511,689

※ 1) 12/28現在
 ※ 2) 一部値下げ販売をおこなった。

3-5. 来場者について

1. 来場者数

会期中の総来場者数は、11,840名（目標来場者数：9,000名）を数えた。

2. アンケート結果

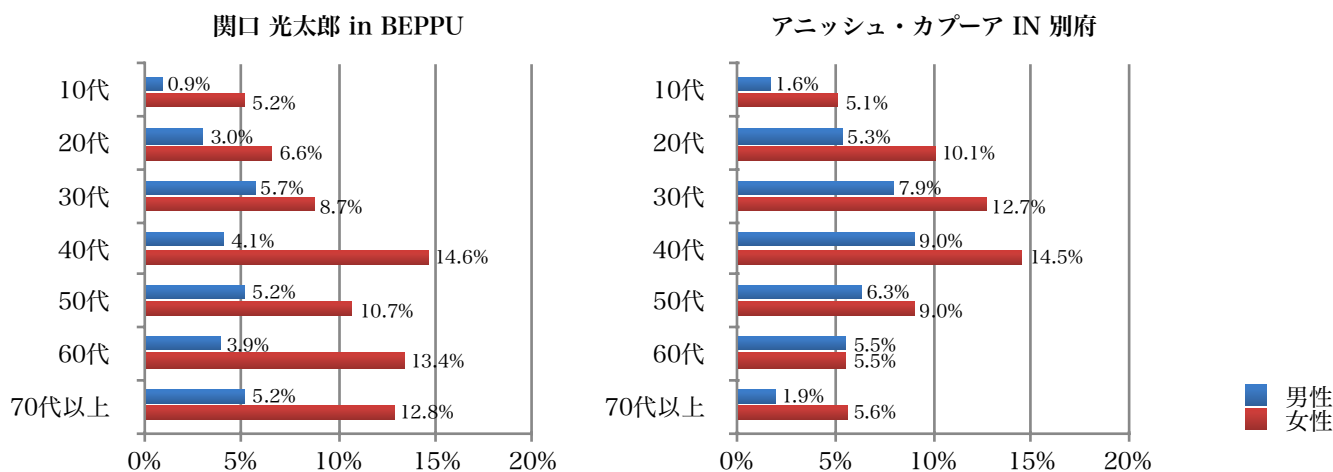
会期中、来場者へアンケートを実施した。回収枚数は566枚。比較のため昨年開催された『アニッシュ・カプーア IN 別府』の回答も掲載する（『関口 光太郎 in BEPPU』のアンケートとの比較項目がない回答は掲載しない）。

※小数点以下の記載のないものに関しては四捨五入している。

1. 年齢、性別、居住地、滞在期間
2. 『関口 光太郎 in BEPPU』の評価
3. 2の理由
4. どこで知ったか (複数回答可)
5. 『混浴温泉世界』や『in BEPPU』に参加したか (複数回答可)
6. 今後の『in BEPPU』では、どのようなアーティストや表現ジャンル、場所を期待するか (複数回答可)
7. 『ベップ・アート・マンス』には参加するか
8. アニッシュ・カプーアによる作品『Sky Mirror』再公開は鑑賞するか
9. 「別府は温泉観光地だけではなくアートの町でもある」というイメージを持っているか

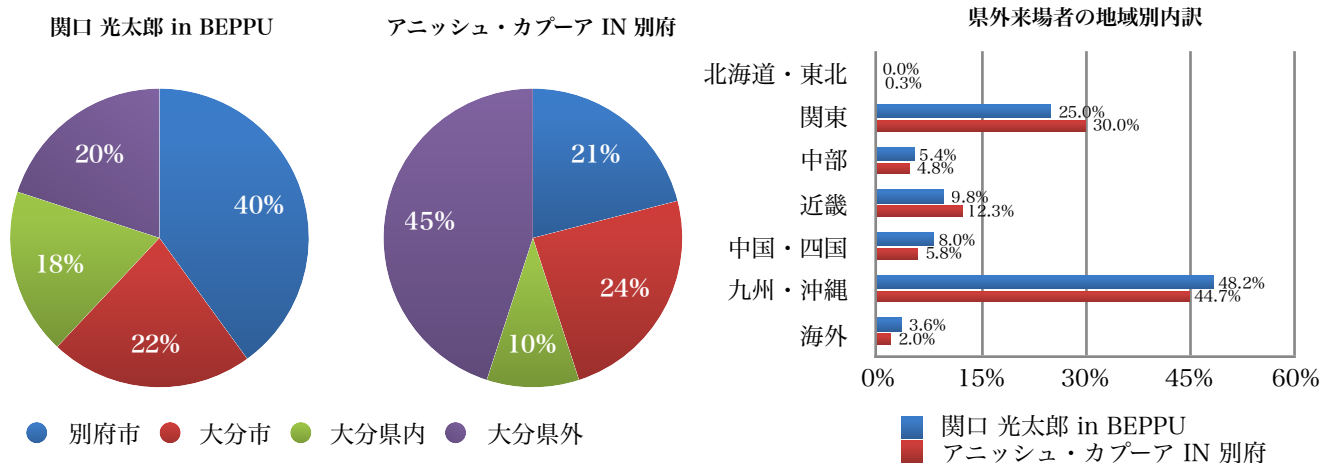
1-1. 年齢、性別

昨年と比較し、20代が減少し、60代、70代の女性の割合が大幅に増えた。



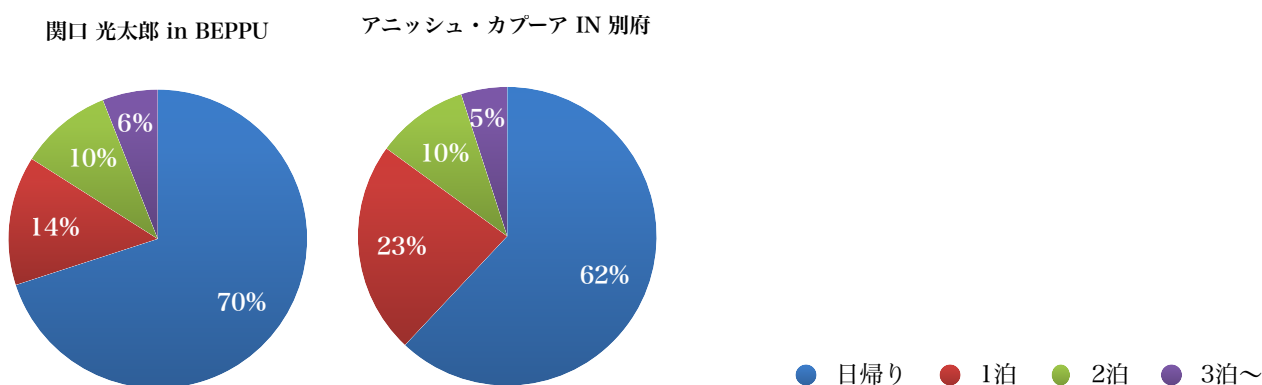
1-2. 居住地

昨年と比較し、別府市内からの来場者が大幅に増え、県内の割合が80%と大幅に増えた。県外来場者の地域別内訳に大きな変化はないが、関東からの来場者が減り、九州からの来場者が増えた。



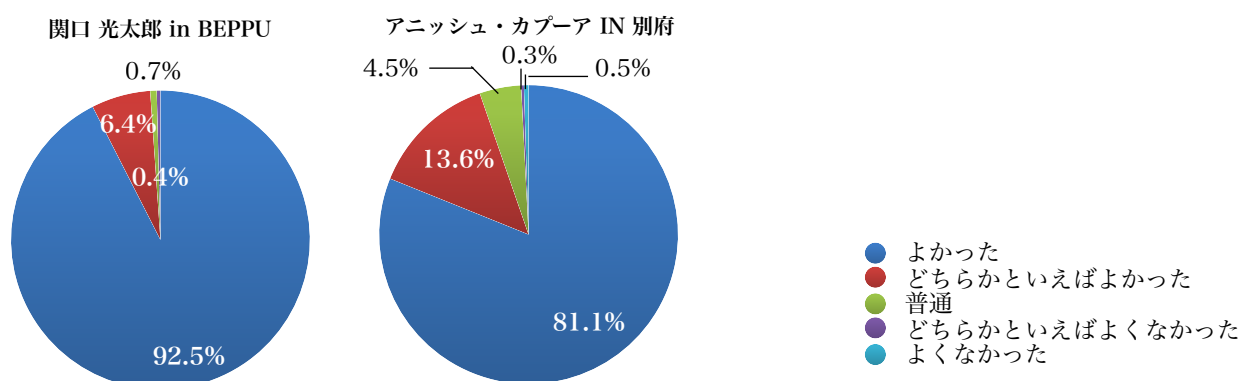
1-3. 滞在期間

昨年と比較し、「日帰り」が8%増加し、「1泊」が9%減少した。



2. 『関口 光太郎 in BEPPU』の評価

「よかった」「どちらかといえばよかった」の合計が同様99%と非常に高い数値となった。



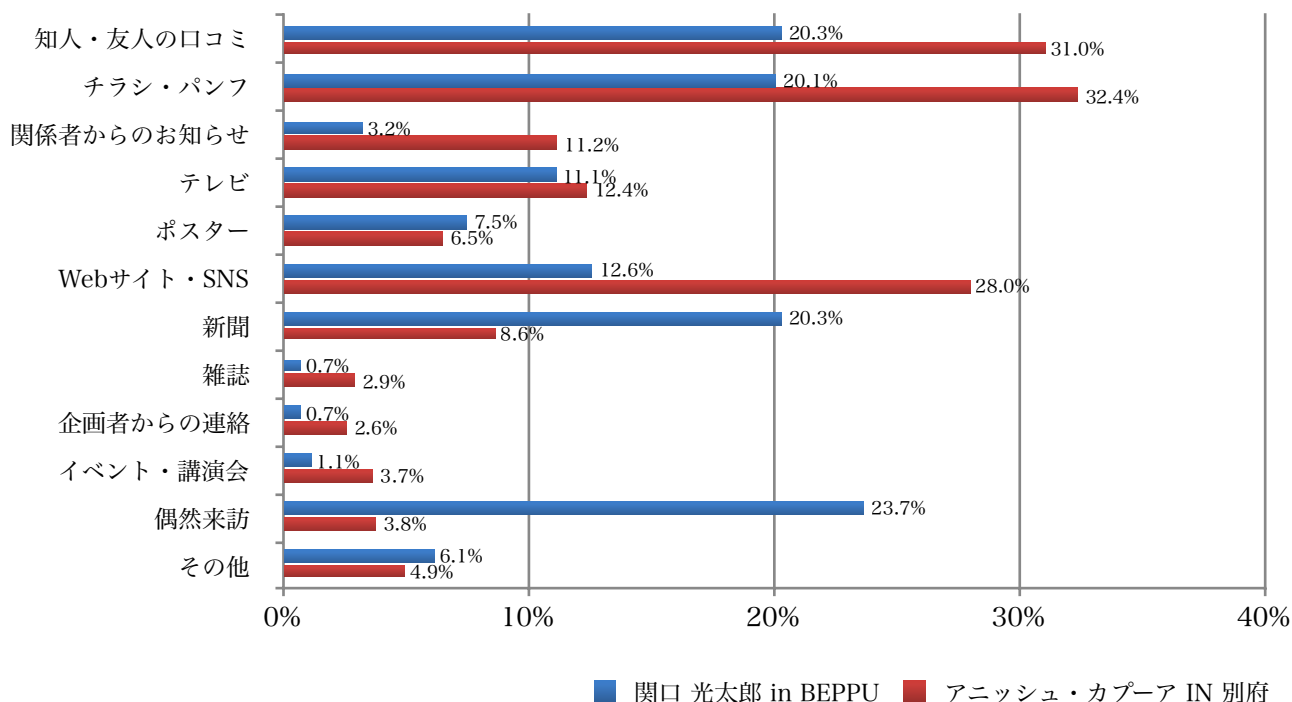
3. 2の理由

- ・身近な物でこれ程の芸術作品を仕上げられる才能にあっぱれ!!
- ・初めて見たアートで感動でした。すごい一言です。孫を連れてきたいと思います。
- ・すばらしい。長生きして良かった91才。
- ・静かなのに迫力があった。
- ・ただの文具としか思ってたガムテープと読み物としか思ってた新聞がアートになるなんて!
- ・物を見る視点が変わった。
- ・初期と比較してだんだん作品が増えていくところが面白い。何度も来たくなる。
- ・トキハに人が来ている。地域活性にもなっている。
- ・展示物に触れることができる点がよかった。
- ・過去2回と趣向が違って良かった。もう何ヶ所かの展示がほしかった。
- ・参加型の作品であるところ。かといって、一体感が保たれている。
- ・子どもも楽しめて、独創的な世界感はすばらしいと思った。
- ・大胆なもの、細かいもの、どれもいねいに作成されたのでしょう。形の特徴をとらえて、表現するのは誰にでも出来ることはないなあと感じました。
- ・新聞とガムテープの色使いが平面、単純すぎてつまらない。人の顔がのっぺりしてきもち悪い。独自色、5大陸の文化は他人の芸術であり本人はそれを寄せ集めただけ。主張するものが感じとれない。
- ・場所がもっと目立つところだともっとお客さんもいるのかなー、などと。

(アンケートより原文のまま抜粋)

4. どこで知ったか (複数回答可)

昨年と比較し、「チラシ・パンフ」「知人・友人の口コミ」「関係者からのお知らせ」「Webサイト・SNS」が大幅に減り、「新聞」「偶然来訪」が大幅に増えた。

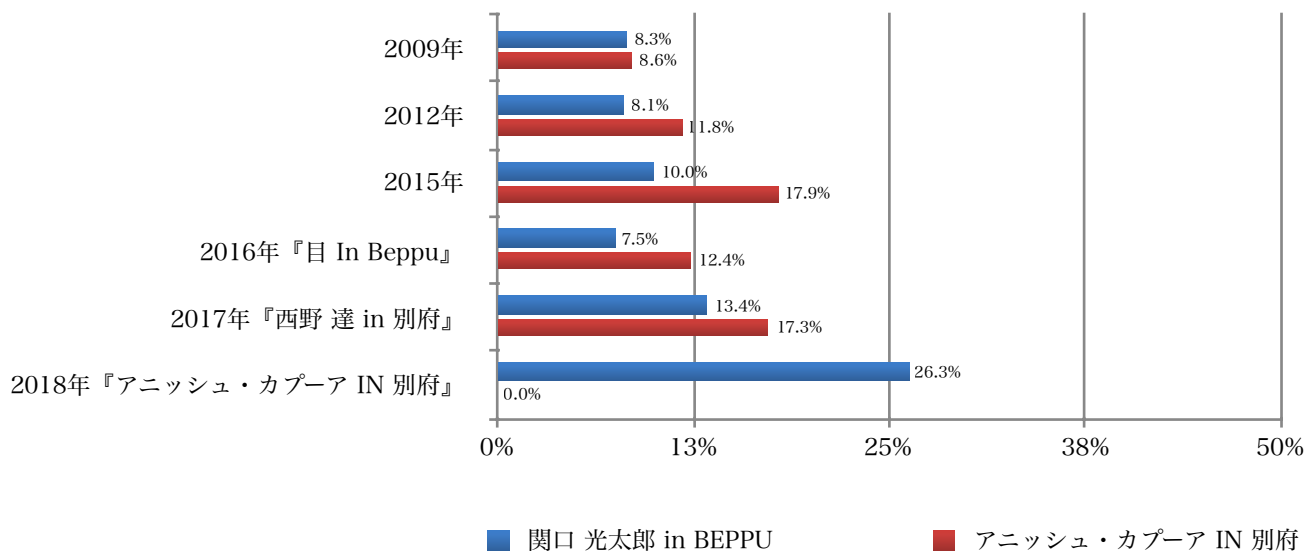
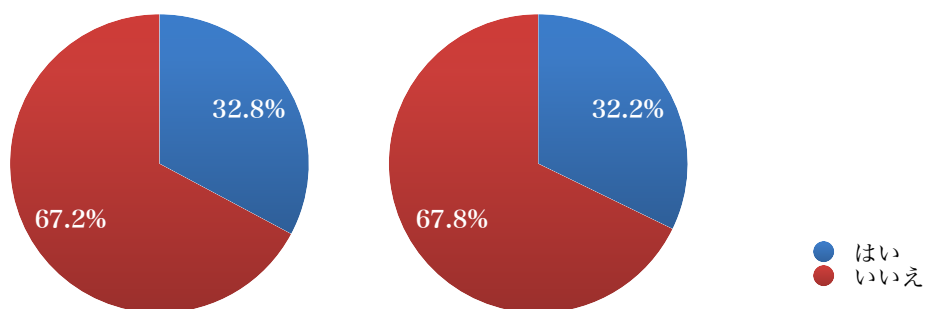


5. 『混浴温泉世界』や『in BEPPU』に参加したか(複数回答可)

「はい」「いいえ」の割合のバランスに大きな変化はない。「はい」の回答のうち、昨年開催した『アニッシュ・カプーア IN 別府』に参加した方の割合が多かった。

関口 光太郎 in BEPPU

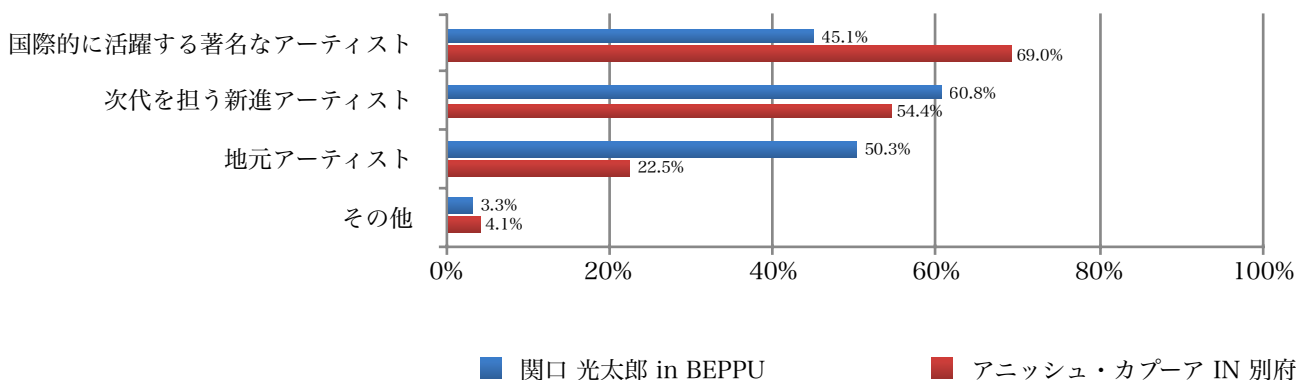
アニッシュ・カプーア IN 別府



6. 今後の『in BEPPU』ではどのようなアーティストや表現ジャンル、場所を期待するか(複数回答可)

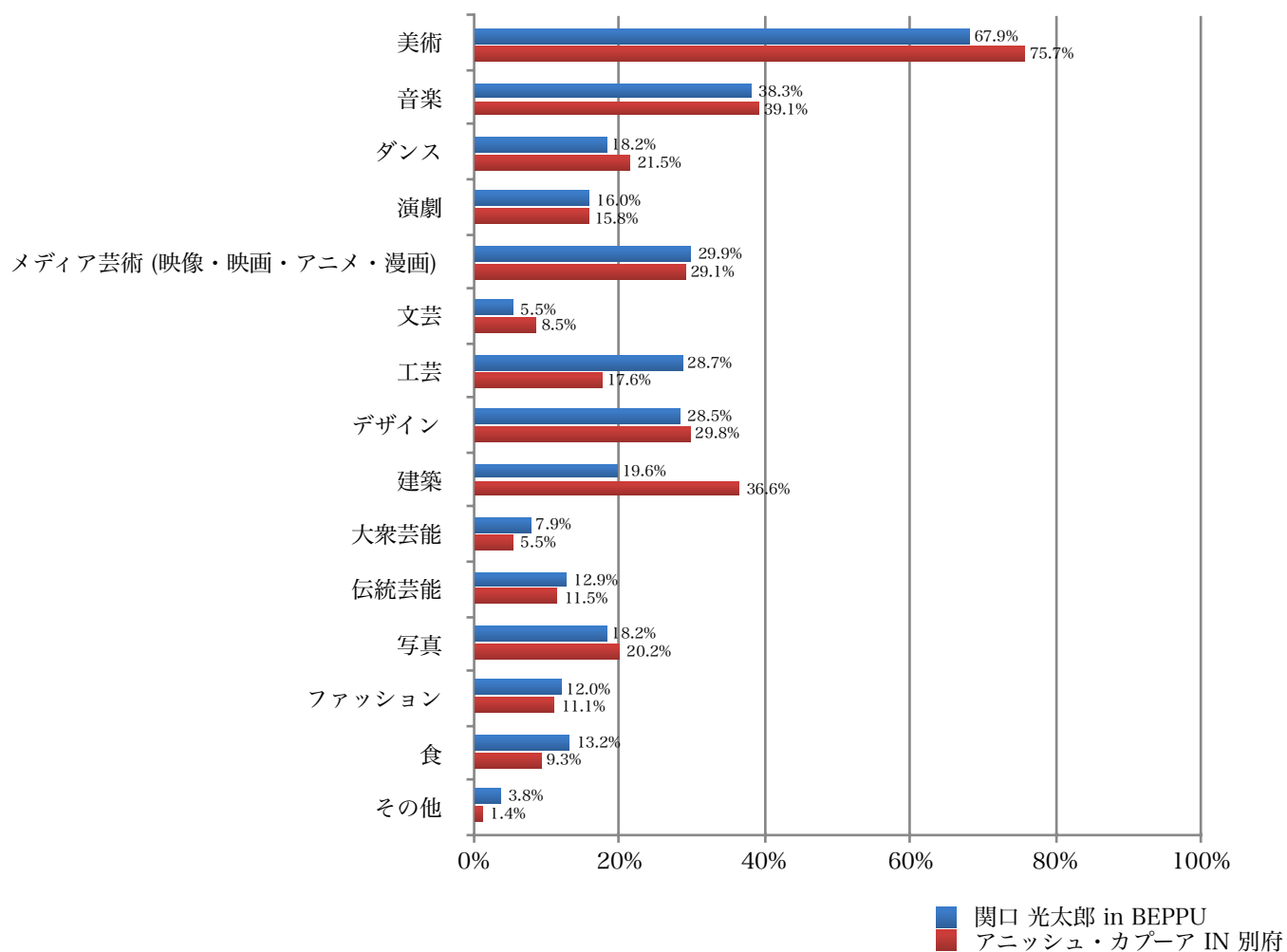
＜アーティスト＞の項目

昨年と比較し、「国際的に活躍する著名なアーティスト」が大幅に減り、「地元アーティスト」の招聘を期待する方の割合が増えた。



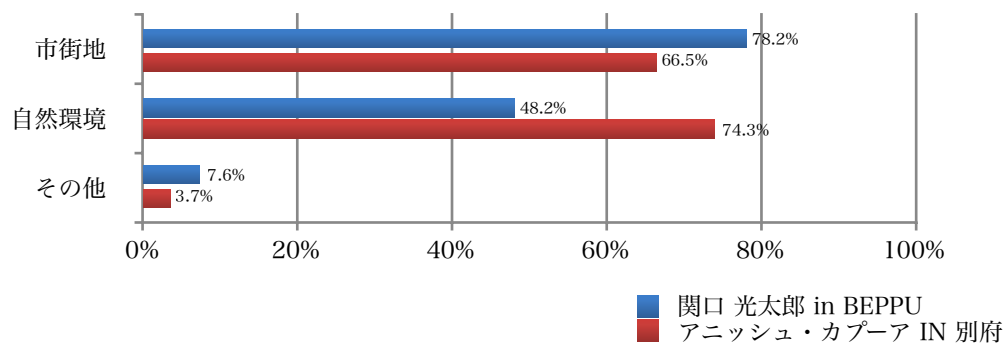
＜ジャンル＞の項目

昨年同様「美術」の割合が最も高かった。昨年と比較し、「建築」の割合が大幅に減り、「工芸」が増えた。



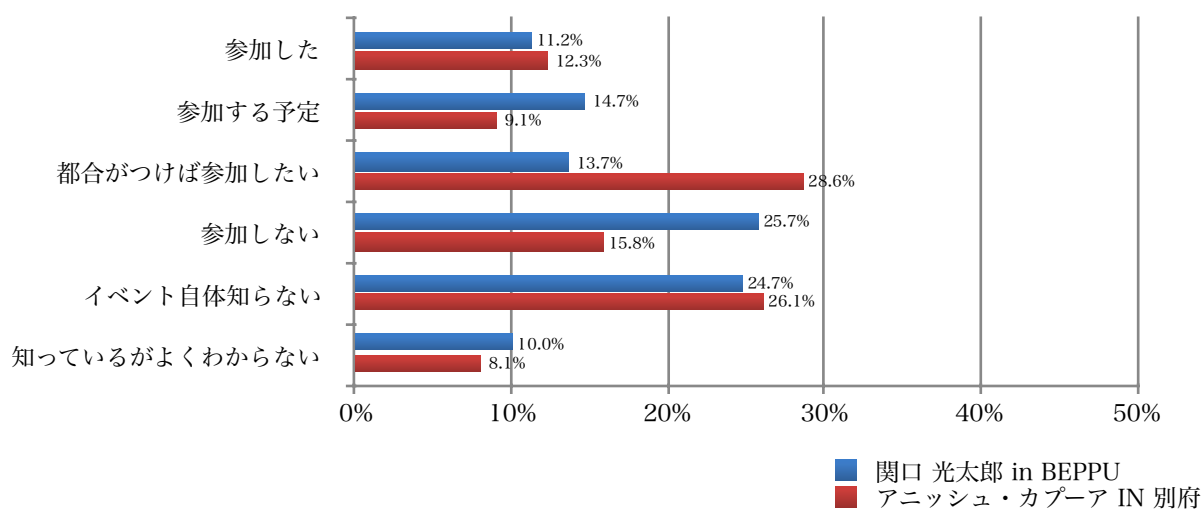
＜場所＞の項目

昨年と比較し「自然環境」が減り、「市街地」が増えた。



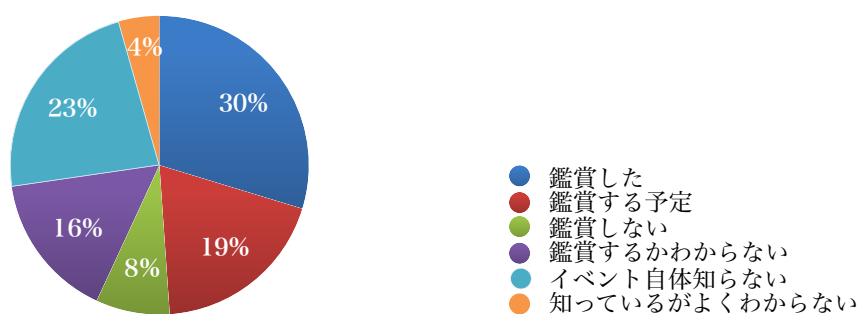
7. 『ベップ・アート・マンス』には参加するか

昨年と比較し、「参加しない」の割合が増えた。



8. アニッシュ・カプーアによる作品『Sky Mirror』再公開は鑑賞するか

「鑑賞した」「鑑賞する予定」がおおよそ半数を占めたが、一方で全体のおよそ4分の1が「イベント自体知らない」と解答している。

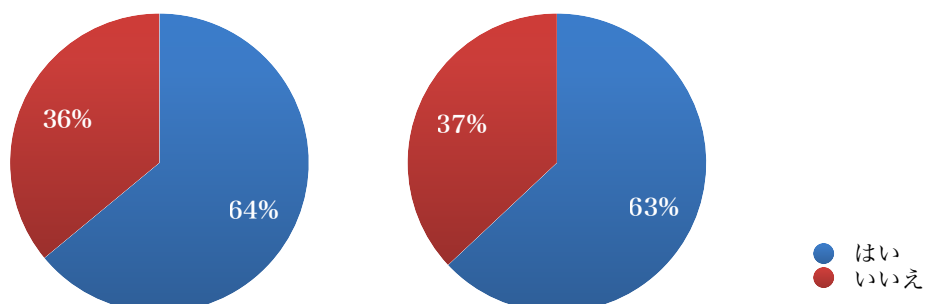


9. 「別府は温泉観光地だけではなくアートの町でもある」というイメージを持っているか

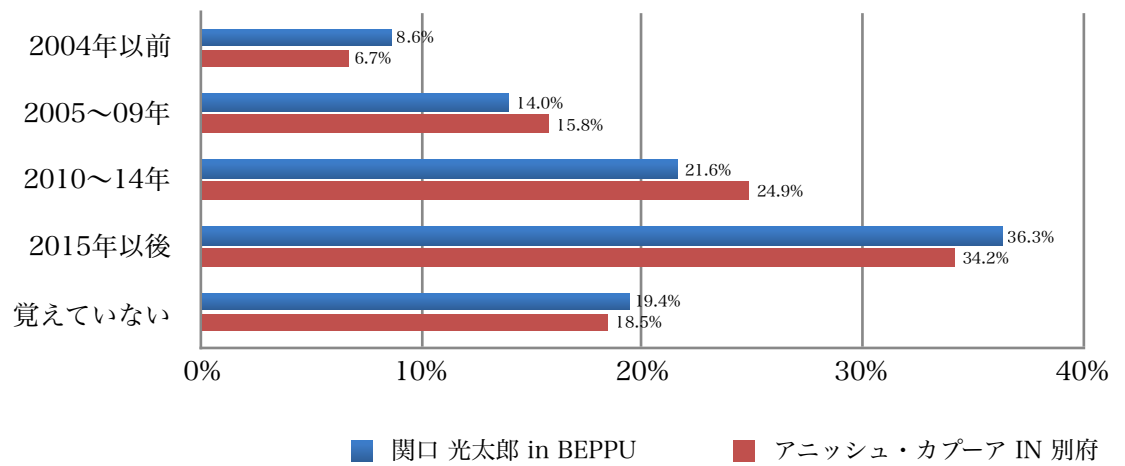
昨年と比較し、ほぼ同じ結果となった。

関口 光太郎 in BEPPU

アニッシュ・カプーア IN 別府



「はい」のうち、いつごろからそのイメージを持つようになったかを設問した内訳は以下の通りとなる。昨年とほぼ同様の結果であったが、「2004年以前」および「2015年以後」がやや増えた。



第4章 開催記録3 アニッシュ・カプーア『Sky Mirror』再公開

4-1. 企画概要

1. はじめに

昨年『アニッシュ・カプーア IN 別府』にて日本初公開した『Sky Mirror』を、春と秋に再公開した。

2. アーティストについて



Portrait by Gautier Deblonde

ANISH KAPOOR (アニッシュ・カプーア)

1954年インド・ムンバイ生まれ。ロンドン在住。ホーンシー・カレッジ・オブ・アート (1973-77年) の後、ロンドン・チェルシー・スクール・オブ・アート大学院 (1977-78年) で学ぶ。近年の主な個展に、ヴェルサイユ宮殿 (2015年)、『リヴァイアサン』グラン・パレ (パリ、2011年)、ロイヤル・アカデミー・オブ・アーツ (ロンドン、2009年) など。恒久設置されたコミッション作品に、シカゴ ミレニアム・パークの『クラウド・ゲイト』(2004年)、ロンドン オリンピック・パークの『オービット』(2012年)、世界初の空気注入による可動式コンサートホール『アーク・ノヴァ』(2013年) など。第44回ヴェネツィア・ビエンナーレ (1990年) ではイギリスを代表し、デュエミラ賞を受賞。1991年、ターナー賞受賞。2011年、高松宮殿下記念世界文化賞受賞。2013年、文化貢献に対してナイトの称号を授与される。2017年にはジェネシス賞を受賞。

4-2. 作品について

展覧会名	アニッシュ・カプーア『Sky Mirror』再公開
会期	【春会期】2019年4月27日(土)～5月6日(月・祝) (10日間) 開場時間：10:00～18:00 【秋会期】2019年9月21日(土)～11月10日(日) (51日間) 開場時間：10:00～18:00
会場	別府公園 (別府市野口原3018-1)
鑑賞料	無料
全体概要	昨年『アニッシュ・カプーア IN 別府』にて日本初公開した『Sky Mirror』を春と秋に再公開した。昨年のように多くの親子連れが訪れ、毎日鑑賞に来てくれる方も多かった。また、別府公園東門が、『ラグビーワールドカップ日本大会』の会場までのバス降車場となっていたことから、試合開催日には外国人も多く見られた。
来場者	【春会期】2,747名 【秋会期】43,842名

作品名	Sky Mirror
内容	アニッシュ・カプーアの代表作の1つであるステンレス製の彫刻シリーズで、直径5mの作品。凹面状の表面は空の変化を映し続け、公園内にポツカリと空いた異世界への入り口のようにも感じられた。裏側の凸面には、鑑賞者自身と別府公園の景色が映しだされた。
 	

4-3. 運営について

作品監視 スタッフ	作品監視スタッフに関しては、必要なボランティアスタッフ数が集まらなかったことから、アルバイトスタッフで運営した。	
作品管理	公開時以外は、作品をターポリンでカバーし、作品を保護した。また、事務局が週に1回、定期点検をおこなった。なお、カバーは、別府大学に制作を委託した。	
広報物の 制作	下記の通り、広報物の制作をおこなった。なお全て『関口 光太郎 in BEPPU』と合同の広報物とした。 ①Webサイト (http://inbeppu.com) ②チラシ (サイズ：ブランケット新聞型) 22,500部 ③ポスター (サイズB2) 200部	

4-4. 来場者について

1. 来場者数

会期中の総来場者数は、春会期2,747名(目標来場者数：2,000名)、秋会期43,842名(目標来場者数：15,000名)を数えた。

※昨年の『アニッシュ・カプーア IN 別府』の総来場者数は54,716名、うち『Sky Mirror』来場者数は34,525名

2. アンケート結果

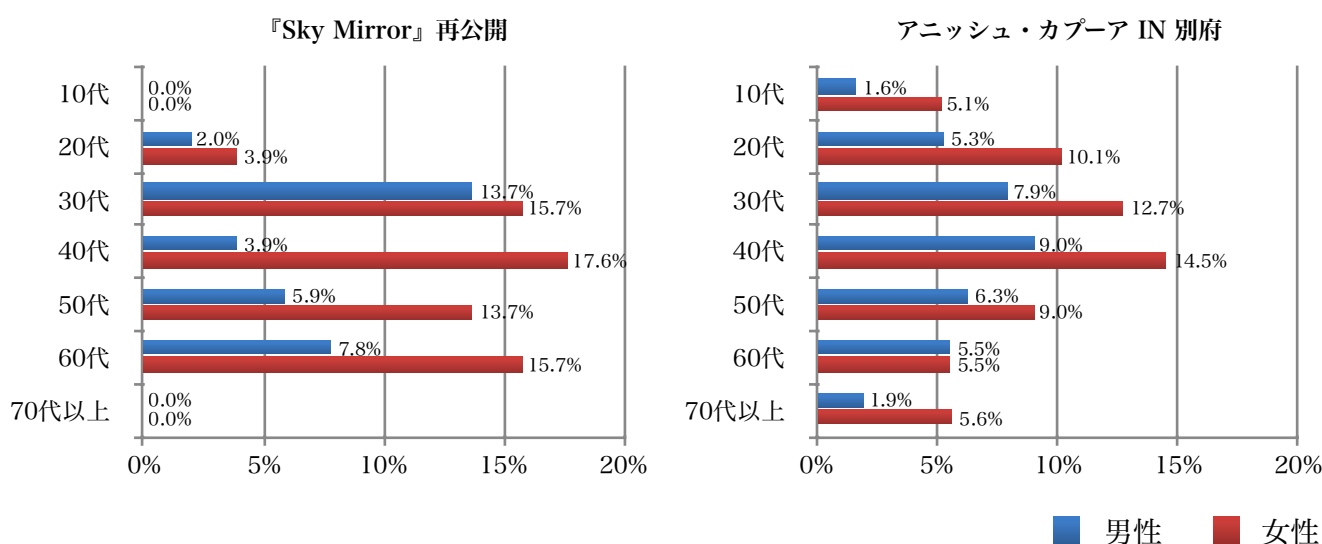
秋会期のみ来場者へアンケートを実施した。回収枚数は64枚。

※小数点以下の記載のないものに関しては四捨五入している

1. 年齢、性別、居住地、滞在期間
2. 事業に対する評価
3. 2の理由
4. どこで知ったか(複数回答可)
5. 『混浴温泉世界』や『in BEPPU』に参加したか(複数回答可)
6. 『Sky Mirror』を鑑賞したのは初めてか
7. 今後の『in BEPPU』では、どのようなアーティストや表現ジャンル、場所を期待するか(複数回答可)
8. 『ベップ・アート・マンス』には参加するか
9. 同時期開催事業は鑑賞するか
10. 「別府は温泉観光地だけではなくアートの町でもある」というイメージを持っているか

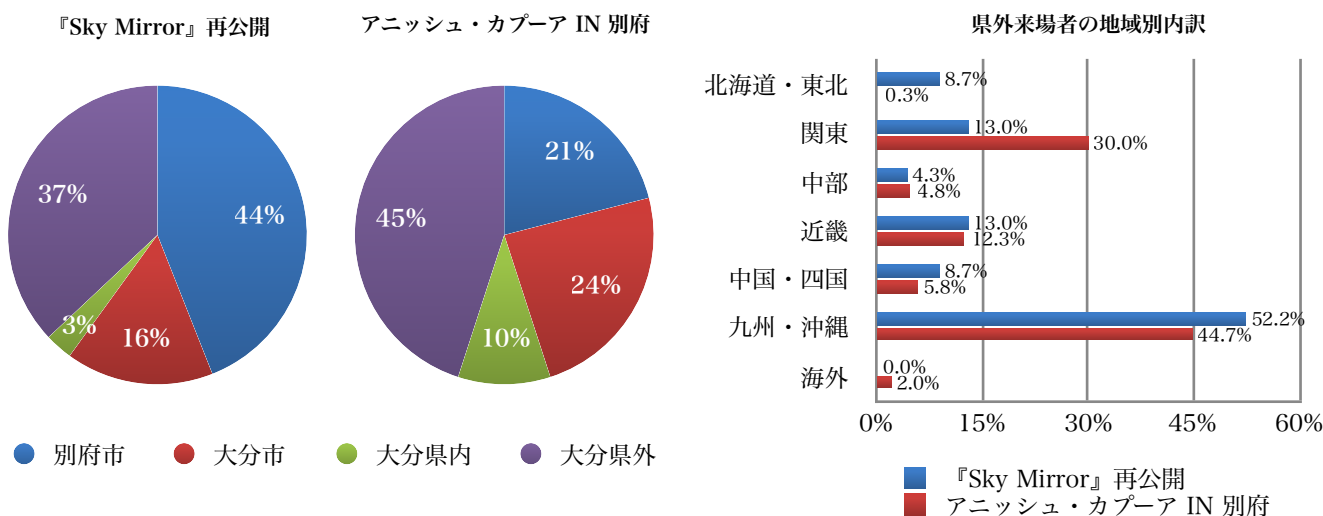
1-1. 年齢、性別

昨年と比較し、男女とも10代と20代が減少し、30代男性と30代から60代の女性が増加した。



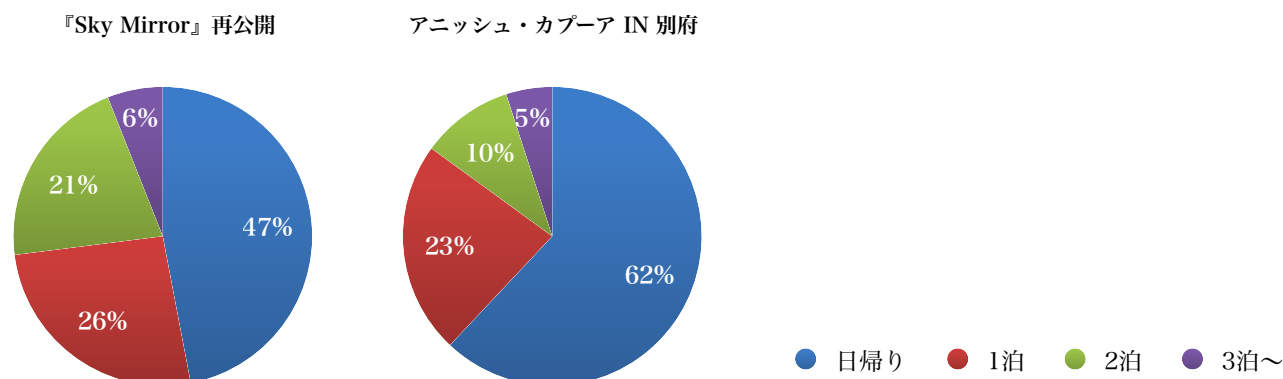
1-2. 居住地

昨年と比較し、別府市内からの来場者が大幅に増え、県内の割合が63%となった。県外来場者の地域別内訳では、北海道・東北からの割合が増加し、関東からの割合が減少した。



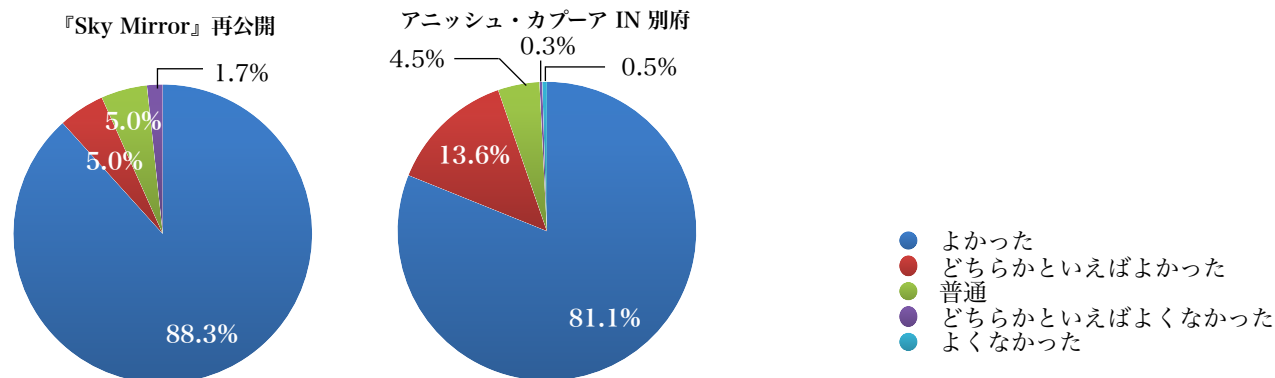
1-3. 滞在期間

昨年と比較し、宿泊者の割合が増加した。特に、「2泊」の割合が大幅に増えている。



2. 『Sky Mirror』再公開の評価

「よかった」「どちらかといえばよかった」の合計が93%と、昨年とほぼ同様の結果となった。



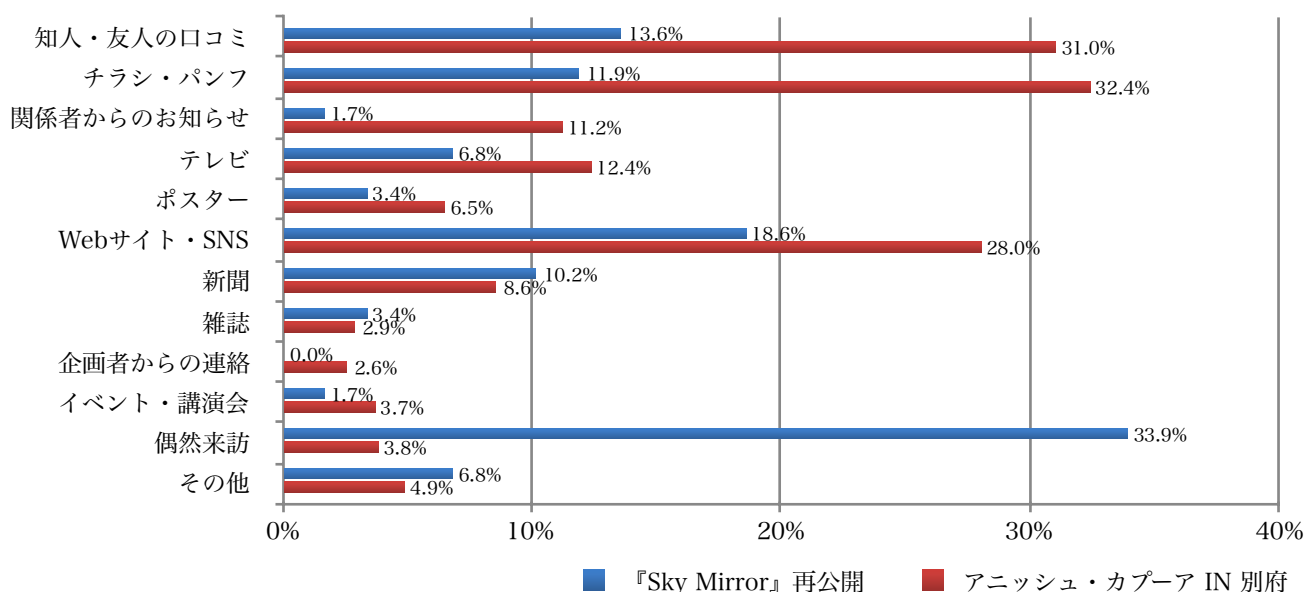
3. 2の理由

- ・刻々とかわる空の表情、雲のカタチをしみじみ考えられる。無心になって見つめられる。
- ・視点を変えてみることでできて楽しい。天候によって、又みえ方も変化するだろうから期間中何回も来たいです。
- ・雲が流れていくのを芝生の上でのんびりながめられて、休日のぜいたくな時間だと思いました。
- ・昨年に続き拝見できて良かったです。お天気が晴れていたらなお良かったです。
- ・大空を写し出す作品であった。2年間楽しませていただきました。
- ・シンプルに見えて実は奥が深い空の表情を見せてくれた事は良かったです。
- ・自然の中にとけこんでいてすばらしかった。

(アンケートより原文のまま抜粋)

4. どこで知ったか (複数回答可)

昨年と比較し、「知人・友人の口コミ」「チラシ・パンフ」「関係者からのお知らせ」「Webサイト・SNS」が大幅に減少し、「偶然来訪」が大幅に増えた。

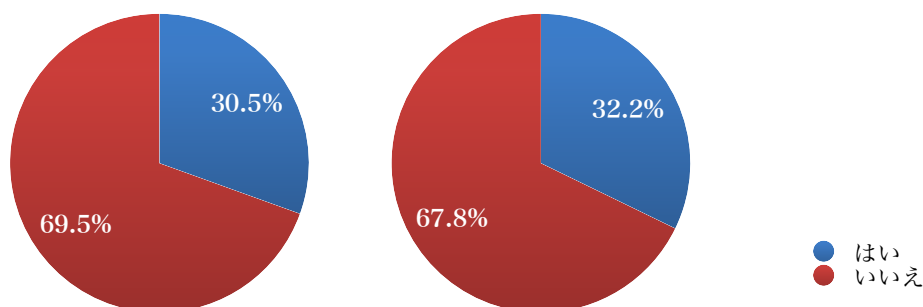


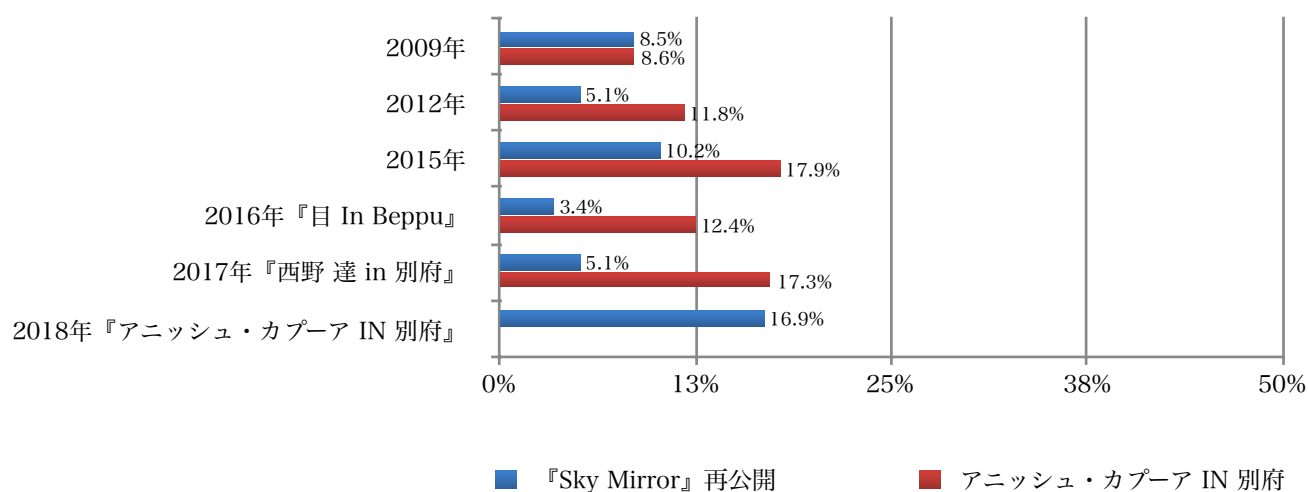
5. 『混浴温泉世界』や『in BEPPU』に参加したか (複数回答可)

「はい」「いいえ」の割合のバランスに大きな変化はない。「はい」の回答のうち、昨年開催した『アニッシュ・カプーア IN 別府』に参加した方の割合が増え、2012年から2017年の割合が減少した。

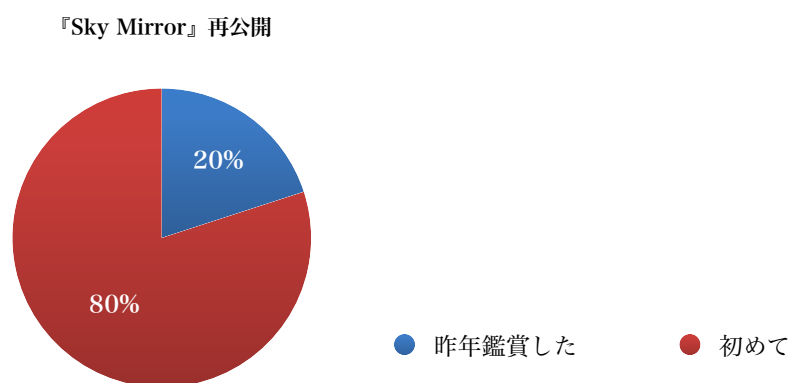
『Sky Mirror』再公開

アニッシュ・カプーア IN 別府





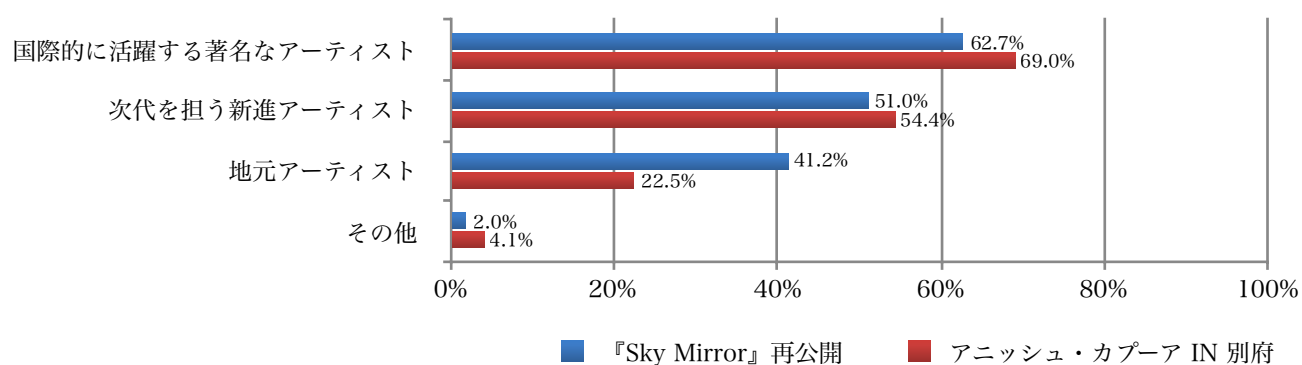
6. 『Sky Mirror』を鑑賞したのは初めてか
80%が、初めての鑑賞であった。



7. 今後の『in BEPPU』ではどのようなアーティストや表現ジャンル、場所を期待するか (複数回答可)

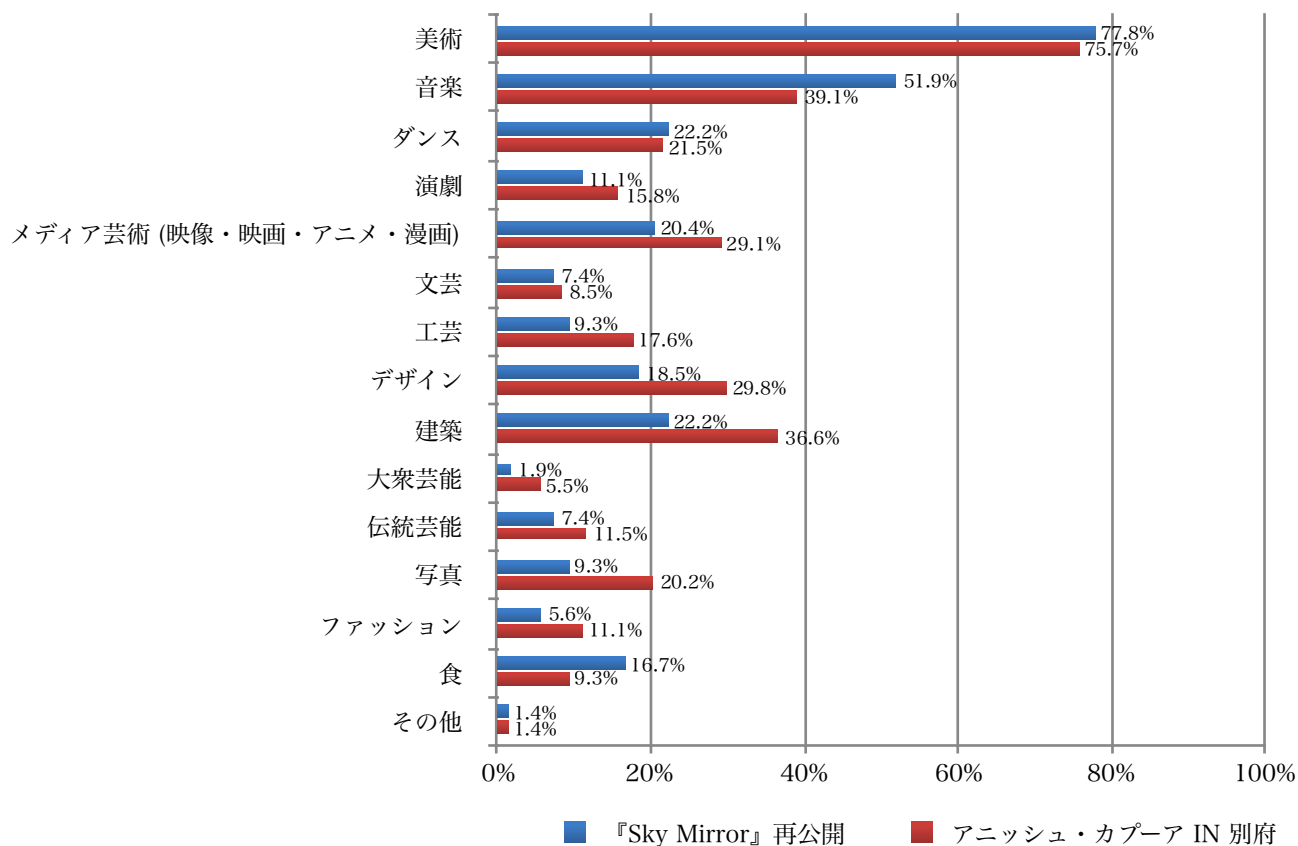
<アーティスト> の項目

昨年と比較し、「地元アーティスト」を望む声が増えた。



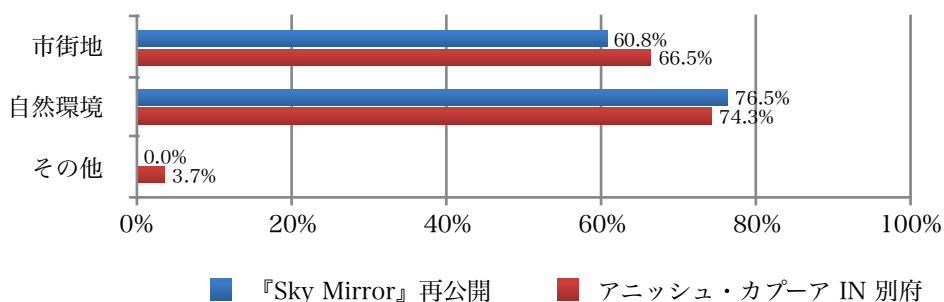
＜ジャンル＞の項目

昨年同様「美術」の割合が最も多かった。また、「音楽」や「食」の割合が増加し、メディア芸術、写真、ファッションなどが減少した。



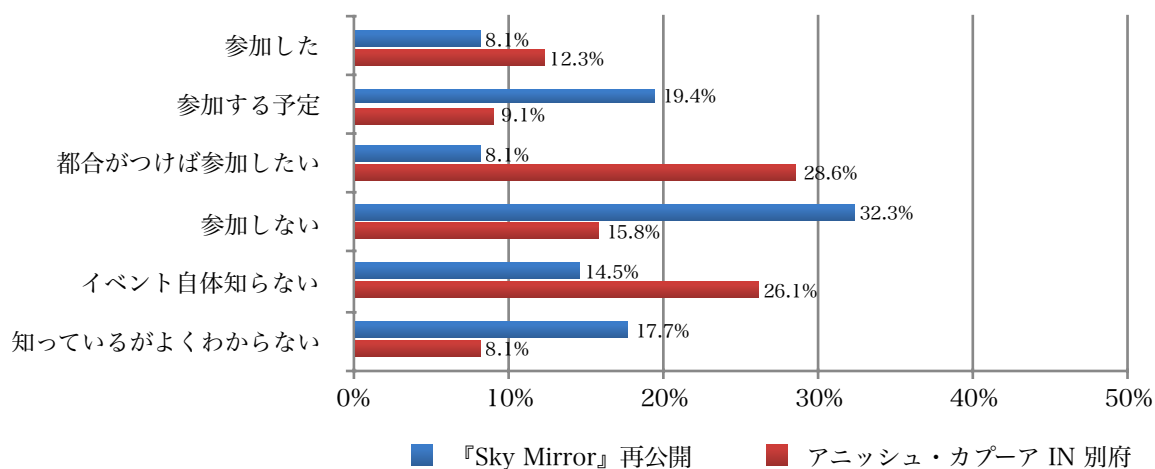
＜場所＞の項目

昨年同様「自然環境」が高い割合を維持している。



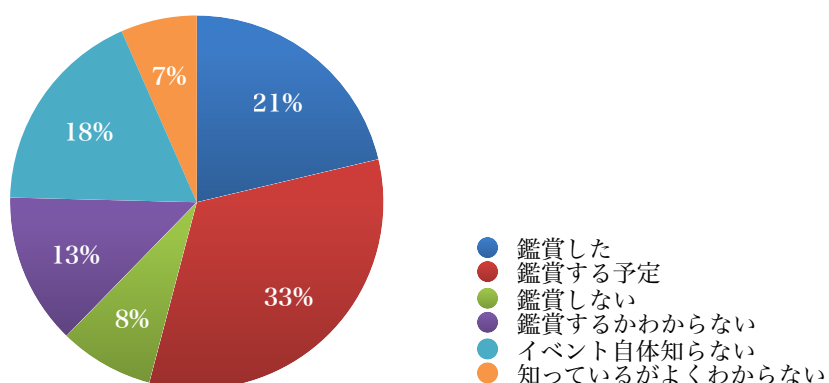
8. 『ベップ・アート・マンス』には参加するか

昨年と比較し、「イベント自体知らない」の割合は減少した。ただし、「参加しない」および「知っているがよくわからない」の割合が増加した。

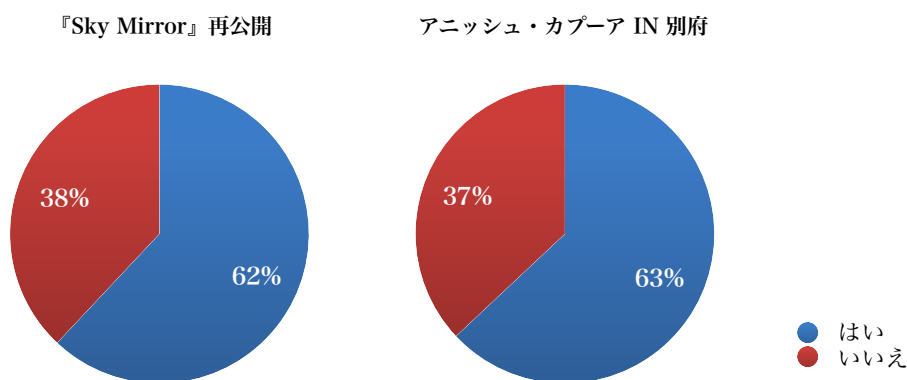


9. 『関口 光太郎 in BEPPU』は鑑賞するか

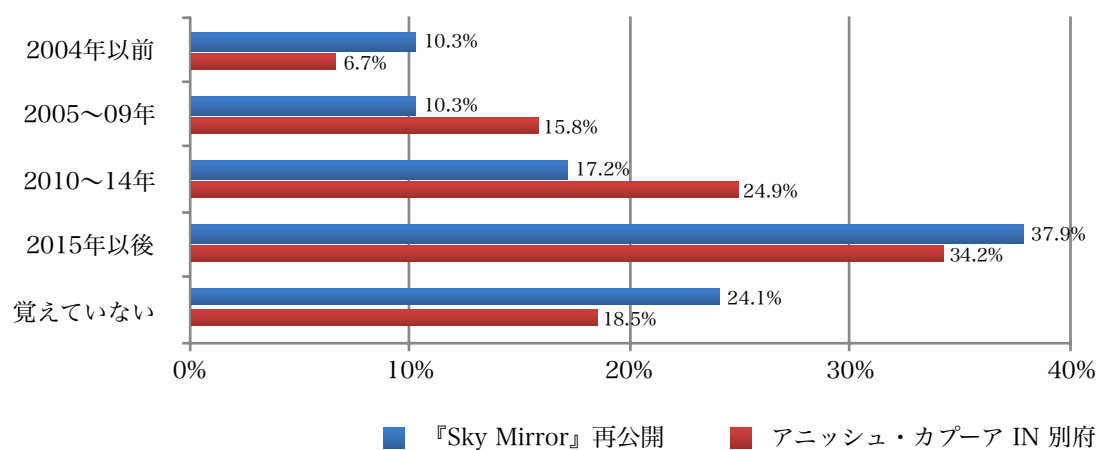
「鑑賞する予定」「鑑賞した」が半数以上を占めた。



10. 「別府は温泉観光地だけではなくアートの町でもある」というイメージを持っているか
 昨年とほぼ同じ結果となった。



「はい」のうち、いつごろからそのイメージを持つようになったかの回答の内訳は以下の通りとなる。昨年と比較し、「2004年以前」および「2015年以後」が増えた。



5-1. 企画概要

1. はじめに

同時期に開催している『関口 光太郎 in BEPPU』、アニッシュ・カプーア『Sky Mirror』再公開、『ベップ・アート・マンス』とあわせ、別府の特徴的な場所や温泉文化、郷土料理などを巡るガイドツアーを4回おこなった。なお、ツアーガイドは日英両言語対応としたが、外国人からの申し込みがなかったため、全て日本語で実施した。

5-2. ツアー内容などについて

展覧会名	アートまちあるきガイドツアー
概要、 ツアー詳細	『関口 光太郎 in BEPPU』およびアニッシュ・カプーア『Sky Mirror』再公開の会場であるトキハ別府店、別府公園を起点とし、ツアーの実施日に開催されている『ベップ・アート・マンス』のプログラムを巡りながら、別府の歴史、観光、建築、温泉の紹介、郷土料理の提供をおこなうツアーを実施した。 ・案内人 10月6日(日)、20日(日)：混浴温泉世界実行委員会事務局 11月2日(土)、9日(土)：山出淳也 (混浴温泉世界実行委員会 総合プロデューサー) ・昼食 10月6日(日)：べっふ駅市場にて特製弁当(とり天、地魚刺身、海苔巻きなど) 10月20日(日)、11月2日(土)：Cafe TAKEYAにて『別府湾弁当 たみこの夢』(とり天、別府湾ちりめんのほか、地元で採れた食材を使った惣菜など) 11月9日(土)：Cafe TAKEYAにてだんご汁定食とやせうまの特別セット ・ツアー詳細 10:00 別府公園東口集合 10:10 別府公園の説明、アニッシュ・カプーア『Sky Mirror』再公開 鑑賞 10:30 別府駅へ移動する道中にて『ベップ・アート・マンス』プログラムの鑑賞 10:40 別府駅にて、別府観光の父・油屋熊八の説明。トキハ別府店へ移動する道中にて『ベップ・アート・マンス』プログラムの鑑賞。駅前高等温泉などの紹介 11:00 トキハ別府店にて『関口 光太郎 in BEPPU』鑑賞 11:30 まちあるき(竹瓦温泉、波止場神社、壁画作品などの『ベップ・アート・マンス』プログラム) 12:00 昼食 12:40 まちあるき(流川通り、南部児童館、中浜地蔵尊、紙屋温泉、清島アパート、『ベップ・アート・マンス』プログラムなど) 14:00 SELECT BEPPUにて解散
実施日、時間	2019年10月6日(日)、20日(日)、11月2日(土)、9日(土) 10:00～14:00
集合場所	別府公園東口正門(別府市野口原3018-1)
料金	実費(昼食代1,000円)
参加者数	46名



アニッシュ・カプーア『Sky Mirror』を案内中の様子



波止場神社を案内中の様子



昼食 (Cafe TAKEYA) の様子



紙屋温泉および、2階の公民館での『ベップ・アート・マンス』プログラムを案内中の様子

5-3. 運営について

『関口 光太郎 in BEPPU』との合同広報物

①Webサイト (<http://inbeppu.com>)

②チラシ (サイズ：ブランケット新聞型) 22,500部

ガイドツアー事業広報物

[illegible]

Beppu Art guided tour

We will take a guided tour where you can experience the food and history of Beppu while visiting art events such as "Aki no Sekiguchi in BEPPU," Aishi Kagami "Shi Moira" and "BEPPU ART MONTH 2019".

Tour SCHEDULE:

Sunday, October 6 8:00-16:00
Sunday, October 20 15:00-16:00
Saturday, November 2 13:30-14:30
Saturday, November 9 12:30-14:00

Meeting place: BEPPU Park. East gate
Arrival time: Lunch has started (12:00pm)
A group may remain up to 10 people per day.
Reservation must be booked 7 days before each days.

Tour Plan:

36:00 Street Museum Day! Get gate
to "Koto no Kageyama" City Hall
12:00 "Koto no Kageyama" in BEPPU
12:30 Lunch
15:00 Enjoy a program of "BEPPU ART MONTH 2019"
and lunch
16:00 SELECT BEPPU

★ Tour times may change without notice.
★ Dates that are unavailable to reserve are as follows.
★ *October 6th (Sun) and 20th (Sat) will be closed by the exhibition start, and November 2 (Sat) and 9th (Sat) will be closed by general programs.

Reservation
Book a guided tour in advance through the Online Reservation.
<http://tsukagawa.com/>

Contact
Museum Bathing Water Excursion Committee (Shioya Museum - Friday 9:00 - 18:00)
Shioya Museum Japan
1-1-1 Shioya, Beppu City, Yamaguchi Prefecture 750-0001, Japan
Tel +81-973-711-2863 Fax +81-973-715-7122 E-mail: shioyamuseum@shioya.or.jp

Beppu Local dishes Lunch!

16 / 6
Beppu Station Market
"Original Lunch Box"
Chicken Teriyaki, Soybean, and
Egg
16 / 9
Cafe THEYA
"Special Lunch Box"
Chicken Teriyaki, and beef
steak and fried potatoes
16 / 10
Cafe TAKEDA
"Beppu Local Special Food"
"Chumpeng Beef" and
Yamaguchi Dessert Noodles!




日本語版チラシ
(サイズ：A4) 1,000部

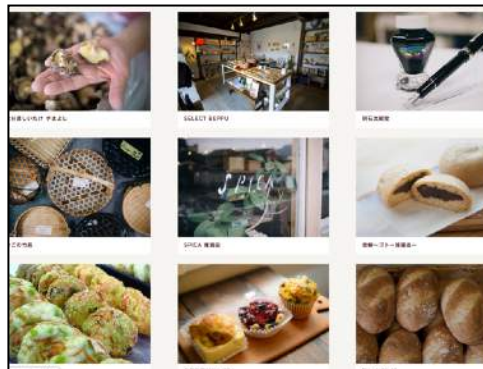
英語版チラシ
(サイズ：A4) 1,000部

第6章 情報発信事業

地域の魅力を発信するためにWebサイト『旅手帖 beppu』と、外国人向けコンテンツ『豆知識 beppu』の継続運営をおこなった。

1. 『旅手帖 beppu』

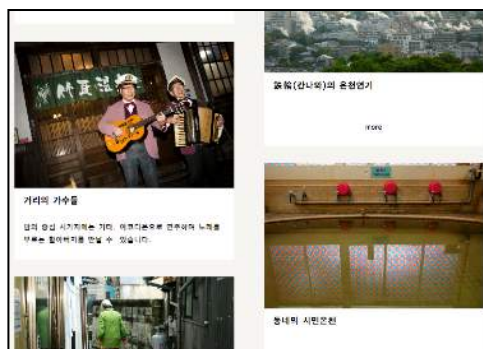
Webサイトを継続運営し、日本語・英語による情報提供をおこなった。
(記事数：日本語126件、英語63件)



旅手帖 beppu

2. 『豆知識 beppu』

Webサイトを継続運営し、8ヶ国語による情報提供をおこなった。
(記事数：110件／言語：日本語、英語、韓国語、中国語、タイ語、インドネシア語、ベトナム語、フィリピン語)



豆知識 beppu

今年度のWebサイトの閲覧数について、目標閲覧数合計111,000ビューに対し、閲覧数合計110,123ビューとなった（期間：2019年4月1日-2020年2月16日時点）。事務局を務めるNPO法人 BEPPU PROJECTが『旅手帖 beppu』『豆知識 beppu』のURLリンクを貼り付けたメールマガジンを2018年から定期的に配信しており、そのため一定のビュー数を得ていると考える。今後は『旅手帖 beppu』の英語記事の拡充や多言語化について検討を進めたい。また、『豆知識 beppu』についてはより実用的なポータルサイトとしての役割を果たすべく、外部団体への運営委託または掲載コンテンツの情報提供など、具体的な活用方法を今後検討したい。

第7章 共通の取組

7-1. 広報活動と開催効果

1. 広報活動

記者発表会

下記の日程で記者発表会を実施した。

事業	日程	会場	名称	主な参加メディア
『関口 光太郎 in BEPPU』	6月24日(月)	別府市役所2階 別府市政記者クラブ 室	2019年度『in BEPPU』 記者発表会	大分合同新聞社、朝日新聞 大分総局、毎日新聞社、読 売新聞西部本社、西日本新 聞社、共同通信社、今日新 聞社、大分経済新聞、CTB メディア
『関口 光太郎 in BEPPU』 『ベッ プ・アート・マン ス 2019』	8月31日(土)	別府市役所1階 レセプションホール	『関口 光太郎 in BEPPU』 『ベップ・アート・マン ス 2019』 記者発表会	大分合同新聞社、朝日新聞 大分総局、読売新聞西部本 社、今日新聞社、大分経済 新聞、CTBメディア

PRイベント

下記の日程でPRイベントを実施した。イベントには総合プロデューサーの山出淳也が登壇し『関口 光太郎 in BEPPU』
『ベップ・アート・マン ス 2019』の見どころを語った。

事業	日時	会場	名称	参加者数
『関口 光太郎 in BEPPU』 『ベッ プ・アート・マン ス 2019』	10月11日(金) 18:30～21:00	Gyallery Earl Gray (福岡県)	けやきとアートの散歩道シンポジウム『ア ートが地域を変える』 ファシリテーター：高山美佳	30
	10月12日(土) 19:00～20:30	Mekuruto (福岡県)	知恵つく講座 番外編『地域ブランドと価値 の創造』	34
	10月16日(水) 18:30～21:00	若草hutte&co-ba MIYAZAKI (宮崎県)	アーツカウンシルみやぎ1173 vol.02 ～BEPPU PROJECT 山出淳也さんをお迎え して～	18

関係者向け作品ガイドツアー

『関口 光太郎 in BEPPU』初日にオープニング関連プログラムとして関係者向け作品ガイドツアーを開催した。実行委
員会関係者や助成・協賛企業、メディア、運営ボランティア、アルバイトスタッフを招待し、作家本人が作品解説をした。

事業	日程	会場	主な参加メディア	参加者数 ※
『関口 光太郎 in BEPPU』	9月21日(土)	トキハ別府店5階	大分合同新聞社、朝日新聞大分総局、西日 本新聞社、美術出版社、CTBメディア	67

※) メディア以外の関係者を含む



関係者向けガイドツアーの様子

広報物

下記の広報物を作成した。詳細は本報告書の60ページを参照。

- ・Webサイト (<http://inbeppu.com>)
- ・チラシ (ブランケット新聞型) 22,500部
- ・ポスター (B2サイズ) 200部
- ・別府市内向けチラシ (A4サイズ両面) 1,500部
- ・ボランティア募集チラシ (A4サイズ両面) 1,000部

SNSでの情報発信

SNSでの主な情報発信の結果は以下の通り。

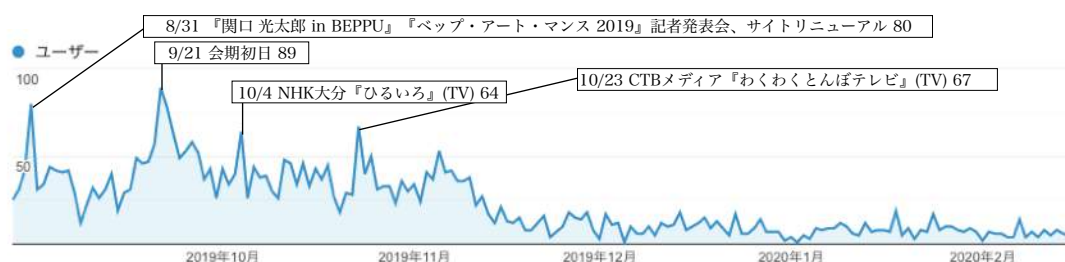
		『ベップ・アート・マンス 2019』	『関口 光太郎 in BEPPU』
公式 Web サイ ト	当事業全般の 情報を発信。	期間：4月1日～翌年1月31日 306日間 (昨年度319日間) ユーザー数：8,087 (昨年度7,645) ページビュー数：45,696 (昨年度44,293) アクセス元の国：34ヶ国 (昨年度32ヶ国)	期間：8月31日 (開設日) ～ 翌年1月31日 154日間 (昨年度282日間) ユーザー数：3,006 (昨年度19,554) ページビュー数：5,835 (昨年度36,855) アクセス元の国：26ヶ国 (昨年度70ヶ国)
Face book	イベント情報 や、来場者な どとのコミュ ニケーション 、公式情報 以外の町の状 況や作品の制 作状況などを 発信。	期間：4月1日～翌年1月31日 306日間 (2013年度開設、昨年度319日間) 新規「いいね」数：55 (昨年度68、累計974) 新規投稿数：66 (昨年度330、累計1,471) 〈会期中のリーチ数など〉 リーチ数：6,180 (昨年度36,274) インプレッション数：8,619 (昨年度56,505) エンゲージメントユーザー数：511 (昨年度 4,367) エンゲージメント率：12.1% (昨年度8.3%)	期間：4月1日～翌年1月31日 306日間 (2016年度開設、昨年度319日間) 新規「いいね」数：92 (昨年度199、累計1,028) 新規投稿数：62 (昨年度47、累計200) 〈会期中のリーチ数など〉 リーチ数：21,570 (昨年度36,104) インプレッション数：32,201 (昨年度75,864) エンゲージメントユーザー数：2,394 (昨年度 3,198) エンゲージメント率：9.01% (昨年度11.2%)
Twitt er	イベントの最 新情報を発 信。	期間：4月1日～翌年1月31日 306日間 (2011年度開設、昨年度319日間) 新規ツイート数：53 (昨年度205、累計2,053) 新規フォロワー数：7 (昨年度35、累計972) エンゲージメント数：419 (昨年度94) エンゲージメント率：1.2% (昨年度1.3%)	期間：4月1日～翌年1月31日 306日間 (2009年度開設、昨年度319日間) 新規ツイート数：73 (昨年度42、累計1,554) 新規フォロワー数：-67 (昨年度52、累計2,621) エンゲージメント数：2,929 (昨年度3,835) エンゲージメント率：0.7% (昨年度1.1%)
Insta gram	イベントの最 新情報や会期 中の会場の様 子を発信。	期間：4月1日～翌年1月31日 306日間 (2017年度開設、昨年度319日間) 新規投稿数：116 (昨年度157、累計390) 新規フォロワー数：102 (昨年度165、累計445) ハッシュタグ数：672 (公式122、一般550) (昨年度公式182、一般231 累計413)	期間：4月1日～翌年1月31日 306日間 (2017年度開設、昨年度319日間) 新規投稿数：52 (昨年度63、累計178) 新規フォロワー数：188 (昨年度401、累計589) ハッシュタグ数：136 (公式71、一般65) (昨年度公式31、一般364 累計395)

※Webサイトの参考元：グーグルアナリティクス解析

※エンゲージメントユーザー：Facebookや TwitterなどのSNSにおいて、ユーザーが投稿に対して反応を示した数

※エンゲージメント率：Facebookや TwitterなどのSNSにおいて、ユーザーが投稿に対して反応を示した割合を示す値

参考：『関口 光太郎 in BEPPU』WebサイトPV数とメディア露出などとの相関図



2. メディア掲載実績ならびに広告換算

2019年4月1日以降、新聞・テレビ・ラジオ・Webなどのメディアで、合計151回の掲載・放送があった。その結果を広告換算すると88,952,869円となった。『アニッシュ・カプーア IN 別府』は580,417,918円であり、今年の広告換算は2018年の15%程度になった。なお、2017年の『西野 達 in 別府』は120,031,176円である。

メディア媒体件数 (2019年4月～12月)

(今年度事業／前年度事業)※1)

メディア	全国 (回)	地方 (回) ※3	海外	媒体合計 (回)
新聞	1/8	62/113	0/0	63/121
テレビ	0/2	23/32	0/0	23/34
ラジオ	0/2	3/14	0/0	3/16
雑誌	5/18	10/8	1/4	16/30
Web ※2)	46/57	－	0/0	46/57
エリア合計	52/87	98/167	1/4	151/258

メディア	掲載・放送 (回)	換算金額 (円)
新聞	63	75,127,212
テレビ	23	3,794,643
ラジオ	3	712,500
雑誌	16	2,696,435
Web	46	6,622,079
合計	151	88,952,869

(集計：株式会社 ジャパン通信社) ※2/16現在

※1) 掲載・放送媒体件数は、『ベップ・アート・マンス』『in BEPPU』を合算した数字。

※2) Web掲載件数は、オリジナル記事のみ集計し、記事を転載したWebサイトは除外している。

※3) 県内で取り上げられたニュースや再放送なども含める。また、掲載・放送実績が確認できているもののみ集計。

事業別内訳

BAM	全国	県内・地方	海外	合計 (掲載・放送・回)	合計 (換算金額)	昨年比 (件数)	昨年比 (金額)
新聞	0	28	0	28	26,443,311	40%	36%
TV	0	20	0	20	3,587,859	167%	2765%
ラジオ	0	1	0	1	24,000	100%	100%
雑誌	0	4	0	4	176,007	133%	61%
Web	13	0	0	13	1,278,008	144%	195%
合計	13	53	0	66	31,509,185		
in BEPPU	全国	県内・地方	海外	合計 (掲載・放送・回)	合計 (換算金額)	昨年比 (件数)	昨年比 (金額)
新聞	1	23	0	24	41,189,575	47%	31%
TV	0	3	0	3	206,784	14%	0.06%
ラジオ	0	2	0	2	688,500	13%	7%
雑誌	3	5	0	8	553,761	30%	3%
Web	27	0	0	27	4,164,931	56%	51%
合計	31	33	0	64	46,803,551		
Sky Mirror	全国	県内・地方	海外	合計 (掲載・放送・回)	合計 (換算金額)	昨年比 (件数)	昨年比 (金額)
新聞	0	11	0	11	7,494,326		
TV	0	0	0	0	0		
ラジオ	0	0	0	0	0		
雑誌	2	1	1	4	1,966,667		
Web	6	0	0	6	1,179,140		
合計	8	12	1	21	10,640,133		

今回の事業での主な情報発信媒体は以下の通り。

主な掲載・放送先実績 (順不同)

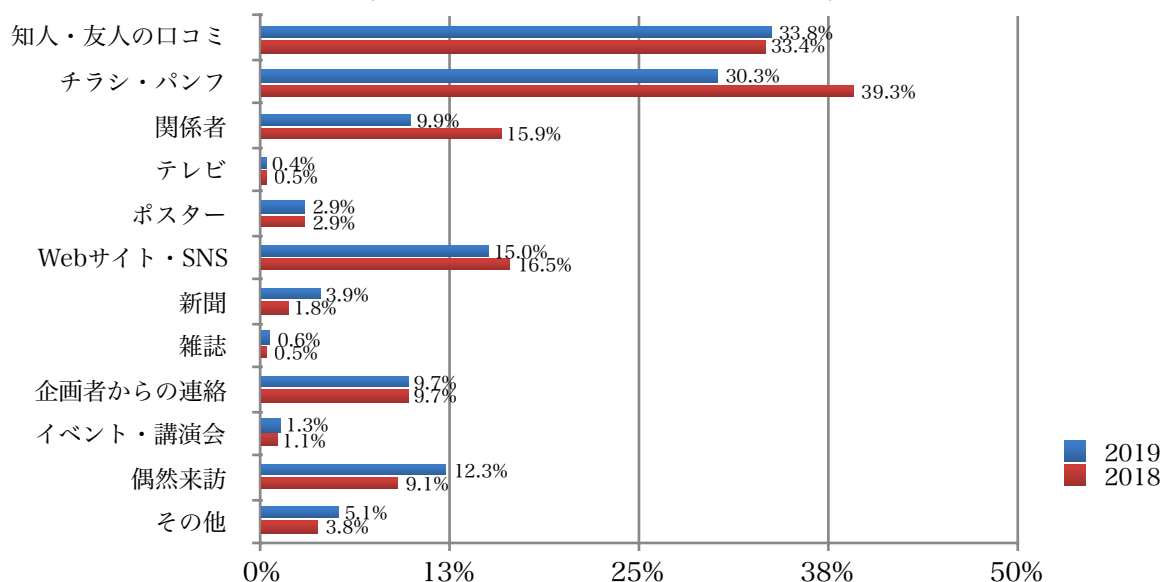
新聞	朝日新聞、西日本新聞、大分合同新聞、GODOジュニア新聞、宮崎日日新聞、高知新聞
テレビ	NHK大分放送、TOSテレビ大分、CTBメディア
ラジオ	FM大分、ゆふいんラヂオ局
雑誌	通販生活、Richesse、PRESIDENT WOMAN Premier、月刊 事業構想、地域づくり、grandjeu、月刊 セーノ!、シティ情報おいた、CONKA 別冊 ビューティ・プラス、Be-News、BCCJ ACUMEN
Web	オリコン、msnニュース、47ニュース、ヤフーニュース、antenna、美術手帖、アネモメトリ、FINDERS、アルトネ、Art Human Project、日本博、JAPAN ATTRACTIONS、Culture NIPPON、トレたび、ゆこゆこ、祭りの日、毎日新聞、朝日新聞デジタル、大分合同新聞、大分経済新聞、OBS大分放送、わくわくとんぼビデオ、日本一のおんせん県おいた、おんせん県PRESS 秋のイベント、オオイタドリップ、温泉ハイスタンダード! 極楽地獄別府、多摩美術大学 彫刻学科研究室、多摩美校友会

※新聞・雑誌は出版社名ではなく、新聞・雑誌名で記載

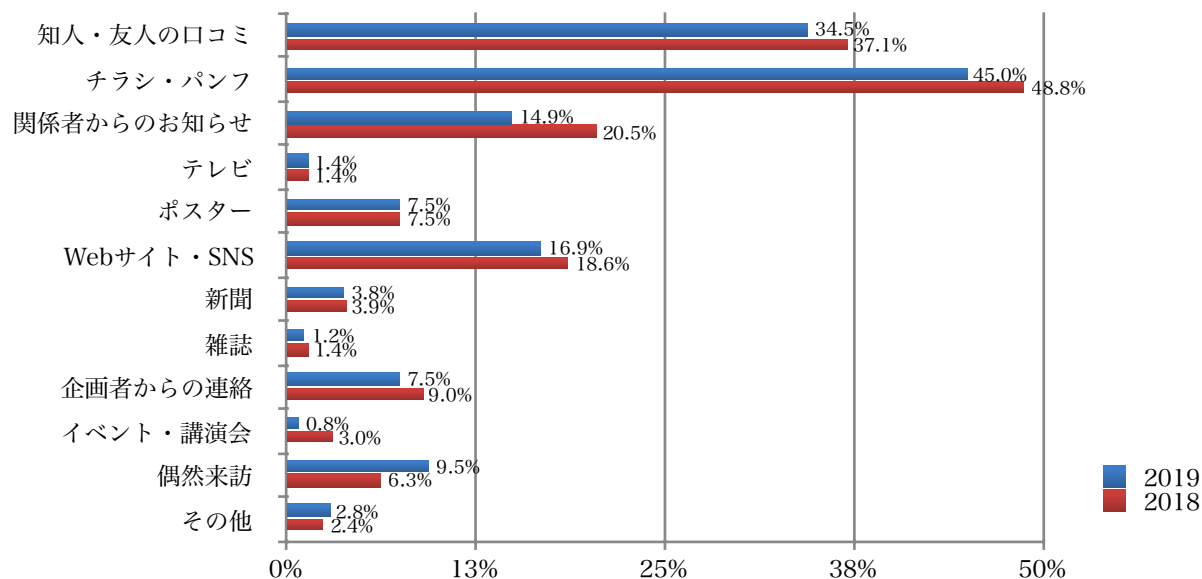
3. 来場者認知経路 (再掲)

今回の来場者の情報認知媒体は来場者アンケートによると以下の通り。

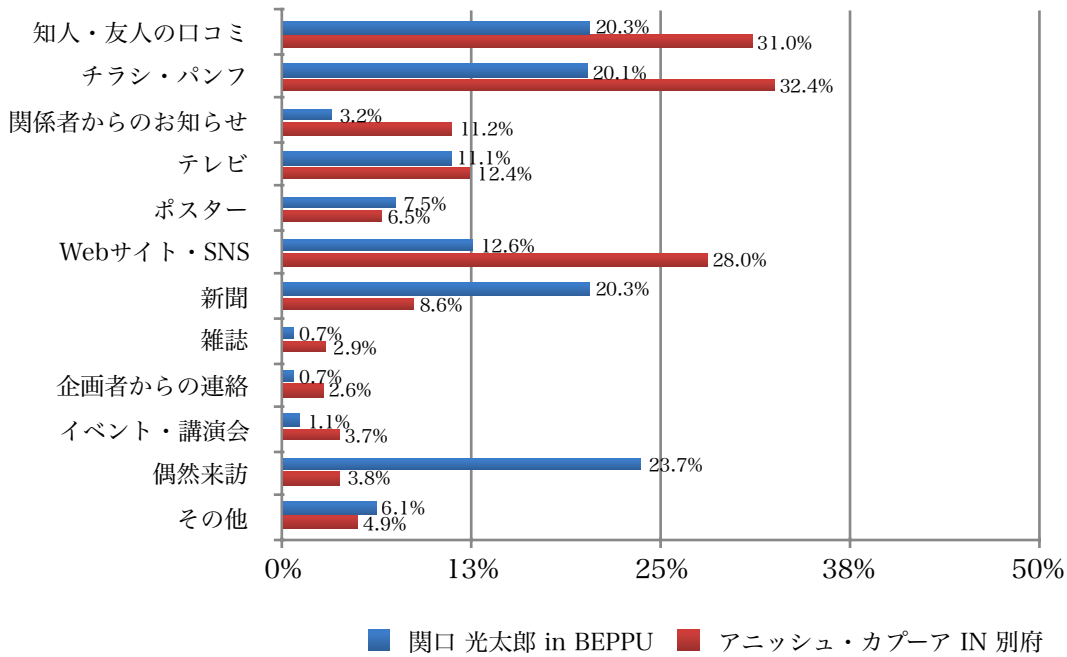
『ベップ・アート・マンス 2019』(今回のプログラムのことをどこで知ったか)



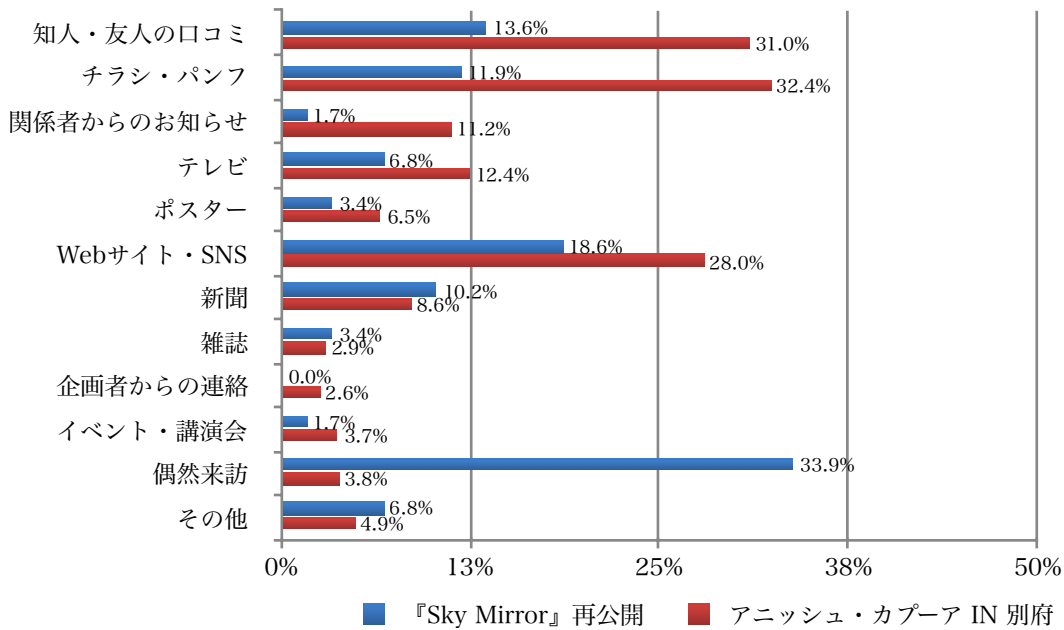
『ベップ・アート・マンス 2019』(『ベップ・アート・マンス』のことを何で知ったか)



『関口 光太郎 in BEPPU』



アニッシュ・カプーア 『Sky Mirror』 再公開



7-2. 観光消費額

1. 観光消費額

別府市観光戦略部観光課が作成した『平成30年別府市観光動態要覧』に掲載されている1人あたりの消費額〈宿泊客：23,250円、日帰り客：4,683円〉をもとに算出すると、今年度は344,569,764円となった。昨年度の586,092,168円 ※1)と比較すると241,522,404円減少した。

※1) 昨年度の観光消費額は『平成29年別府市観光動態要覧』〈宿泊客：24,446円、日帰り客：5,166円〉を基に集計。

2. 地域内消費額

来場者の地域内での実質的な消費額を見るために、事務局独自の算出方法を下記のように設定した。

日帰り	交通費500円+飲食代2,000円+お土産代2,000円=4,500円
1泊2日	宿泊費7,000円+交通費2,000円+飲食費5,000円+お土産代3,000円=17,000円
2泊3日	宿泊費14,000円+交通費2,000円+飲食費10,000円+お土産代3,000円=29,000円
3泊4日	宿泊費21,000円+交通費2,000円+飲食費15,000円+お土産代3,000円=41,000円

上記の設定を基に算出した『ベップ・アート・マンス 2019』『関口 光太郎 in BEPPU』『Sky Mirror』再公開の地域内消費額は、240,291,000円となった。昨年度事業の地域内消費額は414,544,800円であり、今年度は174,253,800円減少した。

	客数 (人)		1人当たりの消費額 (円)	消費額 (円)	合計 (円)
『ベップ・アート・マンス 2019』 (A)	日帰り	2,724	4,500	12,258,000	44,050,000
	1泊	460	17,000	7,820,000	
	2泊	230	29,000	6,670,000	
	3泊	422	41,000	17,302,000	
『関口 光太郎 in BEPPU』 (B)	日帰り	8,288	4,500	37,296,000	128,928,000
	1泊	1,658	17,000	28,186,000	
	2泊	1,184	29,000	34,336,000	
	3泊	710	41,000	29,110,000	
『Sky Mirror』再公開 (C)	日帰り	2,096	4,500	9,432,000	67,313,000
	1泊	1,160	17,000	19,720,000	
	2泊	937	29,000	27,173,000	
	3泊	268	41,000	10,988,000	
観光消費額 (A)+(B)+(C) 合計					240,291,000

【客数の算出方法】

(A)…『ベップ・アート・マンス 2019』の述べ来場者数14,590名のうち、『関口 光太郎 in BEPPU』に参加せず『ベップ・アート・マンス 2019』のみに参加した純粋な客数を次の計算式で算出した。

$$14,590 - (11,840 [\text{※2}] \times 26\% [\text{※3}]) = 11,512 \quad 11,512 \div 3 [\text{※4}] = 3,837$$

※2) 『関口 光太郎 in BEPPU』総来場者数

※3) 『関口 光太郎 in BEPPU』アンケートで『ベップ・アート・マンス 2019』に参加した、および参加する予定と回答した人の合計パーセンテージ

※4) 『ベップ・アート・マンス 2019』の1名あたりの平均参加プログラム数

(B)…『関口 光太郎 in BEPPU』の総来場者数11,840名のうち、アンケート結果の宿泊/日帰りの比率から泊数ごとの客数を算出し、小数点以下は四捨五入した。

(C)…『Sky Mirror』再公開の述べ来場者数43,842名のうち、『関口 光太郎 in BEPPU』『ベップ・アート・マンス 2019』に参加せず『Sky Mirror』再公開のみに参加した純粋な客数を次の計算式で算出した。

$$43,842 - \{ (11,840 [\text{※5}] \times 49\% [\text{※6}]) + (3,837 [\text{※7}] \times 27\% [\text{※8}]) + 32,544 [\text{※9}] \} = 4,460$$

$$\rightarrow 43,842 - (5,802 + 1,036 + 32,544) = 4,460$$

※5) 『関口 光太郎 in BEPPU』総来場者数

※6) 『関口 光太郎 in BEPPU』アンケートで『Sky Mirror』再公開に参加した、および参加する予定と回答した人の合計パーセンテージ

※7) 『ベップ・アート・マンス 2019』客数

※8) 『Sky Mirror』再公開アンケートで『ベップ・アート・マンス 2019』に参加した、および参加する予定と回答した人の合計パーセンテージ

※9) 会期中の10月26日(土)・27日(日)に同会場で開催された大規模イベント『大分県農林水産祭“おおいのりフェスタ”』の鑑賞者。『Sky Mirror』を作品鑑賞した点で来場者数にカウントすべきだが、観光消費を誘発したのは作品ではなく大規模イベントであるため、本件事業の観光消費からは除外する。

第8章 収支状況

収支としては、69,007,297円の収入に対して、69,007,297円の支出となり、収支差額0円となった。

1. 収入

負担金	大分県	¥42,432,000
	別府市	¥20,000,000
	実行委員会参画団体	¥410,000
助成金		¥2,250,000
協賛金		¥2,380,000
ベップ・アート・マンス 加盟店料		¥265,000
グッズ販売費		¥690,404
参加費		¥579,860
その他		¥33
計		¥69,007,297

2. 支出

ベップ・アート・マンス 2019 開催事業	¥1,877,058
in BEPPU 開催事業	¥38,525,799
情報発信事業	¥0
定住促進事業	¥0
事務局運営費	¥26,310,887
広報費	¥2,293,553
計	¥69,007,297

3. 収支差額

収入	¥69,007,297
支出	¥69,007,297
収支差額	¥0

9-1. 『ベップ・アート・マンス 2019』

今年度の『ベップ・アート・マンス (以下、BAM) 』は9月21日(土)～ 11月10日(日)までの51日間、別府市内のさまざまな会場でプログラムが開催され、14,590名もの方が参加した。ここでは『BAM』で実施した2つのアンケート (来場者／企画者) をふまえた今年度の傾向や、運営面についての現状と取組について述べたいと思う。

1. 来場者アンケート結果をふまえた今年度の傾向

まず注目したいのは、「今回のプログラムのことをどこで知ったか」の問いに対する回答として、「偶然来訪した」が昨年と比較し増えたことである。これは、商店街の空き店舗、通りに面した場所、デパートの一角など、普段の生活で利用されることの多い、市民にとって身近な場所を会場としたプログラムが昨年よりも多かったためと考えられる。偶然参加した方からは、「意識せずに訪れた場所でアートに触れることができた」「偶然知って参加してみたら子どもが大変喜んだ」などの感想が寄せられた。これらの感想から、日常の生活圏でアートイベントを開催することが、思いがけない発見と楽しみの提供に繋がることを再認識できる。

次に県外来場者の地域別内訳に注目したい。昨年と比較すると、関東からの来場者が大幅に増加している (16.7%増)。さらに詳しく考察するため、居住地を「関東」と回答したアンケートを詳しくみると、「今回のプログラムのことをどこで知ったか」という問いに対して、「知人・友人からの口コミ」という回答が半数を占めた。「知人・友人からの口コミ」で「関東」から来訪した参加者が最も多かったプログラムの企画者にヒアリングしたところ、自身で集客した知人による回答であることがわかった。すなわち事務局が設けた選択肢の「企画者からの連絡」と「知人・友人からの口コミ」が混同されていたわけだが、いずれにしても事務局からの情報発信ではなく、口コミの力で関東からの参加者が増加したことは事実である。加えて言うと、この回答者は、滞在中に企画者が勧めたプログラムを複数巡ったという。企画者間の相互理解があれば、このように回遊を促し、より深い体験を提供することも可能になる。今後も企画者と事務局が一丸となってより効果的な口コミをデザインできるよう、情報の発信と共有に努めていきたい。

最後に、「『in BEPPU』に参加したか」という問いに対する回答をみてみたい。昨年に比べ、「参加した」「参加する予定」の合計が13%減少した。『in BEPPU』は『BAM』の目玉事業であると同時に、我々はこの2つの事業を別府市における芸術文化振興の両輪として位置づけている。多彩な表現の場である『BAM』と優れた芸術の鑑賞機会である『in BEPPU』の両方に参加を促すことで、よりいっそう芸術文化振興に拍車をかけるとともに当該分野における深い知見と経験を積んだ人材の育成へと繋げていきたい。

2. 企画者アンケート結果をふまえた今年度の傾向

今年度、初めて『BAM』に登録した企画者 (以下、新規企画者) は全体の42%となった。例年、新規企画者の割合は40%から50%を推移している。この数値は『BAM』を運営していくうえで、適切な数値だと考えている。なぜなら、過去にBAMに登録したことがある企画者 (以下、継続企画者) が増えすぎると、企画内容の固定化を招く恐れがあり、新規企画者が増えすぎると新たに信頼を構築するための時間が必要となり、企画そのものへのサポートに十分な時間をかけることができなくなってしまう可能性があるからである。今後もこの数値を維持していきたい。

また、自由記述の意見として「展示方法などに事務局から専門的なアドバイスがほしい」という意見があった。これは、企画の質を高めていくために重要なことであるが実行委員会としては、事務局のみがこの役割を担うことは本意ではない。『BAM』にはさまざまな知識や経験を有する企画者が毎年多く参加している。事務局だけでなく、『BAM』の企画者同士が知識やアイデアを持ち寄り、課題の解決に努めることで経験値を高め地域のプレイヤーを育成することに繋がる。そして、そのような場として事務局が提供しているのが、『ベップ・アート・マンスをつくろう会』 (以下、『つくろう会』) である。

『つくろう会』は2013年から継続している、いわゆるお悩み相談会である。企画者同士の横の繋がりを深め、議論しあい、お互いの企画に対してアドバイスをし、事務局に意見を伝えることで、「みんなでベップ・アート・マンスをつくっていく」という意識を醸成することを目的として実施している。しかし「今年度『つくろう会』に参加したか」の問いに対し「はい」の回答が29%と低い数字となった。『BAM』の会期後におこなった報告会の意見交換の場では、この『つくろう会』のあり方についての質問や、会場・開催時期の見直しにより参加率向上を図るアイデアが出た。これらの意見を参考に『つくろう会』における今後ますますの意見交換の活性化を目指したい。『つくろう会』の内容の充実、

企画の質や事務局からのサポートの向上、企画者同士での広報活動や企画内容の協力体制の構築などに繋がる。『BAM』全体をよりよい事業として育てていきたい。また『つくろう会』でできた企画者同士のネットワークが『BAM』以外でも継続され、地域と関わりながら別府がアートによって魅力ある町になることを期待したい。

3. まとめ

2010年に27団体による43企画から始まった『BAM』は、毎年100近い団体が多様なイベントを実施する市民文化祭となった。10周年を迎えた本年度は、これまで使用してきたロゴを一新し、特別企画も実施した。

来場者へのアンケートで「今回はプログラムの企画者として参加したいと思うか」の問いに対し、「はい」の回答が41%であった。実行委員会では、この数値を毎年維持することを評価基準の1つとしている。『BAM』に観客として参加したことで「自分も表現者として何かやってみたい」という意欲が生まれた人を毎年一定数維持することは、『BAM』が目的としている「別府市における文化芸術の振興」や「さまざまな芸術表現の発表機会の提供」を実現するための礎となる。

この事業を通じて、これからも地域とより密接に連携しながら、別府市における芸術文化の振興と活力あふれるまちづくりに取り組んでいきたい。

9-2. 『関口 光太郎 in BEPPU』

『関口 光太郎 in BEPPU』は9月21日(土)～11月10日(日)の51日間、トキハ別府店 5階を会場に開催し、11,840名の来場者を迎えた。会場にアンケート記入コーナーを設け、来場者を対象にアンケート調査を実施した。調査結果をふまえた今年度の傾向や、運営面についての現状と取組について述べたいと思う。

1. 来場者アンケート結果をふまえた今年度の傾向

大分県内からの来場者の割合について、昨年は55%であったのに対し今年は80%と大幅に増加した。特に別府市からの来場者は昨年の2倍の割合であった。年齢層や男女比をみると、昨年は40代女性、30代女性、20代女性の順に多かったのに対し、今年は40代女性、60代女性、70代女性の順に多く、来場者全体の半分を占めた。過去の『in BEPPU』『混浴温泉世界』の来場者データによると、全ての開催年において男性よりも女性の割合が比較的高いことが確認されているが、今年は女性の割合が全体の7割を占め、例年よりも顕著であった。

この要因の1つに、今回の会場がトキハ別府店の5階であったことが関係していると推測する。トキハ別府店は、1988年に開業した別府市最大の売場面積を持つ複合商業施設である。JR別府駅や国道からもアクセスが良く、市民に長年愛されてきた。さらに、本展の開催を間近にした9月上旬には全館がリモデルされ、連日多くの来客で館内が賑わった。アンケート設問の「(本展を)どこで知ったか」の問いに対する回答で、例年上位にあがる「友人・知人の口コミ」「チラシ・パンフ」「新聞」を抑さえ、今年は「偶然来訪」が最も多かったことから、本展の鑑賞を目的に来場した方々よりも、トキハ別府店の利用者の方々が多く来場していたことが伺われる。よって、今回の来場者の性別や年齢層にはトキハ別府店利用者の属性が一部反映されているものと推測する。さらに、会期中の現場運営を担当した事務局スタッフの所感としては、リモデルに合わせて館内7階にオープンした大衆演劇の劇場、『ぶらり劇場(別府座)』にエスカレーターで向かうシニア層の観客が、開演前や開演後に本展フロアに立ち寄ってくれることが多かった。

また、「『関口 光太郎 in BEPPU』の評価」の問いに対する回答では、「よかった」「どちらかといえばよかった」の回答合計が99.3%と昨年の94.7%を上回る非常に高い結果となった。回答の理由では、新聞紙とガムテープといった身近な素材がダイナミックな作品に変化することへの感動や、観客が作品制作に参加できる点を評価する記述などが見受けられた。しかしながら、同時期開催の『ベップ・アート・マンス 2019』への関心は昨年より低下した。「『ベップ・アート・マンス』には参加するか」の問いに対するポジティブな回答(「参加した」「参加する予定」「都合がつけば参加したい」とネガティブな回答(「参加しない」「イベント自体知らない」「知っているがよくわからない」)の割合をみると、ポジティブ39.6%、ネガティブ60.4%であった。昨年はポジティブ50%、ネガティブ50%である。『in BEPPU』と『ベップ・アート・マンス』を同時に開催することで相乗効果を得るための手法を考えることが今後の課題である。

2. 運営面を振り返っての反省と課題

集客面において、『関口 光太郎 in BEPPU』では会期前から別府市や大分市を中心に県内各所でワークショップを実施してきた。さらに別府市役所で過去作品を展示するなど、事前広報に力を入れたことから、広く市民に本展を周知することができ、ファミリー層やシニア層が例年より多く来場した。その反面、今回は例年に比べて県外のアート関係者や行政関係者の視察が少なく、全国版の新聞や雑誌などへの掲載数も減少した。今後は、地域文化とアート鑑賞の両方を楽しむツアープログラムを取り入れるなど、県外客をターゲットとした魅力的なコンテンツの造成を検討し、県外メディアからも注目を得るアートプロジェクトとして成長させていきたい。

運営面においては、今年度は当実行委員会内で3つの部会（運営部会、イベント部会、広報部会）を設立し、協賛依頼先の開拓や県内広報先の拡大など、委員の具体的な協力を仰ぎながら事務局が業務を遂行していった。また、会期前のワークショップ開催にあたっては、大分大学、大分県立芸術文化短期大学、別府大学といった教育機関や、別府市 学校教育課・子育て支援課、別府市リサイクルセンター、別府商工会議所などの協力のもとに開催会場を増加させていった。作品制作にあたっては大分合同新聞社、日東電工 株式会社から資材提供を受けた。さらに、広報面では別府市旅館ホテル組合連合会、大分経済同友会の定例会で告知の場をいただくなど、今年は多方面と連携する機会が持てた。これらの連携ルートは、次年度以降の事業運営でも有効に活用していきたい。

しかし、会場を円滑に運営するための受付・監視ボランティアの募集に関しては少々苦戦した。昨年に引き続き、別府市ボランティア連絡会のサポートによって主婦の登録が多く、午前中の活動人員は確保できたが、平日の動員が十分とはいえなかったことは今後の課題である。

3. まとめ

今回の『関口 光太郎 in BEPPU』では、会期前は県内の美術館、企業、児童館、小学校、お祭り会場などでワークショップを実施し、合計1,023名の県民が参加した。会期中は会場にワークショップブースを設け、関口 光太郎の作品制作に関わる機会を作るとともに、県内4市にて出張ワークショップをおこなった。その結果、会期前、会期中あわせ合計2,829名の県民が参加した。ワークショップブースでは子どものみならず、大人や高齢者も、障がい者もインバウンド客も、思い思いに創作に没頭する姿が見受けられた。このような能動的な創作者の存在は、創造的で活力のある地域の実現において極めて重要な要素である。今後も市民の創作意欲の向上にも繋がる機会を創出し、別府ならではの創造的で活力ある地域づくりを目指したい。

9-3. アニッシュ・カプーア『Sky Mirror』再公開

「アニッシュ・カプーア『Sky Mirror』再公開」は春会期として4月27日(土)～5月6日(月・祝)の10日間、秋会期として9月21日(土)～11月10日(日)までの51日間開催し、合計46,589名が鑑賞した。鑑賞中の方を対象に無作為抽出し、アンケート調査を実施した。

1. 来場者アンケート結果をふまえた今年度の傾向

来場者の属性について、「別府市」と「県外」がそれぞれ全体の約4割を占めた。「(本展を)どこで知ったか」の問いに対する回答では「偶然来訪」が最も多く、年齢層や男女比をみると多い順に40代女性、30代女性と60代女性が同順、30代男性と50代女性が同順であった。現場運営を担当した事務局スタッフの所感としては、散歩やランニングなど日頃から別府公園を利用している地域住民や、公園を散策する観光客が偶然訪れ、足を止めて鑑賞するケースが多く見られた。2年連続で『Sky Mirror』を鑑賞した地元民や県外客も一定数いたが、全体の8割は初めて鑑賞する方々であった。

「『Sky Mirror』再公開の評価」の問いに対する回答では、「よかった」「どちらかといえばよかった」の回答合計が93.3%であった。回答の理由欄では、天候や時間による作品の見え方の変化を体感できたことや、公園の自然環境に作風がマッチしているといった感想が見受けられた。

「『ベップ・アート・マンス』には参加するか」の問いに対するポジティブな回答（「参加した」「参加する予定」「都合がつけば参加したい」）とネガティブな回答（「参加しない」「イベント自体知らない」「知っているがよくわからない」）の割合をみると、ポジティブ35.6%、ネガティブ64.4%であった。昨年はポジティブ50%、ネガティブ50%である。

『関口 光太郎 in BEPPU』での反省同様、『ベップ・アート・マンス』に興味・関心を持ってもらう仕掛けが必要がある。

2. 運営面を振り返っての反省と課題

集客面において、春会期はゴールデンウィーク期間に実施したことから、別府市や大分市のファミリー層や観光客に加え、県外在住の帰省客や遠足に訪れた幼稚園児らにとっても鑑賞機会となった。春会期の実施については同年4月に開催した実行委員会で決定したため、十分な広報期間を設けることができないまま開催を迎えた。秋会期に関しては、『ベップ・アート・マンス 2019』の目玉プログラムの1つとして広報活動をおこない、大分合同新聞などのメディアに掲載された結果、多くの来場客を迎えることができた。

運営面においては、会場管理スタッフの確保が課題であった。春会期では、開催決定からの期間が短かったため、作品監視と案内を兼任するスタッフを、人材派遣会社に依頼して動員したアルバイトと事務局スタッフが請負った。秋会期では、ボランティアスタッフを募集したが、『関口 光太郎 in BEPPU』の会場受付・監視ボランティアも同時開催であることから、必要数を集めることができなかった。よって、春会期同様、人材派遣会社に依頼してアルバイトを配置した。人材派遣会社やアルバイトへの支払いにかかる支出は運営予算に計上していなかったため、ほかの費目の出費を抑え、全体の収支を調整した。今後は、動員可能なスタッフの総数を見極めつつ、企画段階から適切な規模やオペレーションを検討しておく必要があると考える。

3. まとめ

昨年の『アニッシュ・カプーア IN 別府』によって日本初公開された『Sky Mirror』は、アニッシュ・カプーアの代表作とも言える彫刻シリーズの1つで、世界各国で発表され、多くの人々に感動を与えてきた作品である。関東や関西などの都市部ではなく、九州の地方都市・別府で2年連続展示を実現できたことは、実行委員会としては誇りであり、アニッシュ・カプーア氏をはじめ実現にご協力いただいた関係者やアーティストエージェント、建築家、施工業者、ボランティアスタッフやアルバイトスタッフ、全ての方々に心より御礼を申しあげたい。

9-4. 広報活動

1. 広告換算

広告換算額88,952,868円を事業毎に分けると下記の通りである。

『ベップ・アート・マンス 2019』

31,509,185円。件数は新聞21件、テレビ9件、ラジオ1件、雑誌4件、Web13件であった。
NHK大分放送局の昼番組や、大分合同新聞のフルカラー掲載が換算値が高かった。

『関口 光太郎 in BEPPU』

46,803,550円。件数は新聞17件、テレビ3件、ラジオ2件、雑誌8件、Web27件であった。
県外の新聞は朝日新聞、高知新聞、西日本新聞の順に換算値が高かった。

「アニッシュ・カプーア『Sky Mirror』再公開」

10,640,133円。件数は新聞9件、テレビ0件、ラジオ0件、雑誌4件、Web6件であった。

『Sky Mirror』再公開単体の記事掲載件数は少なかったが、『ベップ・アート・マンス 2019』『関口 光太郎 in BEPPU』の記事に、同時開催として紹介されたものも数点あった。

2. 認知経路

『ベップ・アート・マンス 2019』

「知人・友人からの口コミ」「チラシ・パンフ」の割合が高く、両者の合計が全体の約半分を占める。昨年度比で最も増加した経路は「偶然来訪」で3.2%増であった。前述した通り、不特定多数が訪れやすいプログラム会場が多かったことが影響していると推測される。「テレビ」「雑誌」の経路は昨年同様ごく少数である。

『関口 光太郎 in BEPPU』

「偶然来訪」が19.9%増、「新聞」が11.7%増と昨年より伸びた。「知人・友人の口コミ」「チラシ・パンフ」の割合は昨年の約3分の2に減少した。「偶然来訪」が増加した理由は、前述した通り、トキハ別府店を会場にしたことが影響していると推測される。

「アニッシュ・カプーア『Sky Mirror』再公開」

「偶然来訪」が圧倒的に多く、その次は「Webサイト・SNS」「知人・友人の口コミ」「チラシ・パンフ」の順である。別府公園利用者や観光客が偶然立ち寄ったケースが多いと推測する。

3. Web / SNS （『ベップ・アート・マンス 2019』、『関口 光太郎 in BEPPU』のみ）

『ベップ・アート・マンス 2019』

Webサイトのユーザー数は昨年比106%であった。FacebookやTwitterの発信は、昨年より大きく上回る数値は出なかったが、Instagramのハッシュタグ数は一般投稿が昨年231件から今年550件と、2倍以上の投稿があった。プログラムの企画者自身が積極的にハッシュタグをつけて投稿している様子が見受けられた。

『関口 光太郎 in BEPPU』

Webサイト、Facebook、Twitterは昨年より数値が下回り、特にTwitterはフォロワー数が67減少した。Instagramのハッシュタグ数も、一般投稿が昨年364件から今年65件と大幅に減少した。

4. まとめ

今回は予算の関係上、県外の広報専門家を採用しなかったこともあり、県外メディアへのアプローチはリリース発信のみにとどまった。その結果、全国紙やTVの取材が少なく、県内の大分合同新聞や今日新聞での露出がメインとなった。しかし、県内メディアでも昨年は国民文化祭に関連して掲載していただいた広報枠がなくなり、ラグビーワールドカップとの連携も当初の想定通りにはいかなかった。そのため昨年広告換算費を大きく伸ばしたNHK『日曜美術館』や朝日新聞『フロントランナー』などの露出が獲得できず、昨年度と比べると広告換算額が大幅に減額した。当報告書82ページの「参考：『関口 光太郎 in BEPPU』WebサイトPV数とメディア露出などとの相関図」でわかるように、テレビ露出がWebサイトPV数の増加に影響を与えている。今後はその時期のトレンドに合わせた情報発信をおこなうとともに、県外メディアや県内を中心としたテレビ局への具体的なアプローチ方法を検討していきたい。またSNSに関しても、投稿時間や投稿内容など、ターゲットに合わせた発信ガイドラインを考案する必要があると考える。

10-1. 評価結果のポイント

『ベップ・アート・マンス (BAM) 2019』ならびに『関口 光太郎 in BEPPU』を中心とする2019年度の実行委員会事業の実績を踏まえて、事業評価をおこなった。

評価システムとしては、バランス・スコアカード (Balanced Scorecard=BSC。詳細後述) を採用し、①地方創生、②観客、③ステークホルダー、④財政、⑤マネジメントの5つの視点から評価をおこない、そこから得た教訓と提言をまとめている。

本節ではBSCに基づく評価結果のポイントのみを示し、詳細については次節以降で説明する。

バランス・スコアカードによる評価結果のポイント

	評価結果
地方創生の視点	- これまでの実行委員会事業を通して「アートの町・別府」のイメージが浸透 (来場者の6～7割が認知)。 『BAM』にプログラム企画者として参加した市民は、日常的にも地域活動に熱心 (86%が会期外に地域活動に参加)。会期外の文化芸術イベントを登録できる情報配信サイト『ベップ・アートナビ』については、利用拡大が課題。 『BAM』一般参加者の41%は次回、企画者サイドでの参加を希望。
観客の視点	『関口 光太郎 in BEPPU』の来場者数は目標を上回り (達成率132%)、観客の評価も高い結果 (満足度99%) となった。 - 今回で10周年となる『BAM』は、おおむね予定通りに実施された (来場者数達成率99%、観客満足度93%)。 - 情報発信事業については、メディア露出を広告換算した結果は88,952,869円となり、目標 (121,000,000円) を下回った。『旅手帖 beppu』については、コンテンツの充実と認知度の向上に努めるべきである。
ステークホルダーの視点	『BAM』に登録するプログラム企画者とは、『ベップ・アート・マンスをつくろう会』 (年間13回開催) などを通じて連携を深め、満足度や次年度参加意向が90%超となった。 『BAM』において『清島アパート』のアーティストや、県内外のアーティストや大学生による展覧会が開催されるとともに、インターンシップ学生も受け入れるなど、文化芸術の担い手の育成・支援をおこなった。 - 海外機関、行政機関、企業、各種団体との連携に加えて、前年の課題であった県内文化芸術団体についても、『in BEPPU』のワークショップを通じてさまざまな連携をおこなった。メディア連携については、県外メディアとの連携に課題を残した。
財政の視点	収入面において、協賛金・助成金が当初予定の額には届かなかったが、最終的には実行委員会事業の実施に要する財源を確保することができた。
マネジメントの視点	- 情報インフラ整備や定型業務のマニュアル化を通じた進行管理・情報共有は一定の進展をみており、引き続き推進を図るべき。 - 広域連携調整能力の強化については、今回の『in BEPPU』が、広く県民が参加して作品制作を手伝うタイプの作品であったため、作家自身やスタッフによるワークショップの実施会場の確保などを通じて広域連携が進んだ。 - ボランティアについては、主婦層を中心に参加をいただいたが、円滑に運営をするための実働ボランティア人数の確保には至らず、学生ボランティア確保など、今後の検討が必要。
教訓と提言	- 市民参加型の『関口 光太郎 in BEPPU』、ラグビーワールドカップ観戦客の鑑賞を狙った『Sky Mirror』再公開は、おおむね所期の目的に沿った集客を実現したが、一方を鑑賞した観客がもう片方の作品まで足をのぼすという相乗効果の発揮にさらなる工夫が必要であった。 - 来場者が今後の『in BEPPU』に期待する表現ジャンルは、美術ジャンルが最多だが、音楽やメディア芸術という回答も多い。美術を軸に据えつつ、音楽や映像も交えた多彩な表現をおこなえる作家や作品が望まれている。

1. 評価の対象

混浴温泉世界実行委員会（以下、実行委員会）が主催者となって実施する事業『混浴温泉世界実行委員会事業（以下、実行委員会事業）』を評価対象とする。実行委員会事業は、『ベップ・アート・マンス（以下、BAM）』と『in BEPPU』、ならびに両事業に関連して実施される情報発信事業、定住促進事業から構成される。

2. 評価の位置づけ

今回の事業評価は、中間評価である。

実行委員会は2017年度に、2017～2020年度までを対象期間とした実行委員会事業の評価システムを設計した。評価システムは、実行委員会事業が従来から活用してきたBSCの高度化を図ったものである。この評価システム設計は、実行委員会事業が生み出す成果を年度ごとに評価するための方法論をあらかじめ設定するものであり、事業の事前評価であると位置づけられる。

こうして再構築されたBSCに基づき、2017～2019年度の各年度末に中間評価を、2020年度末に事後評価をおこなうことを想定する。

今回は『BAM 2019』と『関口 光太郎 in BEPPU』に加えて2018年の『アニッシュ・カプーア IN 別府』に出品された『Sky Mirror』の再公開という2019年度実行委員会事業の実績を踏まえて、計画期間3年目の中間評価をおこなうものである。

新BSC導入3年目となる今年度の中間評価では、第1段階として、前年度版BSCの改訂の可否を検討する必要がある。個展形式の芸術祭『in BEPPU』は、アーティストの作品プランによって事業の内容・構造が大きく変化する。このため前年度評価でも指摘したように、BSCもその全体的ビジョンは不変としても、それに向けて目指すべき具体的な姿や、その達成度を測定する業績評価指標（指標自体や目標値の適否など）について、『in BEPPU』の具体的内容や、実行委員会事業を取り巻く環境の変化を踏まえて柔軟に見直すべきでなのである。

このため、第1段階として今年度はまずBSC改訂の検討を進め、その結果について実行委員会の了承を得たうえで、第2段階として年度末に評価結果を報告するという段取りを踏んだ。

3. 評価の主体

実行委員会事業に対する評価は、大分県芸術文化スポーツ振興財団 参与 三浦宏樹による第三者評価として実施する。大分県、大分県立芸術文化短期大学、大分県芸術文化スポーツ振興財団の3者は、コンソーシアム（共同事業体）型組織として、2016年6月にアーツ・コンソーシアム大分を設立した。

従来から大分県では、民間団体や有識者との協働のもと、彼らの知見・ネットワークを活用し、効果的・効率的な文化施策の推進に努めてきた。一方で、これらの取組における評価や民間資金獲得の手法などに関する調査研究については、実施ができていなかった。

アーツ・コンソーシアム大分は、こうした問題意識を踏まえて、大分県内で実施されるアートプロジェクトに対する評価手法の検討と試行をおこない、それらの成果をまとめた『評価と文化ハンドブック』を2018年度に公開した。実行委員会事業の評価システムは、アーツ・コンソーシアム大分の研究成果を踏まえて構築されたものであり、その事務局長を務めていた三浦宏樹（日本評価学会認定評価士）が、今年度も評価実務を担当する。

評価者は、アカウンタビリティの観点から評価としての厳格さを保ちつつも、評価結果が実行委員会事業に有効に活用され、学び・改善の契機となるよう、事務局スタッフらから評価プロセスに積極的に参画させる参加型評価（Participatory Evaluation）を実践することとした。特に、実行委員会事業が、アートという新たな価値を創出するイノベーションであることを踏まえて、こうした事業の評価に向くとされる発展的評価（Developmental Evaluation）※1）の考え方を採り入れた。

1. バランス・スコアカードとは何か

実行委員会は、2011年度の『BAM』以降、BSCの考え方を導入した評価を始めている。BSCは、ロバート・S・キャプランとデビッド・P・ノートンが考案した企業の業績評価・戦略経営支援システムである。民間企業の業績評価では伝統的に、損益財政という「財務の視点」が重視されていたのに対して、キャプラン&ノートンは、この「財務の視点」に加えて「顧客の視点」「業務プロセスの視点」「学習と成長の視点」もあわせて総合的に業績評価をおこなうことが重要だと説いた。そして、組織の業績を総合的にみるこうした手法は、利益追求を目的としない公的組織の経営や評価にも役立つとの考え方から、内外の行政機関や非営利組織でも検討・導入がなされた経緯がある。実行委員会は、こうしたマネジメント志向の評価システムの導入に積極的に取り組んできたところである。

2. 混浴温泉世界型バランス・スコアカードについて

2016年度の評価に際して、実行委員会ならびに事務局のBEPPU PROJECTからは、従来のBSCに満足することなく、さらなる高度化を図りたいとの問題意識が寄せられた。これまでのBSCは、ステークホルダーに対して実行委員会事業の業績をわかりやすく伝達する仕組み、すなわちアカウンタビリティ確保を主目的とした業績評価システムとしては、一定の役割を果たしてきたと判断される。しかし、事業の経営基盤を強化し、事務局スタッフや関係人材の成長を促す、戦略経営支援システムとしてはいまだ不十分だというのだ。

来場者数や経済波及効果は、事業の実施年だけで完結するものであり、こうした短期的・定量的な効果だけでなく、中長期的・定性的な効果も重視すべきである。また、経済波及効果の多寡だけでは「文化になぜ投資するのか」という問いに答えることができない。東京オリンピック・パラリンピックに向けたわが国の文化プログラム集中実施期間以降も、実行委員会事業が自立性、持続可能性を高めてレガシー（未来に継承される財産）となっていくには、BSCの各視点において、人材の成長と経営基盤の強化にフォーカスした目標設定と、定期的なモニタリング、業務改善が求められる。

このため実行委員会は、2016年度の『in BEPPU』（目 In Beppu）を実証実験と位置づけ、その実績を踏まえて実行委員会事業のビジョンの再定義と、BSCの基礎となる戦略マップ（Strategy Map）※2）の作成をおこなった。

(1) ビジョンの再定義（2016年度）

実行委員会事業の新たなビジョンは、次の通りである。

ビジョン「観光地型・文化芸術創造都市としての別府」

全国的な観光地であり、震災を免れ外国人が多い地域性を活かした多様な文化の取組と、地域資源を融合させた事業によって、新たな魅力の造成と市民意識の醸成を図るとともに、携わる人材がいきいきと活躍し続ける、市民中心都市・別府の実現を目指す。

【芸術振興】優れた作品の鑑賞機会充実と若手作家の応援

【観光推進】観光地別府の新たな魅力発信事業として活用

【人材育成】多様な事業の現場を学びの場として活用

【地域活性】文化芸術を地域活性化の核として活用

(2) 戦略マップの作成（2016年度）

民間企業の場合は中長期的な利益の最大化が重要なため、BSCの4視点のなかでも財務の視点を最終目標に置く。これに対し、公的機関や非営利組織は、利益追求が目的ではないため、最終目標としてミッションやビジョンに関する視点を新たに加えることが多い。実行委員会事業では、この5番目の視点を「地方創生の視点」としている。また標準的BSCの「学習と成長」「業務プロセス」「財務」「顧客」の4視点についても、より実態にあわせて「マネジメント」「財政」「ステークホルダー」「観客」とした。標準的BSCの「学習と成長」「業務プロセス」を「マネジメント」に統合し、「ステークホルダー」を新たに項目立てしたかたちである。

戦略マップは、BSCの5つの視点ごとに複数個の戦略目的を設定し、目的間の因果関係を矢印で結んだマップである。

【地方創生の視点】別府における諸課題の解決

戦略目的：地域のまちづくり人材の育成／別府の新たな魅力の創出・発信／集客交流人口の多様化／他地域との連携による滞留時間の増加／創造的人材の移住促進

【観客の視点】文化芸術や地域資源を活用した新たな魅力の創出

戦略目的：市民にとっても関口の広い事業の充実・強化／国際的に発信力の高い事業の創出／事業や地域情報を発信するメディアの開発・発信

【ステークホルダーの視点】創造都市プラットフォームの造成

戦略目的：地域内の創造的人材の拡大／文化芸術の担い手の育成・支援／文化芸術団体との連携／海外機関との連携／行政機関・企業・団体との連携／情報発信に関わるステークホルダーとの連携

【財政の視点】財政基盤の確立

戦略目的：協賛金・助成金の獲得／チケット・グッズ販売力の強化／負担金など基礎的財源の獲得

【マネジメントの視点】実行体制の確立・強化

戦略目的：ボランティア組織の強化／外部マネジメント人材の育成・発掘／事務局体制の強化／広域連携調整能力の強化／実行委員会体制の強化

(3) バランス・スコカードの作成 (2017年度)

BSCは、以上のビジョンと戦略マップを踏まえ、戦略目的ごとに「目指すべき具体的な姿」を定め、その達成度を測定する業績評価指標 (Key Performance Indicator=KPI) を選んで、目標値を設定したものである。

BSCの計画期間は、2016年度実績を起点として、東京オリンピック・パラリンピックにともなう国の文化プログラム重点実施期間である2020年度までとして、年度ごとに達成すべき目標値を設定 ※3) する。この期間には大分県内で、『第33回国民文化祭・おおいた2018』『第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会』(以下、2つを総称して『国民文化祭』と呼ぶ)、2019年度の『ラグビーワールドカップ2019日本大会』など、大型の文化スポーツ・イベントが相次ぐため、そうしたなかで実行委員会事業がどう成長していくかを示すことが重要である。なお、戦略目的1つに対して、目指すべき具体的な姿、KPIは1つとは限らず、複数の指標を設定する場合もある。

評価者は2017年6月、BEPPU PROJECTのアートプロジェクト事業班(実行委員会事業を担当)の統括担当者らと、BSC策定のためのワークショップの進め方について協議をおこなった。そのとき、スタッフのあいだから、新たなビジョンと戦略マップが十分腑に落ちていないところがある、自らがBSC素案に示された取組を実際におこなうイメージが湧かない、現場感覚と齟齬のある指標があるといった意見が出ていることがわかった。

このため、スタッフと丁寧に議論・検討していくことが不可欠と考え、全5回構成のBSCワークショップを開催し、スタッフ参加型でBSCの作成をおこなった。

そうした作業を経て9月の実行委員会においてBSC原案の報告をおこなった。さらに、その場で出た指摘を踏まえてブラッシュアップ作業を進め、2018年3月の実行委員会に、完成したBSCと、計画期間初年度となる2017年度実績の評価結果をあわせて報告し、公表をおこなったところである。※4)

3. バランス・スコアカード再構築の発展的評価としての特色

さて、今回のBSC再構築を「発展的評価」として実施したと申しあげたが、それは具体的にどういうことなのかを説明したい。

発展的評価とは、著名な評価コンサルタントであり、全米評価学会会長をはじめ評価関連の要職を歴任したマイケル・クイン・パットンが提唱した評価の考え方である。この発展的評価が国内外で注目を集めている背景には、世間に溢れる数多くの評価が、評価指標の機械的な収集と大部な評価調書の作成が自己目的化した「評価のための評価」になってしまい、せっかくの評価結果が、評価対象事業者にも資金提供者にも十分活用されていない現状がある。こうした現実への反省を踏まえて発展的評価は、評価としての厳格さは保ちつつも、事業者が事業運営・組織経営にその結果を活かせる実用重視の評価を目指す。そのために発展的評価は、大まかに整理して①複雑な現実世界への適応、②事業者に寄り添う伴走評価という2つの特色を持つ。

① 複雑な現実世界への適応

従来型の評価では、事業が終わってから初めて、計画通りの成果が出ているか否かを検証する場合が多い。しかし、現実の世界は複雑で、事業を実施しているあいだにも、周りの経済社会環境は常に変化していくため、こうしたタイプの評価では事業の改善・革新の役に立たない。このため発展的評価では、事業をめぐる変化を適切に捉え、その事実や意味合いをリアルタイムで事業者にフィードバックし、彼らのイノベーションを促進することを目指す。

② 事業者に寄り添う伴走評価

発展的評価においては、定型的な評価データの収集だけではなく、事業に生じるさまざまな変化の芽を的確かつタイムリーに把握することが求められる。そのため評価者は、事業が実施される現場に赴き、スタッフをはじめステークホルダーとチームを組んで評価をおこなう「参加型評価」を実践する。このため評価者には、伝統的な評価技法に加えて、ワークショップ運営などのファシリテーション技術が求められる。また、こうした取組にはしばしば、事業者と長期的に関係を継続することが必要になる。

評価者は今回、こうした発展的評価の考え方を十分意識して、BSC再構築作業に取り組んだところである。2016年度に作成されたビジョン、戦略マップを踏まえつつも、それらが実行委員会事業の現場でいかなる意味を持つかを、事務局スタッフが参加するワークショップで議論していった。さらに、その場での意見や気づきを評価者側で整理して、リア

ルタイムでのフィードバックを心がけ、スタッフにとって納得感のあるBSCとなることを目指した。代表理事がトップダウンでBSCを示すのではなく、スタッフ1人ひとりの意識の醸成・改革を大事にして、単にタスクを機械的に消化するための道具ではなく、スタッフにとって「活動の心得」「道しるべ」となるBSCを作ろうとした。

ただ、ここで疑問を持つ方もいるかもしれない。BSCは、多数のKPIを設定して定量的な目標管理をおこなうもので、ある意味、計画経営の権化ともいえる手法である。一方で発展的評価は、事業が置かれた状況が様変わり (develop) し、予想もしないさまざまな問題が勝手気ままに起きる (これを創発性=Emergenceと呼ぶ) なかで、事業者の意思決定を継続的かつリアルタイムで支援するものである。ならば、BSCと発展的評価は、水と油の関係なのではないか？ 結論から言えば、決してそうではない。そもそも、この事業に限らずアートプロジェクトというものは——ストレートに言えばアーティストという存在は、創発性の塊である。アートとは新たな価値を不断に創出していくプロセスであり、ある種のイノベーションといえる。このため、事前に100%を計画することは困難だし、あえて強行すれば、予定調和なありきたりの成果しか生まない。しかし一方で、アートプロジェクトには会期や予算が決められている。それらを守ったうえで、最終的に実現を図るべきビジョンが存在している。

ここで、アーティストとスタッフの関係を、小説家や漫画家と、担当編集者のそれになぞらえてみるとわかりやすいかもしれない。作家の意向に最大限寄り添い執筆を支援するのが編集者の仕事だが、その挙げ句、雑誌のめ切を破り原稿が落ちてしまっては元も子もない。作家に自由に創作してもらうためにこそ、編集部にはマネジメントが必要になるのだ。

すなわち、創発性重視の発展的評価と計画性重視のBSCとは、アートプロジェクトの戦略経営を図るうえで車の両輪といえる。すなわち、アートという創発性・革新性が鍵となる実行委員会事業を支えるBSCのシステム変更を、発展的評価を用いて支援したのが今回の取組ということになる。

4. 別府モデルの普及に向けて

こうした別府の業績評価・戦略経営支援システムがモデルとして県内や全国に広がり、どんどん活用してもらいたいと実行委員会では考えている。さらにこのモデルが、地域住民や自治体はもちろん国に対しても、文化へ投資をおこなう意義・効果を説明し、文化政策を推進するためのアドボカシー (政策提言) ツールとしても機能することを期待している。もちろん、小規模なアートプロジェクトの場合、実行委員会事業と同じスペックでBSCを導入するのは難しいだろう。しかし、文化による豊かな地域社会を創造するうえで、アートが本質的に持つ創発性と真摯に向き合う必要がある。そのためには、社会的インパクト評価が軸足を置きがちな成果 (アウトカム) の事前／事後評価にとどまらず、マネジメントのプロセスを継続的かつリアルタイムで評価してイノベーションに繋げていく必要があろう。そうした観点からは、ミッション、ビジョン (地方創生の視点)、受益者 (観客の視点)、関係者 (ステークホルダーの視点) を見据えつつ、それと並行してプロセス (マネジメント、財政の視点) の適否や課題をあわせて評価する『混浴温泉世界型BSC』のフレームワークは、アートプロジェクトの評価システムとして広く応用が利くものと考えている。

第1段階として、2018年度に改訂したBSCのさらなる改訂の要否について、事務局・評価者間で検討をおこなった。その結果として、戦略マップなどのBSCの大枠や、現在71指標を設定しているKPIそのものの変更は不要との結論に至った。現行のKPIの体系は変えずに、そのうちの14の指標（定量指標7、定性指標7）について、今年度の実行委員会事業の計画が具体化したことにもない、2019年度目標値のアップデートをおこなうにとどめた。

具体的には次の表のとおりである。

業績評価指標 2019年度 目標の改訂

No.	業績評価指標	2019年度 目標	
		改訂前	改訂後
4	大規模事業の統括が担えるリーダーの育成	1人	2人
6	スタッフが自らを成長させるための機会提供・仕組みづくり	年度初めに計画する	次年度以降に向けて具体的な内容を検討
8	各組織内における実行委員会事業の情報共有・広報活動の強化	情報共有を密にする	部会活動により、情報共有を密にする
9	部会を編成し、業務内容ごとに関係する各委員が積極的に関わる	部会設置の要否を検討	部会を設置
19	イベント時だけではなく、日常的な作業にも積極的に参加	8人	6人
21	新規営業数	3社	30社
26	チケット販売に備えた仕組みの検討	実行委員会の現実的な目標設定	チケット販売なし
40	海外の芸術文化関係者（文化機関、アーティスト、コーディネーター、要人、メディアなど）とのネットワーク構築活動	関係を継続する	既存の関係性を継続しつつ、新たな芸術文化関係者・団体との関係を作る
42	大分県内・別府市内の経済団体や企業・旅館・店舗などへの理解促進に繋がる情報提供や交流（周知活動）	継続して関係を築く	既存の関係性を継続しつつ、新たな県内企業との関係を構築する
43	自治会、通り会、NPOなどの地域組織や大学などの教育機関の理解促進につながる情報交換・交流	事業実施直前ではなく、段階的に情報提供の場を作る。4月に計画を作成し進める	事業実施直前ではなく、段階的に情報提供の場を作る
53	紹介店舗数の増加（累計）	86店舗	126店舗
54	特集記事の定期的更新を通じたコンテンツの充実（累計）	33件	15件
55	みんなの旅手帖の充実（投稿件数累計）	35件	30件
70	in BEPPU観客のうち2泊以上の宿泊客の比率（2泊以上宿泊客/総宿泊客）の増加	60%	55%

『BAM 2019』ならびに『関口 光太郎 in BEPPU』を中心とする2019年度の実行委員会事業の実績を踏まえて、BSC計画期間3年目の中間評価をおこなう。それぞれのKPIについての詳しい計画・実績対比は、本書巻末に掲載している。以下では、BSCの5つの視点に掲げる戦略目的ごとに、評価結果の概要を記していく。

1. マネジメントの視点：実行体制の確立・強化

(1) 事務局体制の強化

この項目では、情報システム・インフラ整備を通じた情報共有と業務遂行の質の安定、大規模な事業を実施できる組織体制への成長、そしてスタッフ全員が心身ともに健康に働くことを目指している。

実行委員会事業のうち特に『in BEPPU』は、『混浴温泉世界』の全3回の開催を通じて見いだした「身体性を重視すること」「量よりも体験の質を重視すること」「地域性を活かすこと」の3つの方向性を踏襲し、1組のアーティストを招聘してこれまで以上に別府にフォーカスする、エッジの効いたプロジェクトを実施するものである。このためスタッフは、新たな価値を創出しようとするアーティストのチャレンジ、イノベーションにこれまで以上に寄り添い、その実現をサポートすることが求められる。一方で、『in BEPPU』にはスケジュールや予算が決められており、それ以外の実行委員会事業や、BEPPU PROJECTが手がける他事業との調整が求められることも多い。そのために、事業の進行管理と情報共有が必要不可欠である。アートプロジェクトのマネジメントには、非定型で臨機応変な対応を求められるクリエイティブな業務が多いが、そこに投じる時間を捻出するためにも、定型化できる仕事については、マニュアル化・効率化を図ることが望ましい。

このため事務局では、前年度に導入したグループウェアを活用して、情報・スケジュールの共有をおこなった。また、事務局内に暗黙知として蓄えられてきたルールやノウハウを順次マニュアル化し、アップデートしていくこともおこなっている。

大規模な事業を実施できる組織体制へと成長を遂げるうえで、それら事業の統括が担えるリーダーの育成も重要である。そうした観点からは、実行委員会事業を担うアートプロジェクト事業班1人、クリエイティブ産業振興を担うクリエイティブ事業班1人のリーダー育成が図られた。

さらに、事業遂行のための資金確保には、助成金の申請書を作成できるスタッフの育成も重要である。こうしたスキルは全職員のうち55%が獲得済みで、前年度水準(33%)を上回り目標(50%)を達成できた。

研修については、他地域で実施された芸術祭やアートプロジェクトをスタッフが視察し、報告書にまとめて事務局内で情報共有を図った。今年度の取組を参考にしつつ、次年度は、各スタッフが自身の業務内容にふさわしい視察先を選ぶような研修制度を導入することを検討している。

スタッフの勤務管理は、前年度に導入したタイムカードでおこなっている。今年度はスタッフの配置移動や入れ替わりがあり、新たな習熟を要するなか、繁忙期を中心に超過勤務が増えた。事業の性格上、繁閑の波があるのはやむをえない面もあるが、できる限りの平準化を図るべく効果的・効率的な勤務管理を通じた勤労意欲の向上、労働環境の改善などに努めることが必要である。

(2) 実行委員会体制の強化

この項目では、実行委員会に参画する各組織へ事業内容が浸透し、事務局スタッフだけではリーチしにくい業務内容に、実行委員が関わり進めていけるようになることを目指している。

実行委員会は、前年度の反省を踏まえて、広報部会、運営部会、イベント部会の3つの部会を設置し、それぞれの実行委員の役割を明確化し、情報共有の効率化を図るとともに、委員の専門性を活かした的確な助言をもらえる体制を敷いた。

(3) 広域連携調整能力の強化

この項目では、県内他地域の行政・アート組織との強い信頼関係の構築や、全国の行政・アート組織とのネットワークおよび調整能力の向上を目指している。

県内ネットワークについては、県内の自治体やアート関係者と連絡をとり、事業への協力や調整を求めた。今年度の『関口 光太郎 in BEPPU』が従来と異なり、広く県民が参加して作品制作を手伝うタイプの作品であったため、作家自身やスタッフによるワークショップの実施会場の確保や広報物の配布などで協力してもらう機会が多かった。

(4) 外部マネジメント人材の育成・発掘

この項目では、簡易な制作業務を委託できる人材が県内に複数生まれること、制作のプロフェッショナル人材とのネットワーク構築、プロジェクトを推進できるマネジメント人材とのネットワークの構築、外国語対応が可能な企画・制作補助スタッフが複数生まれること、記録・広報のためのコンテンツを制作する人材とのネットワーク構築を目指している。こうした人材を、仕事を提供することを通じて育成していくことが重要である。

現在、制作のプロフェッショナル人材7人、プロジェクト・マネジメント人材7人、外国語対応が可能な企画・制作補助スタッフ4人、記録・広報の専門家25人とのネットワークを構築している。簡易な制作業務を委託できる県内クリエイター・アーティストは4人を目標としていた。しかし、今年度の『in BEPPU』が参加型アートであったことや、事務局が実行委員会事業以外にラグビーワールドカップ大分県開催と関連した文化事業を実施したことから、12人のアーティスト・クリエイターと協力関係を築くことができた。

(5) ボランティア組織の強化

この項目では、ボランティアが自らの活動にやりがいを感じながら参加することを目指している。

ボランティアの参加については、前年度参加者にメーリングリストや電話で連絡をとって、業務説明と参加依頼をおこなうとともに、別府市ボランティア連絡会の協力も得て募集をおこなった。別府大学や大分県立芸術文化短期大学、大分大学で『in BEPPU』の作品制作ワークショップを事前に実施したため、学生たちが、制作ボランティアおよび会期中のボランティアに参加してくれた。

しかしながら、円滑に運営するための実働ボランティア人数の確保には至らなかった。ボランティアには主婦の参加が多く、午前中はほぼ必要人数を確保できた。今後については、午後に活動できるボランティア（学生など）を確保することが課題である。

2. 財政の視点：財政基盤の確立

(1) 協賛金・助成金の獲得

この項目では、県内・全国の企業と信頼関係構築による協賛・助成の獲得や、事業に共感した個人の寄付の獲得を目指している。

協賛金については、これまで3万円の協賛枠を下限としていたところ、新たに1万円の枠を設け、新規営業件数30社という高い目標（前年度目標4件）を掲げ、最終的には63社に案内をおこなった。新規営業は必ずしも実績に繋がらなかったが、実行委員会事業を広く認知してもらう機会にはなったと考えられるので、今後ともアプローチを続けることが重要である。一方、メセナ活動に興味を持つ全国企業からの協賛金獲得については、目標6社に対して実績は1社にとどまった。結果的に、協賛金・助成金総額は目標の800万円に対して実績は567万円となった。

(2) チケット・グッズ販売力の強化

この項目では、基礎的なチケット販売数の確保や、チケットを買いたいと思える仕組みづくり、グッズの収益源化を目指すしている。

今年度は、『in BEPPU』も『Sky Mirror』再公開も無料鑑賞としたため、チケット販売はなかった。

グッズについては、『関口 光太郎 in BEPPU』のTシャツ、手ぬぐい、サコッシュ、クッキーを販売した。予算上の目標設定は60万円であったが、実績は53万円にとどまっている。

(3) 負担金など基礎的財源の獲得

この項目では、適切な予算の確保を目指している。

事業収支をみると、支出面は当初予算の計画内に収まった。収入面は協賛金・助成金収入が当初予定の額には届かなかったが、ほかの収入でカバーできたため滞りなく事業を遂行することができた。

3. ステークホルダーの視点：創造都市プラットフォームの造成

(1) 地域内の創造的人材の拡大

この項目では、アーティストや愛好家だけではなく、一般市民も文化活動に携わるようになることを目指している。

事務局では、『BAM』に登録するプログラム企画者への情報提供、自発的交流の場として『ベップ・アート・マンスをつくろう会』を定期的に開催しており、今年度は13回（前年15回、目標12回）の開催をおこない、参加率は29%（前年26%、目標36%）となった。参加率は目標をやや下回ったが、『つくろう会』以外に、事務局が、企画者からの個別相談に直接対応したケースも多い。例えば、集客に不安があったり、会場選定に悩む企画者に、ほかのプログラムとの共

同開催を推奨するなどの取組をおこなった。『つくろう会』や個別対応以外に、どのような体系的サポートが可能か検討する必要がある。

以上のような活動を踏まえて、プログラム企画者側の『BAM』という取組への満足度（「大変よい」「よい」の合計）100%、登録してよかったかの満足度93%、次回も『BAM』に登録したいと答えたプログラム企画者の比率96%はいずれも目標（90%超）を達成した。

また、これまで『BAM』に登録した団体のうち今回継続参加した団体は59団体（前年59団体、目標54団体）、今回新規に登録した団体は39団体（前年36団体、目標53団体）となっている。

なお、若手アーティストの滞在制作の場である清島アパートは、100%の入居率となっている。

（2）文化芸術の担い手の育成・支援

この項目では、若手アーティストの発表の場を作ることや、県内外で広域的にアートマネジメント人材が成長することを目指している。

『BAM』では、『清島アパート』のアーティストによるオープンスタジオや中心市街地の空き店舗での展示などが実施されたほか、県内外のアーティストや大学生による展覧会も開催された。毎年この時期に展覧会を実施する作家もあり、若手アーティストの発表の場として機能している。

また、福岡の大学よりインターンシップ生を受け入れ、主に『in BEPPU』関連業務に従事してもらった。

（3）文化芸術団体との連携

この項目では、県内の既存文化芸術団体・施設との協力体制の構築を目指している。

前年度は具体的な取組がなかったが、今年度は『in BEPPU』に関連して、大分県立美術館や大分市美術館などでワークショップを開催し、県内文化芸術団体との連携・協力をおこなうことができた。

（4）海外機関との連携

この項目では、海外関係者との交流が進み、別府が日本におけるアートの先進地と評価されることを目指している。

今年度は『in BEPPU』に、ニューヨーク近代美術館のInternational Council名誉会員、イギリスサーペンタイン・ギャラリー役員、テートギャラリーパトロンなど、アート業界で大きな影響をもつ方々の視察を受け入れた。また、別府市がラグビーワールドカップ2019でウェールズのキャンプ地だったこともあり、ウェールズ政府と繋がりができ、会期中にウェールズのポップアップショップをBEPPU PROJECTが期間限定でオープンした。会期終了後も継続してウェールズのアーツカウンシルなどと繋がりを作り、BEPPU PROJECTが主催するアーティスト・イン・レジデンス事業『KASHIMA 2019 BEPPU ARTIST IN RESIDENCE』に、同地のアーティストを1名招聘した。

（5）行政機関・企業・団体との連携

この項目では、自治体における文化芸術の必要性が向上し果たす役割が担当課以外にも拡大されること、企業における文化芸術の価値が向上し具体的な動きが起こること、各種団体における文化芸術の理解が進みそれぞれが創造的な連携をおこなう下地が作られることを目指している。

文化芸術担当課以外の行政機関との連携については、『Sky Mirror』再公開の会場が別府公園であることから別府市の公園緑地課との連携が図られたほか、BEPPU PROJECTが別府市の産業振興事業4Biに関連して、市の秘書広報課、産業政策課、施設整備課と連携をおこなった。別府市以外では、引き続き大分県商工観光労働部（クリエイティブ産業振興事業）、日田市農林振興部林業振興課（林業振興事業）と連携するとともに、今年度は、ラグビーワールドカップ関連事業で県企画振興部とも連携をおこなった。さらに国東半島での事業に関連して、国東市活力創生課、豊後高田市教育総務課、姫島村水産・観光商工課とも関係が生まれた。

企業との連携については、前年度から引き続き、別府市旅館ホテル組合連合会や大分経済同友会での定例会で広報をおこなった。今年度は、新たな関係構築として、新規の協賛依頼を大幅に増やし、多くの県内企業に事業説明をおこなった。別府市4Bi事業や大分県クリエイティブプラットフォーム構築事業を通じて、県内企業との繋がりも増えている。さらに、JRおおいたシティからの依頼で2019年7～8月にかけて、アミュプラザおおいたで『アミュプラザおおいた芸術祭』を実施した。

各種団体との関係強化については、別府市内の全世帯へ『in BEPPU』のチラシを回覧した。特に今年度は、地域の児童館や、県内の大学でアーティストによるワークショップを実施するなど、広く体験の場を提供することができた。

このように各方面に向けて、作品制作に際しての協力関係の構築や、事業への理解の深化に努めている。

(6) 情報発信に関わるステークホルダーとの連携

この項目では、メディアなど情報発信に関わる人材との付き合いが日常的にでき、『in BEPPU』などを広報する際にしっかりと報道してもらえる体制が整っていることを目指している。

こうしたメディアなどとの連携を進めるため、前年度に設立した広報班が中心となり、会期中以外の事業についても積極的にメディアへの情報提供をおこない、関係作りに努めたが、メディア掲載件数は138件（前年258件、目標180件）にとどまった。国民文化祭のリーディング事業として世界的彫刻家のカプーアを招聘した前年度を下回ることは織り込んで2017年度実績並の目標設定としたが、実績はそれに達しなかった。今回は特に県外メディアの取材が少なかったといえる。大分から全国に発信する情報がラグビーに偏らざるをえなかったことは考えられるが、次年度に向けた広報戦略の練り直しが求められよう。

4. 観客の視点：文化芸術や地域資源を活用した新たな魅力の創出

(1) 市民にとっても間口の広い事業の充実・強化

この項目では、『BAM』が、鑑賞者にとって参加しやすく、体験してよかったと思える事業に成長することを目指している。

『BAM』のプログラム企画者の設定した観客数目標の達成率は99%となり、おおむね予定どおりの集客ができたものと判断される。観客満足度（「大変よい」「よい」の合計）も93%（前年93%、目標95%前後）となり、おおむね目標並といえる。前回指摘した、「大変よい」の割合が2016年度以降に低下した点については、徐々に持ち直し傾向（2016年72%→2017年56%→2018年59%→2019年63%）にある。

今年度は多くの市民に制作段階で関わってもらい、それらを統合して1つの作品を作る構想だったため、5月末よりアーティストの関口 光太郎が度々来県し、県内各地でワークショップをおこなった。会期前は県内の美術館、企業、児童館、小学校、お祭り会場などで24回のワークショップを実施し、合計1,023名の県民が参加した。また、広報の一環として7月25日から8月4日にかけてアミュプラザおおいたにてワークショップをおこない、2,005名の県民が参加した。会期中は展覧会会場にワークショップブースを設け、作品制作に関わる機会を作るとともに、県内4市（別府市、大分市、臼杵市、中津市）にてBEPPU PROJECT主催で出張ワークショップをおこなった。会期前、会期中を含め、合計2,829名（アミュプラザおおいたのワークショップ2,005名は除く）の県民が作品制作に参加した。

(2) 国際的に発信力の高い事業の創出

この項目では、『in BEPPU』が、国際的に評価の高いアートプロジェクトとして位置づけられることを目指している。観客数目標の達成率は132%となり、観客満足度（「大変よい」「よい」の合計）も99%（前年95%、目標80%前後）となった。今年度のこうした成果を踏まえ、事務局は、2020年度の『in BEPPU』に招聘するアーティストの調査・交渉も順次進めているところである。

(3) 事業や地域情報を発信するメディアの開発・発信

この項目では、『旅手帖 beppu』が、別府における最も充実したポータルサイトとして認知されるようになるとともに、『BAM』、『in BEPPU』などの情報が全国に発信されることを目指している。

『旅手帖 beppu』については、芸術祭事業等の業務繁忙により、特集記事の定期的更新など新規コンテンツの充実に手が回らず、閲覧数（ビュー数）は110,123件（2020年2月16日時点）／年（前年112,000件、目標111,000件）と目標に近い数値となった。今後、コンテンツの充実を図るとともに、ポータルサイトの認知をより高めていく必要がある。

『BAM』、『in BEPPU』のメディア露出を広告換算した結果は88,952,868円となり、前年度実績（580,417,918円）はもちろん、目標（121,000,000円）を下回った。

5. 地方創生の視点：別府における諸課題の解決

(1) 地域のまちづくり人材の育成

この項目では、文化活動をおこなう人材が主体的にまちづくりに参画することを目指している。

『BAM』観客のうち今回は企画者側で参加したいと思った人は、全体の41%（前年42%、目標40%前後）となった。また、プログラム企画者に「『BAM』登録者のうち、最近1年間で地域活動に参画したか否か」を尋ねたところ、86%（前年82%）という高い水準になった。

2018年12月からは、別府市内で『BAM』の期間外に開催される文化芸術イベントの情報配信サイト『ベップ・アートナビ』※5）が稼働を始めた。年間を通じて別府でさまざまな地域・文化活動が繰り広げられ、地域のまちづくり人材が

成長することを目的とするが、イベント情報の年間掲載件数は3件と低水準(前年度16件)にとどまった。サイトの周知を努めるとともに、利用者の意見を聞くなど利便性の向上を図ることが期待される。

(2) 別府の新たな魅力創出・発信

この項目では、『BAM』が別府の秋の恒例行事として位置づけられること、『in BEPPU』の定着により別府市がエッジの効いた質の高いアート体験ができる町として認知が広がることを目指している。

『BAM』の観客のリピーター率は53%(前年55%、目標50%前後)、プログラム企画者のリピーター率は58%(前年50%、目標50%前後)となり、目標を達成した。

また、2016年度からスタートした『in BEPPU』は今回で4回目となるが、今回の来場者のうち過去3回のいずれかにも参加したというリピーター率は33%となり、目標(30%)を達成した。『in BEPPU』が引き続き、別府の新たな魅力として定着していくことが期待される。

(3) 集客交流人口の多様化

この項目では、従来の中高年男性客だけではなく、温泉を第一の目的としない観光客が増加することを目指している。

『in BEPPU』に来場した女性観客の比率は72%(前年62%、目標70%前後)であったが、30代以下の観客は30%(前年42%、目標70%前後)となり、目標に比べて低い水準となった。1つには、会場であるトキハ別府店には大衆演劇場が併設されており、そこを訪れた中高年齢層が『in BEPPU』にも立ち寄ったことが考えられる。また、実際の来場者としては、親に連れられた小学生以下の子どもも多かったが、この層がアンケートに答えていない点も指摘できる。事実、来場者アンケートで10代以下の回答者は6%なのに対し、ボランティアによる目視調査では中学生以下が17%を占めた。ただ、いずれにしても若い世代の来場は新たなファン層を開拓するうえで重要な指標で、引き続き今後の推移を注視すべきである。

また、「別府は温泉観光地だけではなくアートの町でもある」というイメージを持っているかという設問については、『in BEPPU』来場者の64%(前年63%、目標72%)、『BAM』来場者の71%(前年74%、目標68%)が、別府をアートの町として認知していることがわかった。そのイメージを抱いた時期を質問したところ、『in BEPPU』『BAM』ともにBEPPU PROJECTが創設された2005年以降が圧倒的に多くを占めた。さらに細かくみていくと、2017年度は「2010～14年」という回答が最多であったが、今回は2018年度同様に「2015年以降」が最多になった。2018年の国民文化祭などを契機に別府の芸術祭初体験者が増えたことから、認知時期が後ろ倒しになったと考えられる。

ただし、このアンケートは実行委員会事業を体験した来場者が対象なので、数字が高く出がちな点には留意すべきである。本来は、無作為抽出の市民アンケートや、観光客全般を対象としたアンケートが望ましいが、現時点では実施が困難なため、来場者アンケートで代替したものである。

しかしここで、アンケートの分析に工夫を凝らす。『in BEPPU』来場者アンケートに回答した628人のうち、『関口 光太郎 in BEPPU』の存在を知らず偶然訪れたと答えた人が125人いる。トキハ別府店に買物・飲食・大衆演劇鑑賞などに訪れた人々が想定されよう。彼らのみを対象に、別府がアートの町というイメージを持つ人の比率を算出すると51%という結果になった。標本数が少ないという問題はあがあるが、2017年度、2018年度の数値(24%)より格段に増加していることがわかる。

(4) 他地域との連携による滞留時間の増加

この項目では、アートとともに地域体験を楽しむ、他地域にも足をのばすことで2泊以上の滞在を目指している。『in BEPPU』観客のうち、2泊以上の宿泊客の比率(2泊以上宿泊客/総宿泊客)をみると、54%(前年39%、目標55%)となり、おおむね目標を達成した。

なお、KPIに設定はしていないが、来場者に占める宿泊客数の比率(総宿泊客/総来場者)をみると30%であり、前年(58%)に比べて低下した。県外客比率の減少(前年45%→今年20%)が主因とみられる。これは、『関口 光太郎 in BEPPU』が県民総参加を目指したことを踏まえれば、狙い通りの結果といえる。ただし百貨店5階という会場が、店のファサードに巨大な広告を表示はしたものの、観光目的に訪れた県外客にはわかりづらかった側面もあろう。カルチャーツーリズム(文化観光)を推進する見地からは、今後の会場選定や情報発信のあり方に工夫をすべきである。

(5) 創造的人材の移住促進

この項目では、クリエイターなどのニーズに合わせた情報発信を通じて、移住者が増加することを目指している。実行委員会としての移住促進事業やBEPPU PROJECTの他の事業を通じて、2016年度以降に別府市内に移住・定住した人数は累計10人となり、おおむね目標(12人)をクリアした。

6. 教訓と提言

今回の報告書では「第9章 まとめと課題」において、事務局が自ら、今後の学び・改善に活かすべき「教訓と提言」を省察しており、こうした自己評価スキルの向上は大変望ましいことである。そこで、以下では第9章で指摘された以外の教訓・提言を簡潔に記したい。

(1) 『関口 光太郎 in BEPPU』と『Sky Mirror』再公開の相乗効果

『関口 光太郎 in BEPPU』が若手アーティストによる市民参加型の作品であったのに対して、『Sky Mirror』再公開は、ラグビーワールドカップで国内外から別府を訪れる観戦客に、世界的彫刻家カプーアの代表作を体験してもらうというカルチャーツーリズム(文化観光)を強く意識した作品であった。

来場者アンケートで県外客の割合をみると、前者の20%に対して、後者は37%であった。鑑賞した外国人の人数(会場スタッフによる目視確認)は、前者の427人に対して、後者は3,171人となった。後者の会場である別府公園の東門が、『ラグビーワールドカップ日本大会』の会場までのバス降車場となっていたことから、ラグビー開催日を中心に外国人の姿が数多く見られた。

こうした点を踏まえるに、2つのプロジェクトはおおむね所期の目的に沿った集客を実現したといえる。とはいえ、一方を鑑賞した観客が関心を抱き、もう片方の作品まで足をのぼしてもらうという相乗効果の発揮も重要である。両会場での来場者アンケートによれば、もう1つの作品を「鑑賞した」「鑑賞する予定」と答えた割合は5割(『in BEPPU』会場49%、『Sky Mirror』会場54%)であった。それぞれの会場で、もう1つの作品をしっかりと広報する仕組みが必要であったと認められる。ただし、別府公園という野外での広報は難しいので、『in BEPPU』会場の百貨店フロアでより『Sky Mirror』を広報すべきであったと思う。

(2) 次年度の『in BEPPU』に向けて

前年度より『in BEPPU』の来場者アンケートに「今後の『in BEPPU』でどのようなアーティストや表現ジャンル、場所を期待するか」という設問を加えている。

『関口 光太郎 in BEPPU』の来場者アンケートでは、アーティストは「次代を担う新進アーティスト」で、場所は「市街地」という回答が最も多かった。これに対して、前年度の『アニッシュ・カプーア IN 別府』と今年度の『Sky Mirror』再公開では、アーティストは「国際的に活躍する著名なアーティスト」、場所は「自然環境」が最多であった。要するに『in BEPPU』鑑賞直後にアンケートしているため、回答者の意見がそのとき体験した作品に引きずられる傾向があるようだ。ただこれは、『in BEPPU』の観客評価が高いことの証左でもある。作品体験の満足度が低ければ、来場者の意見はむしろ逆方向に振れるだろう。したがって現時点で、アンケート結果に基づき『in BEPPU』のアーティストや場所の方向性を決め打ちする提言はできない。また、アートの独創性・多様性を考えれば、そもそもそうした単純な提言自体がなじまないといえよう。ただ、評価者として欲を言えば、1人の作家が、市街地と自然環境で同時に作品を展開したとき、どのような回答が寄せられるかには関心がある。

表現ジャンルは、いずれのケースでも「美術」という回答が最も多かった。ただ、おそらく『混浴温泉世界』の記憶も与ってか、音楽やメディア芸術という回答も多い。こうした点も考慮すれば、美術を軸に据えつつ、音楽や映像も交えた多彩な表現をおこなえる作家や作品が望まれているといえるかもしれない。

※1) 発展的評価の詳細については平成30年度アーツ・コンソーシアム大分構築計画実績報告書「文化と評価ハンドブック」(<http://www.pref.oita.jp/soshiki/10940/artconsortium1.html>) 第5章を参照。

※2) 2016年度の戦略マップについては『別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」実行委員会 平成28年度 事業報告書』(<http://www.bepuproject.com/press>) 第8章を参照。

※3) 実行委員会の場では2020年度までのBSCを協議したが、中長期の事業内容・予算は明確でないため内部管理用の目標とし、事業報告書では当該年度の目標・実績と、次年度の目標を公表。

※4) 『混浴温泉世界実行委員会 平成29年度 事業報告書』(<http://www.bepuproject.com/press>) 第7章を参照。

※5) 『ベップ・アートナビ』は『BAM』のウェブサイト上に開設されている。『BAM』のプログラム企画者のみ、会期後約1年間、会期外のイベント情報を登録できる(毎年更新)。

産

創造的人材が出会い地域に化学反応を起こすことで新たな産業が創出



イメージが良くなった街に受信力・発信力の高い人材が集まりやすい

場

アートが持つ国際言語＝感性価値によって都市のイメージ向上・発信

現

背景

別府モデルを全国に広げる

- ・記録集や報告書などで発信
- ・自治体や関係者からの発信

地方創生の成功モデルとして全国に発信

別府モデルを大分県全域に広げる

国文祭に合わせ仕組みを県下全域に移植

「アート × 地域」を持続的に推進する組織造成

ビジョン：「観光地型・文化芸術創造都市としての別府」

- ・空き家を整備しクリエイターのニーズに合わせた移住促進を図る
- ・様々な活動を通して地域経済の活性化や新規産業創出に寄与する

創造的人材の移住促進

事業や地域情報を発信するメディアの開発・発信

情報発信に関わる ステークホルダーとの連携

負担金など基礎的財源の獲得

実行委員会体制の強化

添付資料2

温泉温泉世界実行委員会 バランス・スコアカード(Balanced Scorecard—BSC)

※混浴温泉世界実行委員会のBSCであるため、同委員会主催事業を中心に記載し、事務局を務めるNPO法人 BEPPU PROJECTが関わるその他事業については同委員会事業との連携の観点から記載する。

[illegible]

添付資料2

瀬陽温泉世界実行委員会 バランス・スコアカード(Balanced Scorecard=BS-C)

※ 瀬陽温泉世界実行委員会のBSCであるため、同委員会主催事業を中心に記載し、事務局を務めるNPO法人 BEPPU PROJECTに関わるその他事業については同委員会事業との連携の観点から記載する。

観点	戦略目的	目指すべき具体的な姿	№	業績評価指標	成長率 ポイント	定量的 評価	指標の性 格	単位	現状 (特記なしの場合 2016年度現在)	2018年度 目標	2018年度 実績	2019年度 目標	2019年度 実績	2020年度 目標	備考
財政 の 確 立 : 財 政 基 盤 の 確 立	協賛金・助成金の獲得	県内企業と連携関係が構築され、協賛・助成を得ることができる	20	10万円以上の大口協賛・助成金の企業の増加 (協賛・助成金合計額)	E	定量	インプット	万円	427	750	1062	800	567	800	
			21	新協賛案件数	A	定量	インプット	社	0	4	1	30	63	3	
		全国企業と連携関係が構築され、協賛・助成を得ることができる	22	メセナ活動に興味を持つ企業への協賛・助成金寄附活動(目標=1社あたり50万円以上)(実績数)	E	定量	インプット	社	3	7	4 (SOMPOアート・ファンド、アサヒグループ芸術文化財団、花王芸術・科学財団、全国税理士会連合会)	6	3 (SOMPOアート・ファンド)	7	
			23	寄付窓口の開設とインセンティブの造成、継続的な運営を通じた寄付金の獲得	B	定量	インプット	% (前年比)	なし	必要性も兼ねて検討	他実施に比べられ、販売を優先したため、寄付窓口の開設がおこなえなかった。	必要性も兼ねて検討	寄付窓口の開設をおこなわなかった。必要性を改めて今後検討したい。 また、「関口 光太郎」のBS-Cでは、市民参加のプロジェクトであったことと作品のテーマの1つが「薬師加来」だったことから、市民がワークショップで賛同を得て、会場内に設置した。その結果、作品を見て感動を受けた来場者が賛同し、会場にお金を払うことが多く、継続的に5,000円ほどとなった。集まったお金は事業終了後、NPO法人別府八達温泉道に寄付をしたが、今後の窓口開設を検討する上での参考になった。	必要性も兼ねて検討	
		チケット販売が行われる場合に基礎的なチケット販売数が増える	24	実行委員会事務局内や関係団体での販売力強化	C	定性	インプット	-	チケット販売なし	実行委員会の現実的な目標設定	実行委員組織の委託販売数のうち83%が販売された。今後より一層、販売力強化につとめる。	チケット販売なし	チケット販売なし	実行委員会の現実的な目標設定	
	チケット・グッズ販売力の強化	グッズが収益源になる	25	グッズ販売額	E	定量	インプット	万円	グッズ販売なし	300	180	60	53	6	
		チケットを買いだいたいと思える仕組みが生まれる	26	チケット販売に導いた仕組みの検討	E	定性	インプット	-	チケット販売なし	導入	県内小中学生の無料鑑賞券の配布および学校生協での販売や各種プレイガイド(ローソンチケット・セブンチケット・d払い・プレイパス)、ミュージム(楽園アート・アート・アート)の導入をおこなった。無料鑑賞券に関しては、使用率0.4%ではあったが、これまで実現しなかった方がほとんどのように見られたためある一定の改善はあったと考ええる。また、各種プレイガイドでは372枚の売上があった。販売窓口を広げる意味で今後とも検討したい。	チケット販売なし	チケット販売なし	導入	
	負債金など長期的計画の確保	適切な予算の確保	27	2020年までの適切な予算の確保	E	定性	インプット	-	予算確保	予算確保	チケット収入が当初予定の目標額には届かなかったが、ほかの収入でカバーできたため赤字はなくなり事業を進行することができた。	予算確保	情報発信事業および定住促進事業の予算を削っての実施であったが、芸術振興事業に関しては赤字はなくなり事業を進行することができた。	予算確保	

添付資料2

温泉温泉世界実行委員会 バランス・スコアカード(Balanced Scorecard—BSC)

※混浴温泉世界実行委員会のBSCであるため、同委員会主催事業を中心に記載し、事務局を務めるNPO法人 BEPPU PROJECTが関わるその他事業については同委員会事業との連携の観点から記載する。

視点	戦略目的	目標すべき具体的な内容	No.	実施評価指標	達成率 （定数） （注） （単位）	指標の性質	現状 （特記なしの場合 2016年度現在）	2018年度 目標	2018年度 実績	2019年度 目標	2019年度 実績	2020年度 目標	備考
地域内 の芸術的・ 人的人材 の拡大	アーティストや愛好家だけでなく、一般市民も文化活動に関わる	28 清宮アパートの継続運営による若手アーティストの支援（清宮アパート入居率）	D	定数 アフタクトム	%（構成比）	100	113	113%	100	100	100	100	
		29 ベップ・アート・マンズの登録プログラムの質の向上に向けた、プログラム企画者へのアドバイスの効果的・体系的な提供	B	定性 アフタクトム	-	なし	活用「ブラッシュアップ」	会場提供の情報提供や企画者への個別に体系的なアドバイスをおこなうほか、企画者同士の情報交換の場「ベップ・アート・マンズ交流会」を継続的に実施し、プログラム質の向上につなげた。今後さらなる質の向上を目指し、効果的・体系的な仕組みを早急にご計画する。	活用「ブラッシュアップ」	会場の情報提供、企画者への具体的なアドバイスのほか、プログラムの共同開催の案内などおこなっている両当事者がつながるよう意図した。	活用「ブラッシュアップ」		
		30 運営費育成に向けた、ベップ・アート・マンズと働く方々の継続実施	D	定数 アフタクトム	人	12	12	15	12	13	12		
		31 運営費育成に向けた、ベップ・アート・マンズをつくる方への参加者の向上について学ぶ参加回数（総回日数）	B	定数 直接アフタクトム	%（構成比）	27	33	26	36	29	40		
		32 プログラム企画者による、ベップ・アート・マンズへの取り組みへの満足度	D	定数 直接アフタクトム	%（構成比）	98	90	98	90	100	90		
		33 プログラム企画者による、ベップ・アート・マンズに登録してよかったとの満足度	D	定数 直接アフタクトム	%（構成比）	93	90	95	90	93	90		
		34 次回ベップ・アート・マンズに登録したいと思えるプログラムの企画者の比率	D	定数 直接アフタクトム	%（構成比）	92	90	94	90	96	90		
		35 サービスや業務の質の向上によるベップ・アート・マンズの登録参加者の増加（過去1年参加したことがある団体数のうち、今年にベップ・アート・マンズに参加した団体数）	B	定数 直接アフタクトム	団体	45	51	59	54	59	60		
		36 参加したいと思うような営業活動によるベップ・アート・マンズ新規登録者の増加（新規登録団体数）	B	定数 直接アフタクトム	団体	40	48	36	53	39	58		
		文化芸術 の創出 の育成・実現	都市アーティストの発表の場をつくる	37 都市アーティストが発表する企画の実施	B	定性 直接アフタクトム	-	KASHIMACにて一時的に海外都市アーティストの展示スペースを確保し、また一部でその場で制作の機会、発表の場を提供する。	国内・海外都市アーティストの展示スペースはKASHIMACにて一時的に確保し、また一部でその場で制作の機会、発表の場を提供する。	国際展でもあるBEPPU PROJECT主催事業KASHIMACにてアーティストユニットmethod、フランスよりグラフィティを描くという展示を実施おこなった。	企画の実施		企画の実施
38 県内外で広域性にアートマネジメント人材が成長する	B			定数 直接アフタクトム	人	アートマネジメント認定入門講座の受け入れを検討	アートマネジメント認定入門講座を開催する。また、県内各地の大学・専門学校・職業訓練校との連携を図り、学生・教員・職員などの受け入れを検討	大分県主催のアートマネジメント講座実施の開催する。また、県内各地の大学・専門学校・職業訓練校との連携を図り、学生・教員・職員などの受け入れを検討	育成機会を継続して提供する		育成機会を継続して提供する		
39 県内の既存芸術文化施設・団体の協働体制が構築される	A			定性 アフタクトム	-	さらに幅広い文化施設との関係を作る	今年度はおこなうことができなかった。次年度以降復活を強化したい。	県内文化芸術団体や文化施設との関係を築く	「関口太郎館」をBEPPUの関連プロジェクトとして、大分県立美術館や大分市美術館などと連携を強化することになった。	関係を継続する			
40 海外外関係者と交流が深まり、県民が日本に誇りと愛着を持ち、海外外関係者と交流が深まる	B			定性 アフタクトム	-	海外外関係者と交流が深まり、県民が日本に誇りと愛着を持ち、海外外関係者と交流が深まる	海外外関係者と交流が深まり、県民が日本に誇りと愛着を持ち、海外外関係者と交流が深まる	海外外関係者と交流が深まり、県民が日本に誇りと愛着を持ち、海外外関係者と交流が深まる	海外外関係者と交流が深まり、県民が日本に誇りと愛着を持ち、海外外関係者と交流が深まる	海外外関係者と交流が深まり、県民が日本に誇りと愛着を持ち、海外外関係者と交流が深まる	海外外関係者と交流が深まり、県民が日本に誇りと愛着を持ち、海外外関係者と交流が深まる		
41 自治体における文化芸術の重要性が向上し、果たす役割が目覚ましい以外に拡大される	A			定数 アフタクトム	-	大分県、県民などにより芸術文化に関する意識が高まり、果たす役割が目覚ましい以外に拡大される	大分県、県民などにより芸術文化に関する意識が高まり、果たす役割が目覚ましい以外に拡大される	大分県、県民などにより芸術文化に関する意識が高まり、果たす役割が目覚ましい以外に拡大される	大分県、県民などにより芸術文化に関する意識が高まり、果たす役割が目覚ましい以外に拡大される	大分県、県民などにより芸術文化に関する意識が高まり、果たす役割が目覚ましい以外に拡大される	大分県、県民などにより芸術文化に関する意識が高まり、果たす役割が目覚ましい以外に拡大される		
42 行政機関・企業・団体間の連携	E			定性 アフタクトム	-	大分県、県民などにより芸術文化に関する意識が高まり、果たす役割が目覚ましい以外に拡大される	大分県、県民などにより芸術文化に関する意識が高まり、果たす役割が目覚ましい以外に拡大される	大分県、県民などにより芸術文化に関する意識が高まり、果たす役割が目覚ましい以外に拡大される	大分県、県民などにより芸術文化に関する意識が高まり、果たす役割が目覚ましい以外に拡大される	大分県、県民などにより芸術文化に関する意識が高まり、果たす役割が目覚ましい以外に拡大される	大分県、県民などにより芸術文化に関する意識が高まり、果たす役割が目覚ましい以外に拡大される		
43 各種団体における文化芸術の理解が進み、それぞれの創造的な発展を行う下地がつけられる	B			定性 アフタクトム	-	大分県、県民などにより芸術文化に関する意識が高まり、果たす役割が目覚ましい以外に拡大される	大分県、県民などにより芸術文化に関する意識が高まり、果たす役割が目覚ましい以外に拡大される	大分県、県民などにより芸術文化に関する意識が高まり、果たす役割が目覚ましい以外に拡大される	大分県、県民などにより芸術文化に関する意識が高まり、果たす役割が目覚ましい以外に拡大される	大分県、県民などにより芸術文化に関する意識が高まり、果たす役割が目覚ましい以外に拡大される	大分県、県民などにより芸術文化に関する意識が高まり、果たす役割が目覚ましい以外に拡大される		
44 メディアなど情報発信に関わる人財の育成・拡充	A			定性 アフタクトム	-	大分県、県民などにより芸術文化に関する意識が高まり、果たす役割が目覚ましい以外に拡大される	大分県、県民などにより芸術文化に関する意識が高まり、果たす役割が目覚ましい以外に拡大される	大分県、県民などにより芸術文化に関する意識が高まり、果たす役割が目覚ましい以外に拡大される	大分県、県民などにより芸術文化に関する意識が高まり、果たす役割が目覚ましい以外に拡大される	大分県、県民などにより芸術文化に関する意識が高まり、果たす役割が目覚ましい以外に拡大される	大分県、県民などにより芸術文化に関する意識が高まり、果たす役割が目覚ましい以外に拡大される		
45 メディア掲載件数の増加	E			定数 アフタクトム	件	111	230	258	180	138	230		

添付資料2

鳥取県国際芸術実践委員会 バランス・スコアカード(Balanced Scorecard-BSIC)

※ 国際芸術実践世界実行委員会のBSCであるため、同委員会主催事業を中心に記載し、事務局を兼ねるNPO法人 BEPPU PROJECTに関わるその他の事業については同委員会事業との連携の観点から記載する。

観点	戦略目的	目指すべき具体的な成果	№	業績評価指標	成長率/定性的評価	定量的指標の単位	現状(前年度/場合2016年度現在)	2018年度 目標	2018年度 実績	2019年度 目標	2019年度 実績	2020年度 目標	備考
観客の満足	市民にとっての関口の広い事業づく、体験してよかったと思える事業に成長するの充実、強化		46	in BEPPUに市民が関わることでできる範囲の拡大	B	定性	直接アクトカム	-	市民参加はボランティアや学生など限定されたものが、会場となった市役所職員の生活協力などの大きな成果もあった。	市内の小学生に無料鑑賞券を配布し576枚の使用があった。全配布枚数に対して、使用枚数が0.4%ではあったがその数にチケット購入した大人が同席していた。従来会場しなかった方が数人のように感じられ、市民が関わるきっかけになったのではないかと考えている。	市民の関わりを、拡大	市民の関わりを、拡大	市民の関わりを、拡大
			47	ベップ・アート・マンズの魅力向上を目指した、in BEPPU以外の見玉プログラムの造成(年間の該当プログラム件数)	D	定量	アクトプログラム	件	1	1	1	1	
			48	ベップ・アート・マンズ観客満足度(聴くin BEPPU)	D	定量	直接アクトカム	% (満足度)	97	95前後	93	95前後	
			49	プログラム企画者の設定した観客数目標の達成(in BEPPUを除くベップ・アート・マンズの観客数目標達成率)	D	定量	直接アクトカム	% (達成率)	100	100	100	99	100
			50	注目されるアーティストもin BEPPUに招くための早期の募集・交渉の取組(フェスティバル)の程度を高めるための予備的調査を含む)	A	定性	アクトプログラム	-	国際芸術実践世界の実践in BEPPUへの見直しに開始	次年度以降の招来アーティストとの交渉	次年度以降の招来アーティストとの交渉	次年度以降の招来アーティストとの交渉	
文化芸術や地域資源を活用した新たな魅力の創出	国際的に発信力のある事業の創出	in BEPPUが、国際的に評価の高いアートプロジェクトとして位置づけられる	51	in BEPPU観客満足度	A	定量	直接アクトカム	% (満足度)	73	80	95	80	99
			52	in BEPPU観客数目標達成率	A	定量	直接アクトカム	% (達成率)	75	100	137	100	132
			53	紹介店舗数の増加(累計)	D	定量	アクトプログラム	店舗	86	126	126	126	126
			54	特集記事の定期的更新を通じたコンテンツの充実(累計)	B	定量	アクトプログラム	件	1	5	5	15	5
			55	みんなの熊手船の充実(設備件数累計)	B	定量	アクトプログラム	件	4	14	14	30	14
事業や地域情報発信するメディアの開発・発信	ベップ・アート・マンズ、in BEPPUの観客者によって熊手船Beppuが、別荘における最も充実したポータルサイトとして認知されるようになる		56	熊手船Beppuの多言語化(熊手船Beppuの実装化率)	A	定量	アクトプログラム	% (達成率)	0	50	50	50	50
			57	認知熊手船の充実および活用	A	定性	アクトプログラム	-	事務局が運営	2020年の外部運営委託を目標に連携先を話し相談する	次年度早々に他団体へ相談をはじめ	2020年の外部運営委託を目標に連携先を話し相談する	適切な委託先の検討をおこなっている。またこのWebシステムごと委託をするのが適切なのか、もしくは掲載されているコンテンツのみ提供するのが適切なのかなど、このWebサイトもしくはそこに掲載されている情報のより良い活用も、あわせて検討している。
			58	熊手船Beppuユーザー数の増加	E	定量	直接アクトカム	千円/年	72	100	112	111	110
			59	メディア露出広告掲載合計額の増加	E	定量	直接アクトカム	百万円	85	150	580	121	88
			60	ベップ・アート・マンズ、in BEPPUなどの情報発信に活用されている	E	定量	直接アクトカム	百万円	85	150	580	121	88

添付資料2

湯涌温泉世界実行委員会 バランス・スコアカード(Balanced Scorecard-BSC)

※湯涌温泉世界実行委員会のBSCであるため、同委員会主催事業を中心に記載し、事務局を兼ねるNPO法人 BEPPU PROJECTに関わるその他事業については同委員会事業との連携の観点から記載する。

観点	観測項目	目指すべき具体的な成果	№	業績評価指標	成長率 /定 性評価	指標の 単位	現状 (前年度・場合 2016年度現在)	2018年度 目標	2018年度 実績	2019年度 目標	2019年度 実績	2020年度 目標	備考
地域・観光の振興	地域のまちづくり 文化活動を行う人材が主体的にまちづくりに参加 する	60	ベップアート・マンス(限るBEPPU)観客のうち 女性観客が参加した割合の比率 の増加	D	定数	中間ア プロム	50 (前 年比)	40前後	42	40前後	41	40前後	
		61	ベップアート・マンスに登録される文化イベントの年 間件数の増加	B	定数	中間ア プロム	調査実施なし	業績測定	16	業績測定	3	業績測定	
		62	ベップアート・マンス登録者のうち、最近1年間で 地域活動に参加した人の比率の増加	B	定数	最終ア プロム	調査実施なし	業績測定	82	業績測定	86	業績測定	
	別府の 新たな 魅力の 創出・発 現	63	ベップアート・マンス(限るBEPPU)観客のリ ピーター率の向上	D	定数	中間ア プロム	51 (前 年比)	50前後	55	50前後	53	50前後	
		64	ベップアート・マンス プログラム企画者のリピー ター率の維持	D	定数	中間ア プロム	54 (前 年比)	50前後	50	50前後	58	50前後	
		65	in BEPPUが定着し、エッジの効いた質の高いア ート体験ができる場として認知が広がる	B	定数	中間ア プロム	50 (前 年比)	15	22	30	33	40	
	別府に おける 経済 の振 興	66	女性個人客の割合(in BEPPU女性観客の比率)	D	定数	中間ア プロム	64 (前 年比)	70前後	62	70前後	72	70前後	
		67	若年層個人客の割合(in BEPPU30代以下観客 の比率)	D	定数	中間ア プロム	63 (前 年比)	70前後	42	70前後	30	50前後	
		68	「別府は温泉観光地だけではなく、温泉を第一 の目的とした観光客が増加する」	B	定数	最終ア プロム	調査実施なし	70	63	72	64	74	
		69	「別府は温泉観光地だけではなくアート・の街でも ある」という認知が広まる(ベップアート・マンス(限 るBEPPU)観客における比率)	B	定数	最終ア プロム	調査実施なし	66	74	68	71	70	
	地域と の連携に よる事業 の振興	70	in BEPPU観客のうち2泊以上の宿泊客の比率(2 泊以上宿泊客/総宿泊客)の増加	E	定数	最終ア プロム	42 (前 年比)	55	39	55	54	55	
		71	クリエイターなどのニーズに合わせた情報発信を 通じて、移住者が増加している	C	定数	最終ア プロム	人 0	6	6	12	10	20	

【凡例】成長率(2020年の目標達成に向けて評価指標がたどるべき成長率)

類型A: 期間前半に急ピッチで進展、類型B: 期間中、直線的に進展、類型C: 期間後半に急ピッチで進展、類型D: 2020年まで現状水準を維持、類型E: 2018年(国民文化祭)、2020年(東京五輪)に重点化

[お問合せ]

混浴温泉世界実行委員会 事務局〈NPO法人 BEPPU PROJECT内〉

〒874-0933 大分県別府市野口元町2-35 菅建材ビル 2階

TEL : 0977-22-3560 FAX : 0977-75-7012 E-MAIL : info@inbeppu.com

営業日 : 月～金 9:00～18:00